

文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業費」補助事業

社会総がかりで取り組む教育の推進

Vol.14

～令和6年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実践事例集～



愛媛県教育委員会

はじめに

近年、少子高齢化やグローバル化、情報化が急速に進む中、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、学校の抱える課題は複雑化、多様化しています。また、地域における教育力の低下や家庭の孤立化といった問題もあります。こうした状況の中、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、社会総がかりによる教育を実現することが、ますます重要になっています。

県においては、愛媛県教育基本方針・重点施策の一つに「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、その中核的な事業として、「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」を実施し、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、各市町事業への補助に加え、研修事業や普及啓発等に取り組んでいます。

今年度は新たに、家庭教育支援リーダー養成事業を実施し、関係者の資質向上はもちろんのこと、地域と学校の組織的・継続的な連携・協働体制の確立や保護者同士が学び合う家庭教育支援体制の充実等、子どもたちを支える教育環境の整備に努めてまいりました。

各市町教育委員会及び事業関係者の皆様におかれては、各種研修会への参加はもとより、様々な教育活動において、子どもたちの健全育成を支援していただき、心から感謝を申し上げる次第です。それぞれの地域の未来を担う子どもたちが、地域の方々に見守られ、支えられながら、豊かな学びや体験の機会を得て健やかに成長していくことは、地域に愛着をもち、地域に貢献したいという思いや願いを育むことにつながるものと考えています。

本事例集は、各市町教育委員会及び事業関係者の御協力により、県内各地での地域学校協働活動等の実践を取りまとめたものです。事業関係者をはじめ関係各位に御高覧いただき、「地域とともにある学校づくり」の一層の推進、そして、「学校を核とした地域づくり」に対する地域住民の主体的な意識高揚を図る取組に役立ててもらえれば幸いです。

結びに、本冊子の作成に当たり、格別の御指導・御協力をいただいた愛媛県地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会の委員の皆様をはじめ、各市町教育委員会、関係機関の皆様にご心よりお礼申し上げます。

令和7年3月

愛媛県教育委員会事務局社会教育課長

伊賀上 慶樹

も く じ

I 事業概要及び県事業	
1 事業の全体像	4
2 愛媛県地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会	8
3 活動別研修事業	9
4 普及啓発事業	17
5 家庭教育支援リーダー養成事業	21
II 市町補助事業	
令和6年度実施市町一覧	28
【地域学校協働活動】	
① 四国中央市	30
② 新居浜市	31
③ 西条市	32
④ 東温市	33
⑤ 伊予市	34
⑥ 砥部町	35
⑦ 久万高原町	36
⑧ 大洲市	37
⑨ 内子町	38
⑩ 伊方町	39
⑪ 宇和島市	40
⑫ 鬼北町	41
【えひめ未来塾】	
① 西条市	44
② 東温市	45
③ 大洲市	46
④ 内子町	47
⑤ 西予市	48
⑥ 宇和島市	49
【放課後子ども教室】	
① 四国中央市	52
② 新居浜市	53
③ 西条市	54
④ 今治市	55
⑤ 東温市	56
⑥ 伊予市	57
⑦ 久万高原町	58
⑧ 大洲市	59
⑨ 内子町	60
⑩ 西予市	61
⑪ 宇和島市	62
⑫ 鬼北町	63
⑬ 愛南町	64
【土曜教育活動】	
① 新居浜市	66
② 西条市	67
③ 上島町	68
④ 東温市	69
⑤ 伊予市	70
⑥ 西予市	71
⑦ 愛南町	72
【家庭教育支援】	
① 西条市	74
② 今治市	75
③ 上島町	76
④ 伊予市	77
⑤ 砥部町	78
⑥ 久万高原町	79
⑦ 大洲市	80
⑧ 西予市	81
⑨ 宇和島市	82
(参考) 放課後児童クラブ一覧	84
えひめ学校・地域教育サポーター一覧	88
えひめ家庭教育サポート企業一覧	89

Ⅰ 事業概要及び県事業

1	事業の全体像
---	--------

1 趣旨

地域の教育力の低下や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指し、全ての子どもを健全に育成するためには、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。

2 事業の概要

(1) 県事業

ア 「地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会」の設置

- 主な役割 事業の在り方・成果等の検証・評価、地域と学校の連携・協働体制構築の検討 等
- 人数 10名（学識経験者、福祉関係者、学校教育関係者、社会教育関係者等）
- 開催回数 2回

イ 活動別研修事業

- 目的 各事業それぞれの関係者の資質向上、情報交換等を図る。
- 開催研修会
 - ・ 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な取組推進研修会
 - ・ 放課後児童対策指導者研修会（兼放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会）

ウ 普及啓発事業

(7) 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」（兼 合同研修会）

- 目的 県内の幼稚園から高等学校までの保護者・教師・地域住民・福祉関係者・警察関係者・企業等の子どもたちに関わる大人が一堂に会して、研修や情報交換を行い、社会総がかりで子どもたちを育むための方向性を探る。
- 開催回数 1回（松山市）
- 内容 講演、分科会 等

(イ) 事例集の作成・配布

- 実施市町の優れた取組事例の紹介
- 市町教育委員会、事業関係者等に配布及びホームページで公開

(ウ) CSアドバイザーの派遣

- 目的 地域学校協働活動とコミュニティ・スクール（CS）の一体的な取組推進を図るため、CSの設置を進めようとしている市町等に対し、CSアドバイザーを派遣し、説明会や研修会を実施する。
- 派遣回数 6回

エ 家庭教育支援リーダー養成事業

- 目的 家庭教育支援に取り組む地域の人材発掘やリーダー養成のための講座及び研修会等を実施するとともに、保護者に対する学習の機会や情報提供等に活用できるプログラム集「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集（通称：「トクわく」）」の普及啓発を図り、地域全体で家庭教育を支える体制づくりを推進する。
- 内容
 - ・ 家庭教育支援者養成講座
家庭教育支援に関する最新の情報提供や「トクわく」のワークショップを進行するために必要なスキルの習得を目的とした講座を実施し、子育ての悩みや不安を気軽に話し合える体制の整備や人材の養成を図る。
 - ・ 「トクわく」の普及啓発
市町教育委員会や社会教育関係団体、保健福祉部局への説明及び出前講座、「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」でのPRを実施する。

(2) 市町補助事業

各市町に、運営委員会を設置し、地域学校協働活動推進員やコーディネーター等の配置、活動内容・運営方法の検討、支援活動の実施を行う。

ア 活動内容・運営方法の検討

各地域の実情に応じた取組内容や事業の運営方法の検討等を行う。

イ 人材の配置

- 統括的な地域学校協働活動推進員及び統括コーディネーター等
各地域学校協働活動推進員等間の連絡調整や、助言・指導、人材発掘・確保等の統括的な役割を担う。
- 地域学校協働活動推進員及び地域コーディネーター
地域学校協働活動の連携についての各種調整のほか、学校や学校関係者、地域の団体等との連絡調整、地域の協力者の確保・登録・配置、地域の実情に応じた定期的・継続的かつ多様な活動プログラムの企画等を行う。
- 学習支援員
特別な知識、経験等を活用し、協働活動リーダーでは行うことのできない小・中・高校生等への学習支援を実施する。
- 協働活動リーダー
学校の教育活動の支援や放課後、土曜日等における学習支援・体験・交流活動等のプログラムを中心的に実施する。
- 家庭教育支援員
家庭教育に関する学習プログラム等の中心的な企画・実施や保護者への相談対応等を行う。
- 協働活動サポーター
放課後、土曜日等を含むプログラムの実施のサポートや子どもたちの安全を管理する。
- 特別支援・共生社会サポーター
地域の実情に応じて、特別な支援を必要とする子どもたちに対する放課後等の学習支援・体験活動をサポートする。

ウ 活動の実施

(ア) 地域学校協働活動

地域住民が学校と連携・協働し、教育活動を支援するとともに、地域住民の自己実現を図り、地域を活性化する。

○ 主な活動内容

郷土学習、学びによるまちづくり、体験・ボランティア活動支援、部活動指導、学校環境整備、登下校の見守り、補導時の対応 など

(イ) えひめ未来塾

全ての子どもを対象に地域の参画を得て、子どもが主体的に学習に取り組むことのできる場（環境）を設けるとともに、子どもの悩みや相談に応じて学習を支援する。

○ 主な活動内容

放課後等の学習機会の提供と支援、学習習慣の育成、学習支援や悩み等への対応、学力強化シートの活用、教員経験者の活用 など

(ウ) 放課後子ども教室

全ての子どもを対象に、安全・安心な子どもの居場所を設け、学習や体験活動等を提供する。

○ 主な活動内容

学習支援や文化、スポーツ自然体験活動支援、異年齢集団や地域住民との交流活動、児童クラブと一体・連携した取組 など

(エ) 土曜教育活動

全ての子どもを対象に、企業等の人材を活用した特色・魅力のある教育プログラムを提供する。

○ 主な活動内容

プロや専門家の教育支援や継続的なプログラムの提供 など

(オ) 家庭教育支援

保護者等への学習機会や情報の提供、相談体制の構築等を行い、家庭教育支援の基盤を整備する。

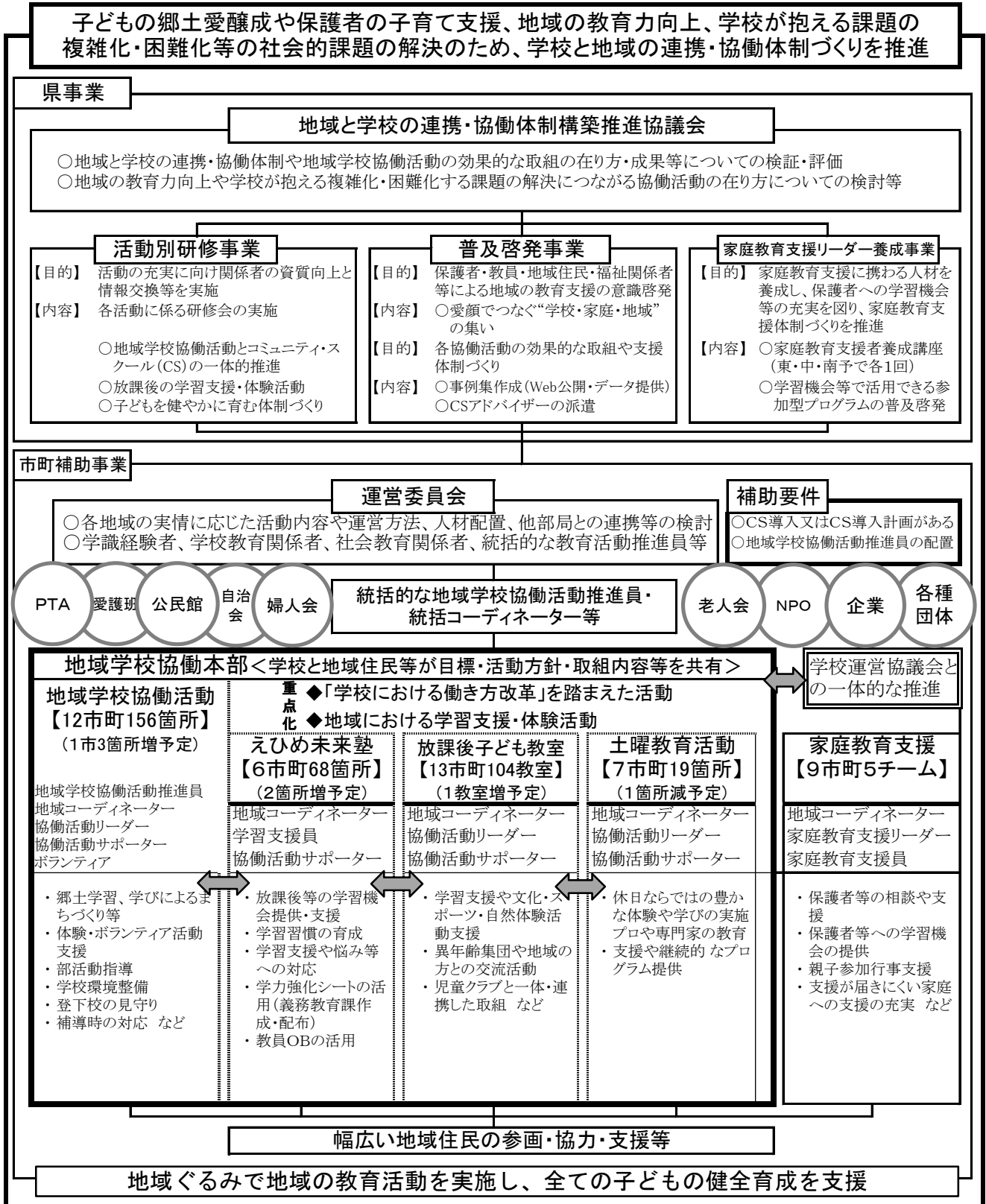
○ 主な活動内容

家庭教育支援チームによる保護者等への相談や支援、保護者等への学習機会の提供(愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集の実施)、親子参加行事支援、支援が届きにくい家庭への支援の充実 など

令和6年度地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業構造

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題の複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支援、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。



2	地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会
---	----------------------

1 概要

(1) 目的

地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業を、円滑かつ効果的に実施するとともに、地域の教育支援に関する施策の在り方や成果等について検証・評価等を行う。

(2) 委員構成

学識経験者、PTA団体関係者、教員等団体関係者、児童福祉関係者 等

(3) 業務

- 地域学校協働活動及びえひめ未来塾、土曜教育活動、家庭教育支援の在り方・成果についての検証・評価
- 地域と学校の連携・協働体制構築の検討に関すること 等

2 令和6年度委員名簿

役職名	氏名	職名
会 長	中尾 茂樹	愛南町教育委員会教育長 (元愛媛大学教職大学院特定教授)
副会長	神野 文	愛媛県PTA連合会副会長
委 員	山田 誠	愛媛大学教育学部准教授
	川崎美代子	愛媛県連合婦人会副会長
	脇本 俊二	愛媛県小中学校長会副会長
	樋口 志保	愛媛県学童保育連絡協議会会長
	緒方 義彦	愛媛県市町教育委員会連合会会長
	岩本 透	愛媛県経済同友会幹事
	福本 政代	大洲市教育委員会地域コーディネーター
	酒井 あい	公募委員

3 会議の主な内容

回数・実施日	会場	主な協議内容
第1回 R 6. 7. 25 (木)	県立図書館	○事業の概要及び現状、家庭教育支援 ○企業・団体との連携による教育支援について
第2回 R 7. 2. 17 (月)	にぎたつ 会館	○令和6年度事業実施状況報告 ○令和7年度事業実施予定説明

3	活動別研修事業
---	---------

1 目的

「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」に係るスタッフ及び市町教育委員会・学校等の関係者に対し、事例研究や講演等を通して研修を実施し、事業の趣旨・内容について理解を深めるとともに、効果的な取組の在り方について研究を行い、各地域の実践に生かす。

2 研修一覧

研修会名 「研修会テーマ」	実施日 会 場	参加 人数	主な研修内容
<p>「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進研修会</p> <p>「地域と学校の協働で育む子どもたちと地域の未来づくり～先進事例から学ぶ地域と学校の連携・協働の在り方～」</p>	<p>R6.11.21 (木) エスポワール愛媛 文教会館</p>	<p>86名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○事業説明 ○事例発表 <ul style="list-style-type: none"> 山口県長門市立深川中学校 校長 新居 淳治 氏 宇和島市立吉田中学校 学校運営協議会長 浅田 淳 氏 校長 行定 永 氏 教諭 田中 静 氏 ○グループワーク ○助言 <ul style="list-style-type: none"> 愛媛県CSアドバイザー 一般社団法人コミスクえひめ 副代表理事 遠藤 敏朗 氏
<p>放課後児童対策指導者研修会（兼放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会）</p> <p>※R6.6.28 に予定していた放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会が悪天候により中止となったため、本研修会と兼ねて実施。</p>	<p>R6.12.15 (日) えひめ青少年ふれあいセンター</p>	<p>56名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政説明 ○講演 <ul style="list-style-type: none"> 「子どもたちの放課後を充実させる地域の役割」 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家所長 中尾 治司 氏 ○学習支援部会及び体験活動部会 <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援部会 講師：愛媛県総合教育センター情報教育室長 渡部 浩二 氏 テーマ：「業務に役立つタブレット端末（iPad）活用～初級編～」 ・体験活動部会 講師：NPO法人愛媛県レクリエーション協会 理事・事務局長 松木 紀子 氏 テーマ：「レクリエーションでコミュニケーション～みんなで楽しく活動するために～」

3 研修の概要

「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進研修会

(1) テーマ

地域と学校の協働で育む子どもたちと地域の未来づくり
～先進事例から学ぶ地域と学校の連携・協働の在り方～

(2) 概要

- 日 時 令和6年11月21日（木）13：00～16：45
- 会 場 エスポワール愛媛文教会館
- 参加者 86名

地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業関係者（地域コーディネーター等）、教職員（特に事業実施地域の先生方）、市町教育委員会職員、社会教育関係団体関係者、地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、本事業に関心のある者等

(3) 事例発表

① 県外事例発表「山口県長門市立深川中学校」

発表者：校長 新居 淳治 氏

山口県長門市立深川中学校の新居校長に同校の取組を中心に、小中学校の9年間の一貫した教育を推進している「俵山・深川みすゞ学園」の取組を発表していただいた。

山口県では、社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進を目標に掲げ、人づくりと地域づくりの好循環の創出を目指した教育を実践している。その中であって、長門市では公民館を中心として中学校区が結び付く学園構想による小中一貫教育を進め、未来を切りひらく人間性豊かな児童生徒の育成を目指している。

同校では、公民館長が地域学校協働活動推進員であるという強みを生かし、公民館サークルと連携した豊かな体験活動や学校支援活動、NPO法人と連携したキャリア教育プログラムを実施するなど多様な地域の方と連携して活動している。また、地域のイベントや祭りのボランティアや吹奏楽部による出前演奏、小学生への学習支援など、地域の様々な場所で活躍している子どもの様子を紹介していただいた。同校の学校運営協議会は、多くの地域学校協働活動に関わる委員で構成していることから、学校内外の子ども様子を共有しやすく、学校課題の解決に向けた熟議において、子どもも大人も活発に意見を交わすことができている。

また、学園構想による小中学校9年間を貫く学校・地域連携カリキュラムを作成して共有し、子どもの学びや育ちに大人が意図的、系統的に関わっている。そのような中、子どもや関係する大人が目標を共有し、活動を振り返りながら、成



長を言葉にして語ることで、子どもの自己肯定感が高まり、ふるさとへの愛着を深めることにつながっている。目指すべき子ども像を明確にし、共有し、言葉で語れる指標を持つことの大切さを御教示いただいた。

参考になったこと・感想・意見

- 「最終のゴールやビジョンを周りの大人たちが言語化できるか」という言葉にはっとした。「子どもファースト」になりすぎて、地域学校協働活動が大人の学びの場にもなっているという視点が目からうろこで、みんなにとって良いことがあるということを確認した。
- 小中学校を一つの「園」としてとらえ、9年間の計画を立てるという考え方は、大変参考になった。「園」として連携し、育成計画を立て、実施することができるように、今後自治体との連携を図っていきたい。
- 行政指導による枠組がしっかりしているのは、学校としては取り組みやすい。一方で現在の形になるまでに10年以上試行錯誤しながらの実践を要したと知り、焦らず取り組んでいきたいと感じた。

②県内事例発表「宇和島市立吉田中学校」

発表者：学校運営協議会長 浅田 淳 氏
校長 行定 永 氏
教諭 田中 静 氏

宇和島市立吉田中学校学校運営協議会の浅田会長、吉田中学校の行定校長、田中教諭に、ふるさとの復興と地域創生に歩み続ける学校づくりを目指す同校の取組について発表していただいた。

平成28年度に吉田中学校型学校運営協議会としての歩みを始め、平成30年に地域は西日本豪雨災害に見舞われた。近年では、社会全体が新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきた。本協議会では、「災害に強い学校づくりと地域づくり」を協議会運営の根幹に据え、学校と家庭・地域が共に歩むことを目指している。

地域と学校が一体となって取り組んできた未来フェス、災害マップ作りなど、災害復興・防災に向けての取組を紹介いただいた。その中でも、当時の校長や教諭、生徒会役員らをパネリストに招き、災害当時の悲痛な思いや感謝の気持ちなどを語った西日本豪雨災害復興祈念事業では、参加した中学生や地域住民は災害当時を振り返り、記憶を風化させないという思いを新たにすると同時に、自分たちの地域は自分で守るという主体性が育まれてきた。また、被災地支援活動にも熱心に取り組むなど、困っている人のためにできることをしたいという思いも醸成されている。

地域や社会をよくするために何かしたいという子どもたちの思いは、地域の行事の復興にも向けられ、地域の祭りや行事に積極的に参画し盛り上げており、地域の文化継承にもつながっている。



コミュニティ・スクールを通して、災害からの復興に向け、地域と学校が一体となって取り組むことで、子どもたちの地域愛が生まれ、主体性が培われている多くの取組を御紹介いただいた。

参考になったこと・感想・意見

- 平成30年度の豪雨災害から、見事に復興を進められていることは、地域力の高さだと感じた。
- 被災の記憶が風化しないよう、当事者が語ることで次の世代にもつながっていくと思う。
- 西日本豪雨を契機に自分たちの手で地域を守る主体性がコミュニティ・スクールを通じて養われたことがよく分かった。
- 小中学校及び高等学校の連携を図り、地方祭の運営を図っていることは、次世代を担う人材育成には欠かせないことだと思った。

③グループワーク

指導助言：愛媛県CSアドバイザー

一般社団法人コミスクえひめ 副代表理事 遠藤 敏朗 氏

グループワークでは、参加者が「学校内での取組」「学校外での取組」の二つのテーマについて、地域と学校が連携・協働して実践している（したい）ことについて意見交流を行った。

様々な立場から学校・家庭・地域の連携の在り方について情報交換したり、日頃感じている悩みや課題解決に向けて相談し合う時間を設定したりすることで、今後の活動のヒントや見通しをもつだけでなく、相談し合えるつながりを構築する上で、参加者にとって有意義な時間となった。



指導助言の遠藤氏からは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する上で大切にしたいこととして、「熟議による目標やビジョンの共有」、「熟議や対話を重ねること」、「やってみて、ふりかえること」、「オープンにして、仲間をふやすこと」、「みんなで楽しむ世界を創ること」を挙げていただいた。学校や地域を取り巻く問題解決のための仕組みとして、コミュニティ・スクールを活用し、学校と地域の在り方を変え、地域ぐるみで解決に向けて取り組むことの必要性を御教示いただいた。

参考になったこと・感想・意見

- 地域コーディネーターの取組に対する報酬は十分なものなのだろうか、という疑問を感じた。持続可能な取組にするために、各市町の仕組み作りが大切だ。
- 大学生ならではの視点に驚かされ、10年以上地域コーディネーターをしている方の苦悩など実りの多い情報交換の場になった。
- 他地域の方と、具体的な取組や課題などについて情報交換することで、自校の恵まれている点についても再認識することができた。
- 遠藤先生からの助言にあった、より主体性をもたせるために児童生徒に話し合いに参画させるということに取り組んでみたい。

(4) まとめ・今後に向けて

先進事例発表やグループワーク等を通して、各学校及び地域での様々な実践や課題等を情報交換することができた。参加者からは学校・家庭・地域が連携・協働して活動する上で大切なポイントを知ることができたという感想を多くいただき、参加者アンケートの肯定的評価は100%であった。参加者の関心とニーズに合った内容の研修会が開催できたことがうかがえる。

愛媛県内のコミュニティ・スクールや地域学校協働本部は年々増加しているが、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進めるためには「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組の推進がより一層求められている。今回の研修会の成果と課題を踏まえ、次年度はさらに参加者の学びと実践につながる研修会を目指していきたい。

研修会についての意見、要望等

- 地域コーディネーターの育成は、各市町の仕事だと思うが、県内で横展開できる研修があればいい。
- 社会教育関係（公民館）の方をもっと増やした方がよい。
- 参加者から制度面の不備についての意見が多く出たので、制度面で優れた事例や制度、例規等を学べる研修や資料提供があるとありがたい。

放課後児童対策指導者研修会兼放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会

(1) 概要

- 日 時 令和6年12月15日(日) 12:30~16:25
- 場 所 えひめ青少年ふれあいセンター
- 参加者 56名

放課後子ども教室関係者及びえひめ未来塾関係者(地域コーディネーター及び協働活動支援員等)、放課後児童クラブ職員(放課後児童支援員及び補助員等)、行政担当者 等

(2) 内容

① 講演

演題 「子どもたちの放課後を充実させる地域の役割」

講師 独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立大洲青少年交流の家所長 中尾 治司 氏

講演講師の中尾氏には、「体験格差」や子どもの成長を支える20の体験、思いが伝わる「言葉」の掛け方等について、子どもたちのために私たち大人や地域に何ができるのかを問題提起いただきながら、御講演いただいた。



体験の有無は、子どもたちの社会情動的スキル(非認知能力)を伸ばす影響が大きいこと、また、子どもたちに指導者の思いを伝える有効な「言葉」の掛け方などを具体的に御教示いただき、参加者は自分自身の日々の活動を振り返り、今後の活動のヒントを得ることができた。参加者アンケートの肯定的評価は、97%であった。

参考になったこと・感想・意見

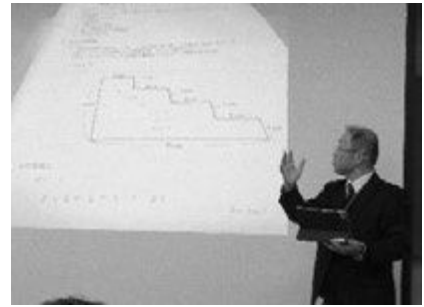
- 提示資料が大変分かりやすく、温かなお人柄が伝わる講演だった。特に、環境づくりの視点にあった四つの項目は、イベントや行事を企画する際に導入していきたい。
- 私にとっては、実に耳の痛い具体例が多く出てきた。当たり前のように子どもたちに掛けていた言葉が、お話中の様々な理由でふさわしくないという認識を持つことができ、大変勉強になった。
- 子どもたちの成長を見守る地域の役割が重要であるということを強く感じた。家庭に対して配慮が必要なところをサポートしていきたい。
- 子どもたちの体験の大切さや社会情動的スキルに関して新たな学びとなった。また、思いが伝わる「言葉」の掛け方について、私自身反省すべき点も発見することができ、今後の参考にしていきたい。
- この講義を受け、前向きに先を見据えてがんばっていこうと思えた。

②学習支援部会及び体験活動部会

・学習支援部会

講師：愛媛県総合教育センター情報教育室長
渡部 浩二 氏

テーマ：「業務に役立つタブレット端末（iPad）
活用～初級編～」



学習支援部会では、タブレット端末（iPad）を活用した動画の作成や編集方法等について学び、実際にタブレット端末を使用しながら、教材づくりに挑戦した。初級編ということもあり、誰でも簡単な操作方法で動画の作成や編集ができ、日頃の業務の中で導入しやすい内容であった。参加者アンケートの肯定的評価は、96%であった。

参考になったこと・感想・意見

- 分かりやすい説明と内容であり、大変勉強になった。この研修で学んだことを生かせるように日々iPad等に意欲的に触れていきたい。
- タブレット端末はふだん使用しているが、今日は新たに学習支援への活用という観点から使用した際の有効性について体感することができた。
- iPadの操作方法を分かりやすく丁寧に教えていただき、簡単な動画の作成や編集については理解することができた。今後はまずiPad等に積極的に触れ、利用していこうと思うようになった。
- 私にとってコンピュータ等を利用することは苦手な分野だったが、操作方を学び、実際に動画を作成することができたので、とても楽しかった。

・体験活動部会

講師：NPO法人愛媛県レクリエーション協会
理事・事務局長 松木 紀子 氏

テーマ：「レクリエーションでコミュニケー
ション～みんなで楽しく活動するた
めに～」



体験活動部会では、身近な物を利用した様々なレクリエーションの手法を教えていただいた。新聞紙でフリスビーを作成して投げ合ったり、チームで競い合ったりと、児童の年齢や属性に応じたレクリエーションの工夫点を御教示いただくとともに、遊びを通じた子どもたちとのコミュニケーションの図り方についても学び、会場は笑顔と歓声であふれていた。参加者アンケートの肯定的評価は、100%であった。

参考になったこと・感想・意見

- 新聞紙等の身近なものを使ったレクリエーションを教えていただき、早速実践してみようと思った。また、遊びのポイントや注意点を教えていただき、今後の活動の参考にしていきたい。
- 先生の話術に引き込まれ、私自身楽しむことができた。児童クラブでも実践できるレクリエーションを積極的に実践したい。
- この研修が私にとって楽しいものだったので、子どもたちもやってみれば楽しい遊びになると思った。また、子どもたち同士の交流も深まると思う。
- 今まで知らなかった活動が多くあった。今後は、保護者参加型の活動等を取り入れ、今以上にコミュニケーションを取っていききたいと思う。

(3) まとめ・今後に向けて

国の「放課後児童対策パッケージ」(令和6年12月25日)の策定に伴い、「新・放課後子ども総合プラン指導者研修会」を「放課後児童対策指導者研修会」に改め、福祉部局と教育部局相互のより一層の連携を図ることを目的として実施した。研修内容は、県内有識者による講演に加え、今年度は実践的なスキルを学ぶ部会を設け、放課後子ども教室関係者と放課後児童クラブ関係者が交流しながら学ぶこととした。アンケート結果からも子ども教室・児童クラブの今後の活動の参考となる研修会を実施することができたと考える。

今後も引き続き、子育て支援課との連携を強化し、放課後児童対策に関する研修を充実させ、校内交流型・連携型の促進に努めていきたい。

1 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」（兼合同研修会）

(1) 目的

県内の幼稚園から高等学校までの保護者・教師・地域住民・福祉関係者・警察関係者・企業等の子どもたちに関わる大人が一堂に会して、研修や情報交換を行い、社会総がかりで子どもたちを育むための方向性を探る。

(2) 概要

- 日時 令和6年8月27日（火）12：30～16：30
- 場所 愛媛県生涯学習センター・えひめ青少年ふれあいセンター
- 参加者 381名

(3) 内容

① 講演

テーマ 「ひとづくり・つながりづくりで学校が変わる！地域が変わる！」

講師 特定非営利活動法人おむすび 理事長 大畑 伸幸 氏

今年度は、大畑 伸幸 氏を迎え、「ひとづくり・つながりづくりで学校が変わる！地域が変わる！」というテーマで講演いただいた。

島根県益田市では、自らやりたいことや目指したいロールモデルを見付けるためには、保護者や教師以外の多様な大人と出会うことが大切だと考え、「益田版カタリバ」（子どもたちと地域の大人が1対1で対等に語り合う、子どもと地域の大人がつながることを目的としたキャリア教育のプログラム）等、持続可能なひとづくりに取り組んでいる。地域の大人が伴走者となり、子どもたちの「やりたい」を実現する等、子どもを真ん中に据えたひとづくり・つながりづくりは、未来のまちづくりの主体者づくりにもつながると熱く語っていただいた。

参加者は、学校・家庭・地域それぞれの立場で子どもを中心に据えた活動の必要性を確認し、将来を見据えたその地域ならではのビジョンを考えるよい機会となったのではないかと考える。参加者アンケートの肯定的評価は、99.5%であった。



参加者の感想（講演）

- 「まじめにやりなさい。」「ちゃんとしなさい。」「早くしなさい。」という言葉は、問い直さなければならないと思った。学校教育に関わる方々と共に学校の在り方についても問い直していきたい。学校に余白を！子どもたちに遊びを！
- 子どもたちが思う存分、夢中になる経験づくりを意識したい。
- 地元で安心して帰ることができる、世代を超えた関係づくりに感銘を受けた。

②分科会等

分科会等は、「地域学校協働活動」「子どもの居場所づくり」「子育て・家庭教育支援」「地域教育の担い手づくり」「えひめ学校・地域教育サポーターの活用」という五つの今日的な教育課題に基づいたテーマを設定し、事例発表、模擬出前授業及び質疑・応答、全体協議、グループ協議等を行った。事例発表等をもとに、充実した情報交換ができた。参加者アンケートの肯定的評価は、98.5%であった。



分科会等	テーマ・事例発表
第1分科会	<p>【地域学校協働活動】 幅広い地域住民の参画により、学校と地域が連携して子どもたちを育てる体制づくりをどのように進めるか 〈発表1〉 東温市立北吉井小学校 教諭 伊藤 芽久美 氏 元東温市地域コーディネーター 田房 克寿 氏 〈発表2〉 愛媛県立北宇和高等学校三間分校地域情報ビジネス部 福島 奏子 氏 和田 恋羽 氏 OG (今治明德短期大学) 教諭 猿谷 めぐみ 氏 山本 潤也 氏</p>
第2分科会	<p>【子どもの居場所づくり】 全ての子ども・若者が安心して過ごせる地域の居場所づくりをどのように進めるか 〈発表1〉 別宮地域食堂「あさかぜKAMAN」 チームさゆり代表 渡辺 小百合 氏 チームさゆり監事 山川 博一 氏 〈発表2〉 川之石地区交流拠点施設みなせ 施設長兼川之石地区公民館長 菊池 敏和 氏</p>
第3分科会	<p>【子育て・家庭教育支援】 保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか 〈発表〉 「トクわく」の体験 愛媛県教育委員会社会教育課社会教育グループ</p>
第4分科会	<p>【地域教育の担い手づくり】 子どもと地域をつなぎ、地域の学びを豊かにする人材の育成をどのように進めるか 〈発表1〉 双海町こども教室実行委員会等 地域教育プロデューサー 本多 正彦 氏 〈発表2〉 えひめ地域コーディネーター・ネットワーク 大洲市地域コーディネーター 福本 政代 氏 東温市地域コーディネーター 酒井 あい 氏</p>
模擬出前授業	<p>【えひめ学校・地域教育サポーターの活用】 えひめ学校・地域教育サポーターを活用して、子どもたちの豊かな学びや体験活動の充実を図ろう 〈模擬出前授業企業〉 株式会社伊予銀行 SMB Cコンシューマーファイナンス株式会社 愛媛県歴史文化博物館 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会 公益財団法人日本漢字能力検定協会 金融リテラシー向上コンソーシアム 公益社団法人愛媛県看護協会 日本赤十字社愛媛県支部</p>

参加者の感想（分科会）

- 地域に興味をもつ子どもを育てていくことが重要である。地域の子どもたちを地域で育てることが、次の世代に地域をつなぐ確かな方法だと感じた。
- 様々な立場の人から話を聞くことができてよかった。公民館関係の立場として、子どもたちの居場所となる公民館になるように常に考え、発言・行動しようと思う。
- 中学生や高校生が主体となって企画・運営するイベントを行いたいと思った。イベントの成功体験によって、子どもたちが自信をもつだけでなく、地域への愛着が更に高まると思う。
- 対話によって地域を大切に思う価値観をつないでおり、素晴らしいと思った。地域の担い手を育てる取組に、私も関わっていききたい。
- 企業が学校・地域とどのようにつながるか、地元企業として何ができるか改めて考えたい。

参加者からの提言

- 子どもたちが健やかに育つには、失敗や挫折の経験も重要だと感じている。失敗を許したり、適切なアドバイスをしたりする姿勢を大人が見せることが大切ではないか。「子ども」としてではなく、「一人の人」として相対できる社会の実現を求め、その一員でありたいと思う。
- 大人が子どものために教えるのではなく、子どもと共に学べるかというスタンスが大切だということに改めて気付かされた。子どもの「やりたい」を邪魔しない大人の姿、とにかく「楽しんで」活動している大人の姿が結果的に子どもを育てることになると思う。
- 家庭、学校、地域それぞれが子どもを中心に据えた活動の必要性を確認し、将来を見据えたその地域ならではのビジョンを策定し、できることから取り組むことが大切だ。

(3) まとめ・今後に向けて

今年度は、県公式SNSを活用する等、本集いの開催を広く周知したことで、保護者や教職員、教育支援関係者等の地域の多様な年齢や立場の方々に参加していただいた。分科会では、新たなテーマを設け、学校及び企業等の多様な団体に事例発表をしていただくとともに、社会総がかりで子どもを育む体制づくりについて協議し、多くの参加者から肯定的評価を得ることができた。

今年度のアンケートや反省を活かし、参加者のニーズ、現代的課題と社会の要請等を先取りし、来年度の講演講師や分科会のテーマを設定したい。また、愛媛の子どもたちの健やかな育ちのために、学校・家庭・地域の連携・協働について社会全体で考え、学び、深めていくことのできる「集い」にしていきたい。

2 事例集の作成・配布

(1) 内容

県事業及び「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の取組について、実施市町の優れた実践事例を冊子に取りまとめ、関係者等に提供する。

(2) 配布先

県教育委員、社会教育委員、地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会委員、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長、各市町地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業担当課長、学校教育主管課長、児童クラブ主管課長、各小中学校長、各公民館長、教育関係団体長、各保健所長、子ども・女性支援センター所長、県立社会教育施設長、各教育事務所長、教育委員会事務局関係課長、保健福祉部子育て支援課長 等

(3) 配布方法

データの提供及びホームページでの公開

3 CSアドバイザーの派遣

(1) 内容

市町又は県立学校からの要請に応じ、地域学校協働活動又はコミュニティ・スクールについて、知識と情報が豊富であり、実践に携わった実績を有する者（以下「CSアドバイザー」という。）を派遣することにより、県内全ての公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入及びその機能の充実を図るとともに、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な取組の推進を図る。

(2) CSアドバイザー

一般社団法人コミスクえひめ 副代表理事 遠藤 敏朗 氏

(3) 派遣内容

	日 時	会場等	業務内容
1	R 6. 5. 27 (月)	久万高原町立 父二峰小学校	第1回ふじみね学校支援連絡協議会における指導助言
2	R 6. 6. 26 (水)	久万高原町立 面河小学校	面河小学校第1回学校運営協議会における指導助言
3	R 6. 9. 27 (金)	中予地方局	第1回「ともに進める」コミスク学習会における指導助言等
4	R 6. 10. 2 (水)	愛媛県立 内子高等学校	校内研修会における指導助言
5	R 6. 11. 18 (月)	伊予市役所	伊予市コミュニティ・スクール導入推進会議における指導助言
6	R 6. 12. 10 (火)	オンライン	令和6年度「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」第2回説明会における指導助言
7	R 7. 2. 5 (水)	中予地方局	第2回「ともに進める」コミスク学習会における指導助言等

家庭教育支援に取り組む地域の人材発掘やリーダー養成のための講座及び研修会等を実施するとともに、保護者に対する学習の機会や情報提供等に活用できるプログラム集「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集（通称：「トクわく」）」の普及啓発を図り、地域全体で家庭教育を支える体制づくりを推進する。

家庭教育支援者養成講座

1 目的

家庭教育支援に関する最新の情報提供や「トクわく」のワークショップを進行するために必要なスキルの習得を目的とした講座を実施し、子育ての悩みや不安を気軽に話し合える体制や人材養成を図る。

2 テーマ

「トークでわーくわく♪話合いから始まる家庭教育支援」

3 概要

オンデマンド配信と対面による全2回の講座を実施した。第1回では、YouTubeによる限定公開で動画配信を行い、受講者のタイミングで講座を視聴することができるようにした。第2回の講座では、東・中・南予の3会場で開催し、受講者が参加可能な開催日や会場を選んで参加できるようにした。また、全2回の講座の修了者には、修了証を配付するとともに、希望者には子育てや家庭教育支援に関する継続的な情報提供を行うこととしている。

4 内容

(1) 第1回：「これからの家庭教育支援」（オンデマンド配信）

地域全体で子育てをする上で大切なことや子育て世代が地域活動に参加するためのアプローチの仕方等の講話を通して、子育てや家庭教育支援に関する基礎的な知識を習得する。

○講義① 「1人の子どもを育てるには、街中の人たちの協力が必要です！」

講師 中尾 茂樹 氏

(愛媛大学大学院教育学研究科特定教授)

《講義内容》

今、地域のコミュニティの希薄化が指摘されている中、社会全体で協働しながら人を育てる「地域教育の推進」がこれからの家庭・学校・地域には欠かせない。地域全体が、相手の「思い」に関心を寄せ、その思いを尊重しながら関わることで、関係性が良くなるとともに、良い関係を築き、困ったときに「助けて」と言えるつながりを築きたい。

受講者の感想

- 間違えることは悪いことではなく、一緒に考えたり学んだり、お互いを知ったりするために大切なきっかけであることが分かった。新たな気付きがあり、安心して子育てや支援活動に関われると感じた。(NPO法人関係者)
- 子どもに寄り添うことは、導くのではなく、一緒に入り込むことが大切だと理解した。支援をする際には、童心に戻って一緒に感動することが大切だと保護者に伝えていきたい。(学校関係者)

○講義② 「“保護者・子ども・地域が豊かになる” 家庭教育支援とは」

講師 宮嶋 晴子 氏

(九州女子短期大学教授)

《講義内容》

保護者が居心地のよい人や場に出会い、主体的に子育てを学びながら子どもとともに成長することで、家庭教育支援の担い手への意識が生まれ、支援されていた立場から地域をつくる主体として活動する循環の仕組みをつくるのが重要である。子育て中の保護者が、地域活動に参加するための「はじめの一步」が踏み出せるような周りへのアプローチもしていきたい。

受講者の感想

- 支援されていた立場から支援する役割が変わっていく保護者の心境の変化が、段階的によく分かった。はじめの一步を踏み出して、語り合う場所を見つけることは、子育て世代は特に大切だと感じた。人とのつながりの中で学ぶことは多いと思う。(家庭教育支援チームスタッフ)
- 子育てには正解がなく、成長過程においてずっと悩み続けるものである。理想の子育てではなく、リアルな子育てについて、頑張っている保護者への自信の回復につながる支援を大切に考えたい。(公民館関係者)

(2) 第2回：「家庭教育支援の実際」(対面)

家庭教育支援の取組に関する最新の情報を得るとともに、プログラムの演習を通して、ワークショップを進行するために必要なスキルを習得する。

開催日時	地区	会場
9月19日(木) 13:00~16:00	南予	愛媛県南予地方局
9月25日(水) 13:00~16:00	中予	エスポワール愛媛文教会館
9月26日(木) 13:00~16:00	東予	西条中央公民館

○事例発表 「かがやく笑顔をもとめて～16年間のあゆみ～」

発表者 和歌山県橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」



代表 森田 知世子 氏

前語り合い班長 上田 ひと美 氏

家庭訪問部長 松本 祐代 氏

《発表内容》

公民館やこども園などで年間100回以上講座を開き、手作りおもちゃ教室や本の読み聞かせなどを通じて、保護者同士が語り合い、子育ての悩みなどを共有する場づくりや学習機会の提供、訪問型支援による相談対応、SNSや情報誌等を利用した情報提供など、チーム員の得意分野を生かしたきめ細かな実践を紹介していただいた。



受講者の感想

- つながりを待つのではなく積極的に行動されている。バイタリティーと安心、心強さ、愛を感じた。ゆりかごから思春期までのサポートが素晴らしい。楽しく周囲を巻き込まないといけないと思った。主催者が笑顔で楽しく取り組まれているのが何よりすてきである。(ボランティアグループ関係者)
- とても積極的な活動をうらやましく思うと同時に、当市でも、家庭教育支援チームをスタートできないかと考えるいい機会となった。生涯学習課の方の声掛けから始まったと聞いたので、私もどんな形でも始められたらと思う。(行政職員)

○ 「トクわく」プログラム演習 愛媛県教育委員会社会教育課職員

《演習内容》

「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集(通称:トクわく)」を活用したワークショップを行った。参加者は、子どもの褒め方に関するテーマで話し合いを体験するとともに、子育てをテーマにしたサイコロトークの進行役を経験することで、プログラムの進行に必要なスキルを習得することができた。

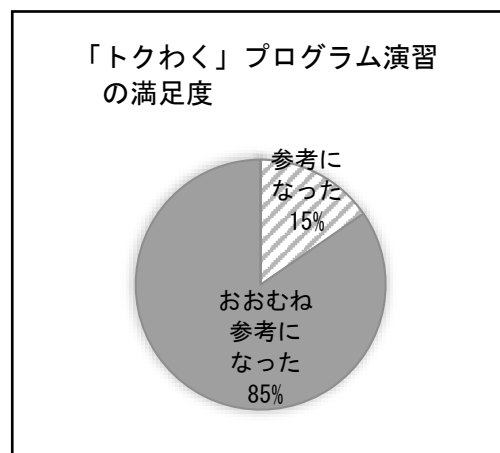
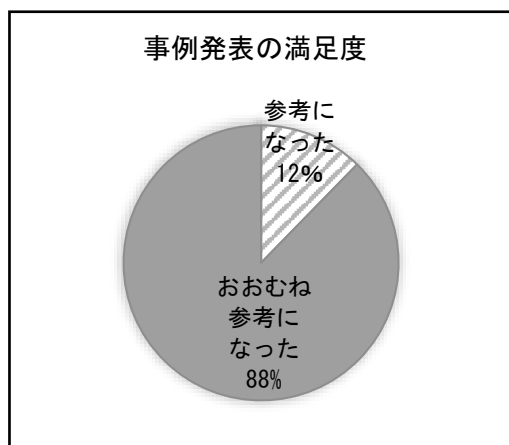
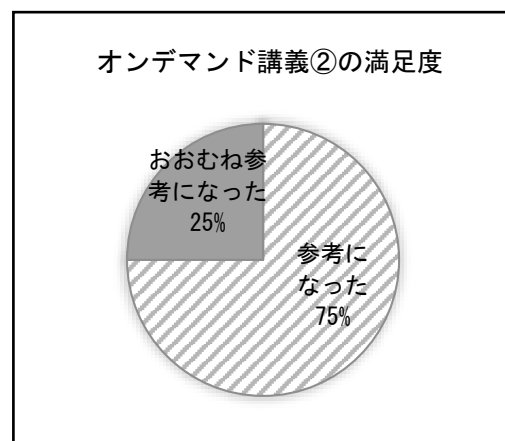
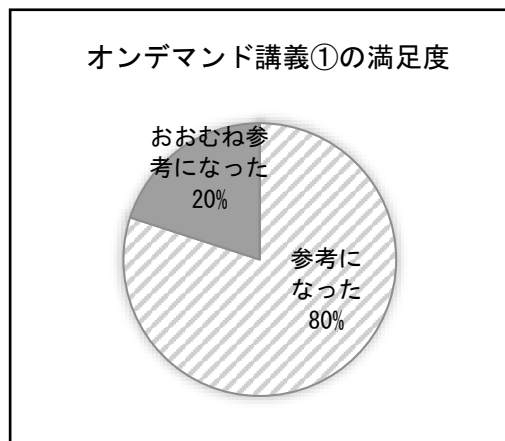
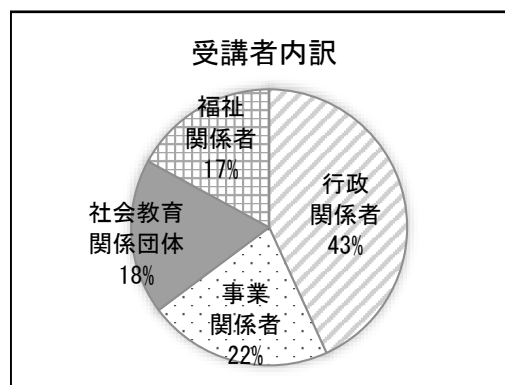


受講者の感想

- 同じグループの方の様々な考えを聞くことで、共感したり発見があったりして楽しかった。また、自分自身を振り返る機会にもなった。(企業関係者)
- 話し合いで人に共感してもらえることで、安心感を得られることが分かった。3人の子育て中で悩むことが多い日々だが、同じグループの先輩方に「それでいいのよ」と言われ、うれしかった。(PTA関係者)

5 アンケート結果について

行政関係者、事業関係者、社会教育関係団体関係者、福祉関係者をはじめとする102名が受講した。講座の内容については、「おおむね参考になった」「参考になった」の肯定的評価がいずれも100%と高い評価を得ており、受講者の関心とニーズに合った講座であったことがうかがえる。



6 まとめ・今後に向けて

オンデマンド形式の講座は、子育てや家庭教育支援に関する新たな知識の獲得につながるとともに、悩みを抱える保護者への支援の在り方について具体的なアプローチの仕方を考える契機となった。

事例発表やプログラム演習では、家庭教育支援チームで行っている様々な講座や保護者への情報提供等の実際を知るとともに、参加者同士のつながりや新たな気付きを得ることができるといった「トクわく」の効果を実感することができた。

受講者が100名を超え、家庭教育支援の機運が醸成されつつある今、人材の発掘・養成を継続しながら、養成した支援者がつながり、新たな支援チームの結成や県内家庭教育支援チームの活性化に向けた取組を促進させたい。

「トクわく」の普及啓発

1 市町教育委員会や社会教育関係団体、保健福祉部局への普及啓発

市町教育委員会担当者をはじめ、PTA、愛護班、公民館、婦人会等の社会教育関係団体、児童館や児童クラブ等の保健福祉部局に対し、「トクわく」の概要を説明し、関係者への周知や活用を依頼した。

2 出前講座の実施

県社会教育課職員が、PTA、愛護班、公民館、子育て支援センター等において計6回開催した。(R7.1.31現在)「トクわく」のねらいや活用事例を説明したり、プログラムを体験したりすることを通して、社会教育関係団体や保健福祉関係団体等における研修会や子育て講座等での活用を周知した。



3 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」でのPR

「子育て・家庭教育支援」をテーマとする分科会において、「トクわく」を使った活用事例の紹介、「我が家のルールづくり」をテーマにしたプログラムの体験を通して、「トクわく」の普及啓発を図るとともに、保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりについて協議を深めた。



4 まとめ・今後に向けて

「トクわく」は、幼稚園や保育園、小学校、愛護班、PTA、子育て支援センター、児童館、企業等、県内20か所以上の講座や研修会等で活用されており、徐々に認知度が上がっている。今後、子育て講座等での活用が期待される子ども家庭センターや地域子育て支援拠点等の保健福祉部局への普及啓発を展開することで、出産前から子育て期までの幅広い保護者が、安心して悩みや不安を相談できる支援体制の構築を図っていきたい。



II 市町補助事業

令和6年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実施市町一覧

市町名		協働活動		えひめ未来塾		放課後子ども教室		土曜教育活動		家庭教育支援		
		地域学校協働活動		実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施
1	四国中央市	○	25			○	8					
2	新居浜市	○	15			○	28	○	1			
3	西条市	○	35	○	30	○	25	○	11	○		
4	今治市					○	2			○		
5	上島町							○	1	○		
6	東温市	○	9	○	1	○	3	○	3			
7	伊予市	○	4			○	2	○	1	○	1	
8	砥部町	○	1							○		
9	久万高原町	○	3			○	3			○	1	
10	大洲市	○	13	○	1	○	3			○	1	
11	内子町	○	7	○	2	○	4					
12	伊方町	○	3									
13	西予市			○	7	○	5	○	1	○	1	
14	宇和島市	○	34	○	27	○	13			○	1	
15	鬼北町	○	7			○	3					
16	愛南町					○	5	○	1			
合 計		12	156	6	68	13	104	7	19	9	5	

各市町の活動の数値は、令和7年1月時点

地域学校協働活動



「運動会 八幡丸舟唄の共演」

(寒川小学校地域学校協働本部【四国中央市】)

①【四国中央市】寒川小学校地域学校協働本部	30
②【新居浜市】金栄小学校地域学校協働本部	31
③【西条市】玉津小学校地域学校協働本部	32
④【東温市】東谷小学校地域学校協働本部	33
⑤【伊予市】下灘小学校区地域学校協働本部	34
⑥【砥部町】麻生小学校地域学校協働本部	35
⑦【久万高原町】美川小学校地域学校協働本部	36
⑧【大洲市】栗津小・三善小・大洲東中学校 地域学校協働本部	37
⑨【内子町】内子中学校地域学校協働本部	38
⑩【伊方町】三崎地域学校協働本部	39
⑪【宇和島市】二名小学校地域学校協働本部	40
⑫【鬼北町】三島小学校地域学校協働本部	41

寒川小学校地域学校協働本部【四国中央市】

～地域の力を子どもの学びに生かそう～

◆活動の目的・理念

- 様々な人との出会いを通して、児童の健全育成を推進する。
- 地域を知り、地域を愛し、地域とともに生きる児童の育成に努める。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	寒川地区社会福祉協議会理事		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整						
協働活動リーダーのべ人数	25	人	公民館長、自治会長、社会福祉協議会、防犯協会、民生児童委員、主任児童委員、教育会、PTA役員等								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数 360 日	200 日	日	15 日	日	日	日	日	50 日	15 日	日	80 日
ボランティア のべ人数 3,845 人	3,400 人	人	15 人	人	人	人	人	230 人	50 人	人	150 人
連携・協力団体・機関	学校運営協議会、寒川公民館、寒川地区社会福祉協議会、教育会寒川支部、防犯協会寒川支部、老人会(東寒川菊水会・中寒川寿楽会・江之元長命会・西部長楽会)、八幡丸舟唄運営委員会、寒川体育振興協議会、寒川自主防災会、読み聞かせボランティア、寒川小PTA										

取組の概要

<主な取組内容>

- **子どもに寄り添う学習支援**
 - ・読み聞かせ
 - ・学習のサポート
- **心を豊かにする環境整備**
 - ・PTA親子奉仕作業
 - ・資源回収への協力
 - ・環境整備ボランティア活動
- **地域全体で取り組む見守り活動**
 - ・登下校の見守り活動
 - ・交通安全教室
 - ・校内マラソン大会の交通整理
- **ふるさとを愛する子どもを育む体験活動**
 - ・八幡丸舟唄の指導と共演
 - ・防災学習



(読み聞かせ)



(学習のサポート)



(運動会 八幡丸舟唄の共演)



(見守り隊対面式)

児童の感想

- ・地域の方が勉強を教えてくれたり、読み聞かせをしてくれたりするのを、いつも楽しみにしている。
- ・寒川大運動会では、毎年、地域の方々に指導していただいたり、一緒に共演したりしている。これからは寒川の伝統をしっかり受け継いでいきたい。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 防災まち歩き

5年生は総合的な学習の時間を利用して、防災学習をしている。
防災まち歩きは、地域の危険箇所や災害への備えを知るために、学校運営協議会の委員さんや自主防災会の方々と地域を回り、地域の防災に対する取組について調べる学習である。児童は4地区に分かれ、自分が住む町で過去に起こった災害を教えられたり、今後起こりうる大災害への地域の備えを学んだりしている。



(防災まち歩きの様子)

事業を実施して

【成果】

- 協働活動を通して、地域の方々と子どもたちや保護者とのつながりができ、地域全体で寒川の子を育てようとする意識が高まってきている。
- 地域の方の力をお借りすることで、様々な体験活動を行うことができ、児童の活動が広がった。

【課題】

- 地域の方にお世話になるだけでなく、児童が地域に貢献できる活動を検討し、実践していきたい。
- 子どもたちがこれからずっと地域とのつながりを大切にしながら成長していけるように、更に地域との連携を図っていきたい。

金栄小学校地域学校協働本部【新居浜市】

～地域を知り、地域を愛し、地域を拓く子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 「学校で学び、家庭でしつけ、地域で育てる」を基本理念に、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちに多様な体験の機会を増やし、社会性や自己肯定感を育む。
- 地域の歴史や自然等、地域資源を生かしたふるさとの良さや魅力を実感・再発見する教育活動を推進する。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容								
	1	名	公民館職員			・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画	・学校支援ボランティアへの連絡と調整	・広報・啓発活動(公民館報)					
協働活動リーダーのべ人数	10	人	公民館長、校区老人会長、校区連合自治会長、校区自主防災会長、PTA会長等										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他		
のべ日数	234 日	201 日	日	日	日	日	日	19 日	4 日	日	10 日		
ボランティア のべ人数	2,764 人	2,412 人	人	人	人	人	人	91 人	144 人	人	117 人		
連携・協力団体・機関	金栄公民館、金栄校区連合自治会長会、金栄校区老人会、金栄校区婦人会、社会福祉協議会金栄支部、金栄校区自主防災会、金栄トンカカさん踊り保存会、金栄校区愛護班連絡協議会、金栄校区体育振興会												

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域人材と共に学ぶ教育活動

- ・歴史巡検(6年生)

地元で起こった天正の陣(1585年)を中心に、金栄校区の歴史について学ぶ。[ワークショップ(電子黒板を使った紙芝居等)→見学]

- ・むかしのあそび(1年生)

校区老人会の方と一緒に、七つの遊びを体験する。

お手玉・あやとり・紙飛行機・けん玉・竹とんぼ・輪投げ・ダーツ

- ・地域防災まちあるき(4年生)

自分の住んでいる地区を地域の方と歩き、危険箇所等について発見・確認する。→関係者や保護者を招いて発表会を実施する。

- ・裁縫先生(5年生)、ミシン先生(6年生) ・読み聞かせ(全校)

● 地域を愛する子どもを育む体験活動

- ・お祭り集会 ・金栄トンカカさん踊り



(歴史巡検)



(むかしのあそび)



(地域防災まちあるき)

児童の感想

- ・私たちの生活の中で、歴史が大切にされていると思った。
- ・自分たちの校区には、すばらしい歴史や建物があることが分かって、うれしくなった。
- ・おばあちゃんと一緒に遊べて、とても楽しかった。
- ・危険場所や避難場所、役に立つ場所などを発見できて良かった。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● ドリームツリー点灯式

金栄校区では、小学校の運動場のメタセコイアに飾り付けを行い、「ドリームツリー」として点灯している。学校、PTA、公民館、自治会など、各機関が連携し、準備や片付けを行っている。点灯式当日には、南中学校の吹奏楽部の演奏や金栄会による餅つきもあり、雰囲気を盛り上げるなど、地域が一体となつての取組である。ドリームツリーも今年で38回目を迎え、回を重ねるごとに、小学校のシンボルとして定着し、地域の誇りともなっている。

(点灯したドリームツリー)→



事業を実施して

【成果】

- 様々な活動を通して、地域の方と直接関わったり、行事に参加したりすることによって、地域の良さを再発見し、地域を愛する気持ちが高まってきた。
- 中高生対象の「金栄手伝い隊」の募集も第7期を迎え、校区行事等で活躍の機会が増えてきている。

【課題】

- 地域学校本部事業に対して、学校や公民館等から地域への啓発活動をさらに促進する。
- ボランティア活動をしている人が高齢化してきているので、中高生を含む若いリーダーを育成する必要がある。

玉津小学校地域学校協働本部【西条市】

～地域や保護者、学校が協働し、玉津で育ち、玉津を愛する子を育てる～

◆活動の目的・理念

- 本校の教育目標「キラキラ ピカピカ みんなとあくしゅ えがおとやるきでじぶんにちょうせん」の具現化を目指し、保護者・学校・地域の組織的な連携・協働により、玉津地域で育ち、玉津を愛する子どもたちを育てる。

	配置	属性	活動内容								
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	2 名	公民館長 公民館活動推進 コーディネーター	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校・地域の教育活動への支援や参加促進のための協力要請 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整								
協働活動リーダーのべ人数	19 人	民生児童委員協議会委員長、主任児童委員、連合自治会長、公民館長、シニアクラブ会長、PTA会長等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	432 日	200 日	60 日	10 日	20 日	日	日	100 日	2 日	日	40 日
ボランティア のべ人数	3,049 人	2,400 人	120 人	20 人	40 人	人	人	329 人	100 人	人	40 人
連携・協力団体・機関	学校運営協議会、玉津公民館、玉津連合自治会、玉津親友会、玉津防犯協会、玉津交通安全協会、玉津婦人会、玉津小PTA 等										

取組の概要

<主な取組内容> 学校教育活動の支援～ちょこっとボランティアを通じて～

- **環境整備ボランティア**
 - ・草引きボランティア 樹木の剪定(せんてい)
 - ・花の水やり 花いっぱい運動
 - ・学校図書館の整備 新刊図書の受け入れ
 - ・施設の修理修繕
- **安全・安心ボランティア**
 - ・登下校の見守り活動
 - ・校外学習の見守り活動
 - ・水泳学習の見守り
 - ・放課後課外活動の見守り(コーラス部)
 - ・休み時間のちょこボラサロン
- **学習支援ボランティア**
 - ・教科等支援(九九の聞き取り)
 - ・書写指導の補助
 - ・家庭科実習の補助
 - ・教材作り
 - ・クラブ活動支援(軽スポーツ、茶道)



(草引きちょこボラ寄っといday♪)



(新1年生の下校見守り隊)



(ちょこボラ算数サロン♪寄っといday♪)



(ミシンお助け隊)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

地域人材育成を目指す体験活動

- **ビオトープ作り**
公民館の協力のもと、PTAも協力し、学校の園庭の池の泥や水草を除去し、きれいなビオトープを作った。愛媛県環境マイスターを講師に招き自然観察会も実施した。
- **玉津防災タウンウォッチング**
玉津校区の防災士やちょこボラと一緒に自分の住む地区を歩いて回り、防災上の危険箇所を知り、防災マップにまとめた。
- **玉の子音頭復活**
50年前に踊られていた「玉の子音頭」を地域住民の指導により復活させ、更なる地域の一体感の醸成を図った。



(ビオトープ作り)



(防災タウンウォッチング)



(玉の子音頭復活！全校で踊りマスター！)

事業を実施して

【成果】

- 学校の要望を分かりやすく発信したり、活動の様子を知らせたりして、ちょこボラの精選を行った。
- ボランティア同士のつながりやボランティアと教職員のコミュニケーションがより深まった。

【課題】

- 多くの地域住民に活動を周知し、新たなちょこボラの人材を確保する。
- 更なる活動報告・情報発信により、活動の充実を図る。

東谷小学校地域学校協働本部【東温市】

～学校・家庭・地域が一体となった取組～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が互いに協力し合って、次代を担う子どもたちの健全育成を目指す。
- 地域に根ざした伝統ある活動を受け継ぎ、教育の理解とその振興に努める。
- 教職員の業務負担を解消し、学校の業務改善を促進することで、教師が子どもと向き合う時間を確保する。

	配置	属性	活動内容
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	教員経験者	・地域学校協働活動を実施するための地域との橋渡し役
協働活動リーダーのべ人数	0 人		

活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数 212 日	200 日	日	7 日	日	日	日	日	日	5 日	日	日
ボランティア のべ人数 473 人	400 人	人	7 人	人	人	人	人	人	66 人	人	人

連携・協力団体・機関 学校運営協議会、PTA、地元区会、公民館、老人クラブ

取組の概要

<主な取組内容>

- 地域人材との交流活動
 - ・年間を通じて、米づくりを学ぶ
 - ・米づくりを通じて、地域の歴史や伝統を学ぶ
- 地域全体で取り組む見守り活動
 - ・登下校の見守り



(登下校の安全を見守る(全登校日))



(年間を通して地域と共に取り組む米づくり活動(田植えから稲わらを使ったしめ縄飾りづくりまで))

児童の感想

- ・田植えは苗が浮いてきて失敗ばかりだったが、地域の方に教わったとおりにすると、こつがつかめた。
- ・毎年稲刈りしていると新しい発見があり、こうして工夫を重ねていくことで上手になっていくのだと思った。
- ・しめ縄飾りづくりで稲作体験活動が終わった。活動を通して、地域の方とのきずなが深まったと感じた。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 地域との年間を通じた交流

毎年、5月に地域と一体となって計画、運営している東谷運動会を開催している。各地区の老人会から小学生まで幅広い年代の方々が集まる、学校と家庭、地域がつながる行事になっている。

5月の田植えから12月のしめ縄飾りづくりまで、年間を通して取り組む米づくり活動は、地元地区の方を講師に10年以上続いている。稲作を中心とした伝統的な農家の暮らしや環境に配慮した生活様式などを学ぶ貴重な場となっている。



(参加者全員による東谷音頭)

事業を実施して

【成果】

- 学校と家庭、地域が一体となった取組は長年続いており、地域と共有する学校が定着している。
- 稲作を体験するだけでなく、伝統的な暮らしや生活様式などを学び、児童は東谷地区のよさを体感している。

【課題】

- 児童数と家庭数の減少に伴い、これまでと同様の活動を継続することが難しい。地域の力を借りつつ、活動の在り方を柔軟に見直していく必要がある。

下灘小学校区地域学校協働活動【伊予市】

～地域の力で学校支援～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域社会が連携した総がかりの教育を目指す学校風土づくり
- 学校ボランティアとの連携によるコミュニティ・スクールの推進
- 創立150周年事業の実施

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置	属性	活動内容								
	1名	元校務員 元民生委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の環境整備、事務支援 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより) 								
協働活動リーダーのべ人数	0人										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数 63日	日	日	21日	日	24日	日	日	3日	3日	日	12日
ボランティア のべ人数 144人	人	人	63人	人	51人	人	人	3人	12人	人	15人
連携・協力団体・機関	漁業後継者の会、民生委員協議会、双海地区公民館										

取組の概要

<主な取組内容>

- **校内の美化清掃**
先生方だけでは手が行き届かない校内の美化清掃を地域の協力者の手で支援した。
- **学校だよりの配布**
従来子どもたちを通じて校区内各地域に学校だよりを配布し、校区内に学校の様子を伝えていたが、児童数の減少により、児童がいない地域が増えつつあり、推進員の協力で学校だよりの配布を支援した。
- **和太鼓の講師依頼**
下灘小学校で長年取り組んでいる和太鼓の演奏について、地域内の和太鼓が得意な方への連絡、学校の取組意図の共有などを推進員が支援し、講師の指導で質の高い学習機会となった。
- **創立150周年記念事業**
令和6年度に創立150周年を迎える下灘小学校の一連の事業の連絡調整を支援し、地域と学校の各種協働事業を



(地域の方と一緒にさつまいもを収穫)



(下灘小学校)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- **地域の力で運動会の開催支援**
かつて運動会には多くの地域から応援する方々が訪れていたが、児童数の減少により、児童がいない地域が増えつつあり、応援に訪れる方が減少していた。児童数とともに少なくなった保護者と教員が会場設営をしていたことから、推進員の呼びかけで地域の方10人以上が集まり、運動会の準備を手伝い、その後の運動会でも児童に多くの声援を送り、地域ぐるみの運動会となった。



(運動会ゴールゲートの設置)

事業を実施して

【成果】

- 樹木の剪定(せんてい)、芋畑の耕運機作業などを地域の協力で実施し、教育環境が向上し、教員負担も軽減した。
- 運動会の準備に地域の協力を得ることができ、子どもたちを中心に学校・保護者・地域が一丸となった。

【課題】

- 協働活動のアイデアがあっても、それを実現する資金が不足することがある。
- 地域の協力者が仕事のある現役世代の場合、仕事と学校支援の両立が難しい。

麻生小学校地域学校協働本部【砥部町】

～地域を愛する子どもの育成を目指して～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てる環境を整える。
- ふるさとについて学び、砥部を愛し、砥部に誇りをもった子どもたちを育てる。
- 地域人材の活用を図り、地域の教育力の向上を図る。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
		1	名	地域住民		・地域の教育課題解決に必要な総合的な連絡調整 ・地域、学校の教育活動への支援や企画、参加促進 ・学校運営協議会その他必要な協議体との連絡調整						
協働活動リーダーのべ人数	0	人										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	302 日	200 日	20 日	20 日	10 日	日	日	40 日	10 日	日	2 日	
ボランティア のべ人数	1,005 人	400 人	100 人	50 人	15 人	人	人	80 人	10 人	人	350 人	
連携・協力団体・機関	砥部焼の窯元、砥部町食生活改善推進協議会、松山南交通安全協会(本部・原町支部)、砥部町交通指導員、レインボーポケット、砥部町社会福祉協議会、麻生っこ協働活動サポーター等											

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域人材から学ぶキャリア教育

憧れの仕事、将来の夢など職業について興味を持ち学ぶキャリア教育のゲストとして、卒業生、保護者、地域の方に来ていただき授業を行った。

● 地域活動と連携した防災・福祉学習

砥部町社会福祉協議会を窓口、町内の防災士からの協力を得て防災体験と校区の水害にあったエリアをフィールドワークしたり、福祉学習のゲストを招き体験活動を行った。

● 地域の名人さんと野菜作り

野菜作りでは土づくりから苗つけ、収穫までの作業を地域の方にアドバイスいただきながら実施し、育てやすい野菜の種類選びや肥料・水やりなどのコツを学んだ。

● 子どもに寄り添う読み聞かせ活動

毎月1回、朝の自習時間に、ボランティアの方による絵本の読み聞かせを行っている。学年の発達段階や学習事項に合わせた絵本を選んでもらっており、児童の興味関心を高め、豊かな心を育てている。またグループの方からの発案で図書室の掃除や環境整備の協力を得た。

● コミスク座談会の開催

2学期の始めに、保護者と校長、地域学校協働活動推進員の座談会を開催した。地域や愛護班活動、子育てのことなど気軽に話せる情報交換の場となった。



(福祉学習)



(野菜作り)



(座談会)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● とべ動物園マイスターになろう

校区内にあるとべ動物園に愛着をもってもらうことを目的に、とべ動物園についての調べ学習を行った。1学期は動物園で学び、2学期には飼育員にインタビューを実施した。学習の成果をリーフレットにまとめ、地域の乳幼児親子や保育園児、地域の高齢者サロンの方々へ小学生がガイドを行った。



(とべ動物園マイスター)

事業を実施して

【成果】

- 地域の方々の協力をいただきながら、児童の深い学びにつなげる活動を行うことができた。
- 専門的な知識を持つ地域の方が、学校や子どもたちに関わることで活動がスムーズに行えた。
- 地域の方にも活気が生まれ、地域でも小学校の話や参加した活動についての話題が聞かれるようになった。

【課題】

- コミュニティ・スクール導入初年度で手探りな状態であったため、必要な役割や分担など改善点も多かった。
- 地域・学校・推進員の三者のコミュニケーションを円滑に行えるようにしていく必要がある。

美川小学校地域学校協働本部【久万高原町】

～学校・家庭・地域の力で子どもの健やかな育ちを～

◆活動の目的・理念

- 美川幼稚園・小学校の子どもたちの健やかな成長を学校と協働して支援する諸団体等の代表者、美川幼稚園・小学校関係者を中心に組織し、学校・家庭・地域が協働し、美川の園児・児童の健全育成を図ることを目指す。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
	1	名	地域住民		・学校・地域の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(こころの絆通信、学校だより)							
協働活動リーダーのべ人数	46	人	公民館長、民生委員、役場の方、老人会長、婦人会員、考古館の方、読み書かせボランティア									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	388 日	198 日	3 日	159 日	日	日	日	日	8 日	日	20 日	
ボランティア のべ人数	844 人	400 人	50 人	159 人	人	人	人	人	155 人	人	80 人	
連携・協力団体・機関	美川西公民館、美川南公民館、黒藤川公民館、二籠公民館、食生活改善協議会、防犯協会、西寿楽会、高山建設											

取組の概要

<主な取組内容>

● ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習

6年生の総合的な学習の時間では、「ふるさと学習」を中心に据え、校区内の施設見学や体験学習、町村合併に伴う地名変更の変遷の調査等に取り組むことができた。学習には、役場から外部講師を招いて授業を行ったり、現地に向向いてフィールドワークに取り組んだりすることで、地元理解や地域に対する思いを改めて考えるよい機会となった。



(上黒岩岩陰遺跡見学「遺跡が発掘された地層の説明」)

● 公民館活動と学校行事の連携

校区内には四つの公民館があり、運動会を公民館と合同で毎年開催している。1学期末に公民館長・公民館主事・学校で運動会の準備会を開催し、運動会の持ち方や種目の検討を行う。運動会の前日準備には、PTAのほか公民館関係者も参集し、会場の準備や校内周辺の草刈りや剪定(せんてい)等を行い、運動会に向けての環境整備に取り組んでいただいている。また、地元会社の協力で、入場門の設置、片付けも行っている。



(公民館合同運動会「種目:公民館対抗綱引き」)

児童の感想

- ・美川校区にまだ知らない施設があることを知ることができた。見学して説明を聞いたり、自分で調べたりしたことで、校区のことがよく分かって良かった。
- ・6年生最後の運動会が成功して良かった。地域の方も一緒になって運動会を楽しめたので、とてもうれしかった。地域の皆さんにもお礼を言いたい。

<特色ある取組>

● 収穫した野菜等を使った調理実習<収穫祭>

食生活改善協議会から講師をお招きし、学校園で収穫した野菜等を使った調理実習を行う行事である。実習当日は給食を止め、その代わりとして食べるため、事前に講師の先生方と相談して当日の献立を決定する。実習当日は、児童一人が一献立を担当し、保護者や講師の先生方の協力を得ながら調理を進め、隣接する幼稚園児も途中参加し、全員で献立を完成させた。和気あいあいとした雰囲気の中で食す団らんに、お招きした講師の方々にも大変喜んでいただくことができた。



(昼食風景「サツマイモご飯、野菜のかき揚げ、カボチャスープ」)

事業を実施して

【成果】

- 本年度6月から、学校と地域をつなぐ役割として地域学校協働活動推進員を校内に配置し、地域との連絡調整や学校行事への参画等で効果を上げることができた。
- コロナ禍を経て、学校行事等はそれ以前の状況に戻りつつある。児童・園児数は減少しているが、既存の組織を生かし、協働体制を構築・維持できている。

【課題】

- 地域住民や公民館関係者の高齢化等に伴い、学校にご参集いただく機会や人数が減っている現状があり、それらにどう対応していくかが課題である。
- 児童・園児が地域の方と触れ合うために、積極的に校外に出向く機会を設け、学校と地域の結び付きを維持できるような取組を進める必要がある。

栗津小・三善小・大洲東中学校地域学校協働本部【大洲市】

～八多喜・三善地区を愛する子どもたちを、地域で育てよう～

◆活動の目的・理念

- 「総合的な学習の時間」を軸とし、系統性を重視した八多喜地区、三善地区ならではの教育を支援していく。
- 学校活動に地域住民等が参画することで、子どもたちの多様な体験の機会を増やし、学校教育の充実を図る。
- 地域住民自らの知識や経験を生かす場を広げ、地域の教育力の向上を図る。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	元主任児童委員	・学校・地域・コミュニティセンターの年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動									
協働活動リーダーのべ人数	0 人											
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 39 日	12 日	日	日	日	日	日	日	15 日	12 日	日	日	
ボランティア のべ人数 135 人	108 人	人	人	人	人	人	人	15 人	12 人	人	人	
連携・協力団体・機関	八多喜自治会、三善自治会、八多喜地区社会福祉協議会、三善地区社会福祉協議会、八多喜寿会、竹友会、民生児童委員、主任児童委員、八多喜地区児童生徒をまもり育てる協議会、三善地区児童生徒をまもり育てる協議会 等											

取組の概要

<主な取組内容>

- **豊かな人材を活用した教育活動**
 - ・地域のお年寄りとの交流活動(小学校)
 - ・手つなぎボランティア活動(小学校)
 - ・七夕飾り(小学校)
 - ・和太鼓クラブの活動(小学校)
 - ・祇園太鼓・和田獅子練習(中学校)
 - ・ささ飾り制作・郷土料理体験(中学校)
- **心を豊かにする環境整備・体験活動**
 - ・JRC活動(小学校・中学校)
 - ・田植え・稲刈り体験、亥(い)の子で使う「わらすぼ」づくり(小学校)
 - ・みよし体験塾(小学校)
 - ・花の苗植え、グリーン運動、アルミ缶回収(中学校)
- **地域と学校との連携**
 - ・地域行事への参加、協力(小学校・中学校)
 - ・コミュニティセンターと連携した避難訓練(小学校・中学校)
 - ・コミュニティセンターと連携した運動会での盆踊り(小学校)



(七夕飾り)



(手つなぎボランティアの奉仕作業)



(合唱フェス 和田獅子発表)

和田獅子発表後の生徒の感想

1学期の間はまだまだの状態だったが、2学期にはとても良くなったと思う。時々、リズムを忘れることがあったが、一生懸命練習をがんばった。みんなで楽しみながら、和田の獅子舞ができて良かった。これからも地域の文化に興味を持ち、参加していきたい。有意義な体験をさせていただいた地域の方に、心から感謝したい。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 大洲東中校区学校保健委員会の取組

養護教諭が連携して大洲東中校区学校保健委員会を設置している。地域の子どもの健全育成について、研修会を実施している。今年度は「災害への備えについて」と題して、日本赤十字社愛媛県支部から講師を招き、御講演いただいた。その後、防災について、保護者、地域関係者、教職員、児童でグループにおける話し合い活動を行った。また、この会の前後には、三善・八多喜それぞれの地区で、地域と学校が連携した避難訓練を実施した。



(グループにおける話し合い活動)

事業を実施して

【成果】

- 学校において、地域人材活用の幅を広げることができ、教育の質の向上につながった。
- 子どもたちは地域の方と交流することにより、地域の新たな一面を発見したり、地域行事を支える多くの人の苦勞や努力を知ったりすることができた。それにより、地域へ貢献しようとする気持ちが高まった。

【課題】

- 地域の教育力を更に活用していきたい。
- 八多喜・三善地区それぞれにおける、地域と学校の連携・協働はよく行われている。今後は、大洲東中学校区が一体となった取組も検討していきたい。
- 児童・生徒が主体的に取り組む活動ができるよう、進め方を工夫していきたい。

内子中学校地域学校協働本部【内子町】

～「地域とともにある学校づくり」を目指して～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- ふるさと学習を中心として、地域のよさを感じ、郷土愛を深める。
- 地域人材の活用を図り、子どもたちの夢を応援する。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	地元の方	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・自治会館との調整及び支援活動の計画 ・学校支援活動の連絡と調整 ・広報・啓発活動(展示スペースの交渉) 									
協働活動リーダーのべ人数	17 人	教育委員、学識経験者、内子自治センター職員、内子東自治センター職員、内子小・立川小・石畳小運営協議会委員、民生児童委員、PTA役員、うちこ福祉館職員、八日市自治会長、主任児童員、内子町商工会女性部										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 131 日	11 日	0 日	10 日	0 日	0 日	100 日	0 日	0 日	8 日	0 日	2 日	
ボランティア のべ人数 1,150 人	330 人	0 人	20 人	0 人	0 人	500 人	0 人	0 人	180 人	0 人	120 人	
連携・協力団体・機関	八日市・護国地区町並保存会有志、八日市・護国町並保存センター、伊予銀行内子支店、内子町内飲食店											

取組の概要

<主な取組内容>

- 総合的な学習の時間(3年生)
 - ・上芳我邸で蠟(ろう)絞り体験
 - ・廃油石鹸づくり体験
- 中学生の作品展示などの広報活動
伊予銀行内子支店さんに支店内のスペースをお借りして、中学生の作品展示を行い、中学校の取組を周知した。
- 地域の飲食店との取組(文化祭)
文化祭の昼食準備を保護者が行っていたが、地元飲食店5施設にお弁当等を注文した。後日、中学生からお礼のメッセージを送った。
- 防災教育
学校運営協議会において、避難訓練の在り方や危険な場所などについて、意見交換や熟議を行った。



(伝統教育 蠟絞り体験)



(環境教育 廃油石けん作り)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- 地元の飲食店との取組み(文化祭)
文化祭の昼食準備を保護者が行っていたが、地元飲食店5施設にお弁当やスイーツを注文した。保護者や生徒は、地元の食材を生かしたお弁当を食べる機会ができ、後日、食事の感想を届けたところ、飲食店の方にも大変喜んでいただけた。中学生も、地域の飲食店の食事をとれたことを喜んでいた。売上げで、学校運営協議会で防災について熟議した際に提案のあった救急セットを各学級に購入した。

事業を実施して

【成果】

- 伊予銀行での作品展示や、文化祭の食事をとおして、地域の方や先輩方等と交流ができた。
- 総合的な学習の時間や防災教育をとおして、地域について学び、伝統文化や防災に係る知見を深めた。

【課題】

- 小学校との連携など活動が広がることを期待している。
- 防災教育をとおして、地域とともに活動する場が増えることを期待している。

三崎地域学校協働本部【伊方町】

～地域ぐるみ・町ぐるみで三崎の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てる。
- 地域の歴史・伝統・文化に関する関心や理解を深め、豊かな人間性を養う。
- 地域人材の活用を通して学校を支援するとともに地域の活性化を図る。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
		1	名	教員経験者		・学校支援ボランティアの派遣(人材確保及び連絡調整) ・広報・啓発活動 ・学校支援ボランティアの募集					
協働活動リーダーのべ人数	214	人	公民館、伊方町役場三崎支所、社会福祉協議会、老人クラブ三崎支部、佐田岬半島ミュージアム、三崎建設、地域住民等								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数	309 日	204 日	18 日	日	52 日	日	日	21 日	7 日	日	7 日
ボランティア のべ人数	697 人	252 人	55 人	人	74 人	人	人	124 人	171 人	人	21 人
連携・協力団体・機関	公民館、伊方町役場、佐田岬半島ミュージアム、社会福祉協議会、日赤奉仕団、老人クラブ三崎支部、PTA、三崎高校										

取組の概要

<主な取組内容>

- **地域人材を生かした教育活動**
 - ・全校児童への読み聞かせ活動
 - ・生活科や総合的な学習の時間における体験活動
(さつまいも栽培、おやつ作り、裂織り体験、平和学習)
 - ・職場体験・農業体験
 - ・企業による出前事業「魚礁と海の環境保全」
 - ・餅つき体験
 - ・地域交流会
- **心を豊かにする環境整備**
 - ・学校運動場周辺の草引き
 - ・樹木の剪定(せんてい)
- **地域全体で見守り活動**
 - ・登下校の見守り活動
- **地域との協働活動**
 - ・三崎地域・三崎中学校合同文化祭



(読み聞かせ)



(さつまいもを使ったおやつ作り)



(日赤奉仕団との清掃活動)



(平和学習)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 合同防災訓練

毎年、地震、津波を想定した防災訓練を保育所・小学校・中学校・高等学校が合同で実施している。保育所・小学校・中学校が隣接していること、避難所が高台にある高等学校であることで連携した避難訓練ができ、それぞれの役割分担が明確となっている。今年度も11月に、地元消防団や伊方町役場の防災担当者、消防署第一分署の協力もあり、適切な誘導支援のもと実施できた。



(合同防災訓練)



事業を実施して

【成果】

- 地域学校協働活動を通して学校と地域がつながりを深め、連携して子どもたちを育てる意識が高まった。
- 学校は地域から支援を受けるだけでなく、地域との合同行事を実施したり、地域活動に参加したりできた。

【課題】

- 地域学校協働活動に対する理解を深めるため、さらに情報発信に努める。
- ボランティア人材の確保では、幅広い人材を確保できるよう、地元企業や各種団体等の活用にも努める。

二名小学校地域学校協働本部【宇和島市】

～地域の魅力を活かしながら地域活性化を目指した地域と学校の連携・協働活動～

◆活動の目的・理念

- 地域と学校が教育目標を共有し、子どもたちが地域へ愛着と誇りを持つことができる温かい教育活動を展開する。
- 地域学校協働活動推進員が学校と地域の橋渡し役となり、双方の信頼関係を深める。
- 地域の自然環境や文化的資源を最大限に活用した持続可能な取組を推進し、地域全体の活性化を目指す。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1名	教員経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の計画立案および教職員や関係者への提案・共有 ・学校支援ボランティアとの連絡調整と円滑な連携体制の構築 ・広報・啓発活動の推進(学校だよりや活動案内を通じた情報発信など) 									
協働活動リーダーのべ人数	60人	学校運営協議会委員、保護者、地域住民、二名小米作りの会、二名小学校13日の会、老人クラブ										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	228日	193日	6日	日	日	日	日	20日	1日	日	8日	
ボランティア のべ人数	787人	579人	60人	人	人	人	人	74人	6人	人	68人	
連携・協力団体・機関	学校運営協議会委員、保護者、地域住民、二名小米作りの会、二名小学校13日の会、老人クラブ											

取組の概要

<主な取組内容>

- **米どころ三間ならではの年間を通じた米づくり活動**
地域とともに30年以上にわたり米づくり活動を行ってきた。年間の作業を通じて、地域とのきずなを深め、地域への愛着と誇りを育んでいる。
- **中学校・高等学校と協働した予土線応援活動**
列車の見送り等予土線応援を実施。宇和島KITAI企画の「予土線マルシェ」では予土線愛を発表し、中高生と協働してマルシェを盛り上げた。
- **地域と心をつなぐヒマワリ・コスモス栽培活動**
ヒマワリやコスモスの栽培を通じて豊かな心を育てている。駅や沿道も花で彩り地域の魅力向上に寄与している。
- **心を豊かにする環境整備**
隔月でボランティアによる環境整備を実施。児童は感謝の気持ちを抱きながら地域貢献への意識を高めている。

児童の感想

- ・地域の方々のおかげで、おいしいおもちを食べることができた。
- ・地域になくってはならない大事な予土線を、これからも応援していきたい。
- ・学校や地域が花でいっぱいになって、とてもうれしかった。
- ・地域の皆さんのように、私も人のためにできることをしていきたい。



(稲刈り)

(もちつき)



(予土線応援)

(予土線マルシェ)



(コスモス栽培)



(環境整備)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- **学校運営協議会を活用した地域ぐるみの学校づくり**
学校運営協議会を通じて学校経営方針を地域と共有し、連携した持続可能な教育活動を協議。地域学校協働活動推進員の活躍により、地域との信頼関係を基盤とした活動計画が実施されている。
- **地域と子どもがつながる行事や授業の公開**
学校運営委員会と学校保健委員会を一体化し、保護者が参加しやすい昼間の時間帯に開催。授業を地域住民や学校運営協議会委員に公開し、児童の学びの姿を通じて地域からの理解と信頼を深めている。



(協働活動の様子)

事業を実施して

【成果】

- 児童が地域の魅力を理解し、地域への愛着と誇りが芽生え、自らの行動意欲を高めることにつながった。
- 学校の行事に地域の高齢者が積極的に関わっており、保護者を加えて学校に地域の3世代が集い、地域文化や人々の思いを伝承する場となっている。

【課題】

- 児童数や家庭数、地域住民の減少とともに今の協力体制の継続・維持に不安を感じている。
- ボランティアの高齢化に伴い、地域学校協働本部の活動維持のための手立てが必要である。

三島小学校地域学校協働本部【鬼北町】

～地域とともにある開かれた学校づくり～

◆活動の目的・理念

- 三島地域に受け継がれてきた伝統や文化を、学校教育に効果的に取り入れる。
- 地域の組織や人々との連携・協働の体制を維持・発展させ、地域の教育力を学校教育に生かす。
- 地域を知り、地域を愛し、地域に生きる児童の育成に努める。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	町職員(会計年度 任用職員)		・学校行事・地域行事に即した支援活動の計画及び連絡調整 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより)						
協働活動リーダーのべ人数	15	人	公民館長、老人クラブ会長、農家の方、菌興協同組合、鬼北町農業公社、日吉農林公社等								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	288 日	201 日	25 日	日	日	日	日	51 日	5 日	2 日	4 日
ボランティア のべ人数	3,825 人	3,216 人	70 人	人	人	人	人	212 人	274 人	20 人	33 人
連携・協力団体・機関	三島公民館、三島老人クラブ、三島自治会、鬼北町役場、宇和島地区広域事務組合、三島っ子見守り隊 認定こども園ゆずっこ、県立北宇和高校、鬼北町社会福祉協議会、宇和島警察署、駐在所、地元企業等										

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもに寄り添う学習支援

- ・歴史学習、生活科・社会科等見学、県立北宇和高校との連携学習
- ・地域の人々や産業、文化財を知る郷土学習(戸祇の子学級)
- ・車いす体験や高齢者疑似体験を通じての福祉学習
- ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせ会

● 学校を支える環境整備

- ・老人クラブによる樹木の剪定(せんてい)、美化活動
- ・PTAと公民館関連団体との合同奉仕作業

● 学校行事への参画と合同行事の実施

- ・保小交流事業 ・運動会や学習発表会への地域の参加

● 地域全体で取り組む見守り活動

- ・地域ボランティアによる「三島っ子見守り隊」



(地域で行う「三島大運動会」)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 地域を知り、地域の人とつながる戸祇の子学級

三島小学校では、主に3～6年生が活動する戸祇の子学級があり、地域の公民館や老人クラブを中心に指導していただいている。戸祇の子学級では、春の開講式・クロッケー大会に始まり、夏には座禅教室、サマーキャンプ、秋にはいもたき、冬にはしめ飾りづくりなど、年間を通じて世代を超えた交流がある。1・2年生については、地域のお年寄りや、竹とんぼやお手玉といった昔の遊びや、いもたきを一緒に食べるなどといったことを通じて、交流を深める機会がある。子どもたちとお年寄り、双方が名前と顔を覚えて、地域で子どもたちの成長を支えていただいている。



(戸祇の子学級:クロッケー大会)

児童の感想

- ・戸祇の子学級の開講式で、一年間にどんなことをするのかの説明があった。活動が楽しみ。(5年 男子)
- ・クロッケーのこつを教えてもらった。また、交流が深められたのでうれしかった。(5年 女子)
- ・サマーキャンプで、カヌー体験やカレー作りをした。いろいろな体験ができたのがよかった。(6年 女子)

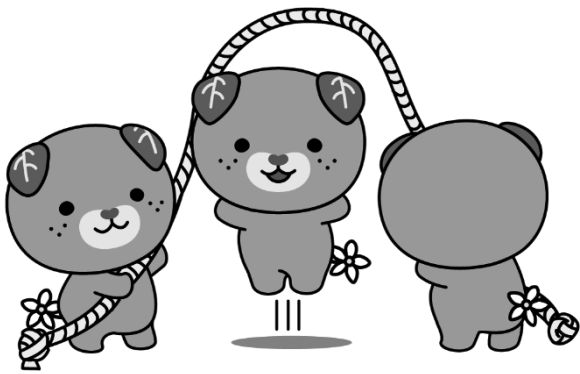
事業を実施して

【成果】

- 継続的な活動が増え、単級だけでなく、複式学級の年間指導計画に沿った活動ができるように改善した。
- 積極的に校外に出て行って地域の方々と深く交流したり、新しい発見をしたりするなど、有意義な活動を行うことができた。
- 自然が豊かで、地域と密接な関係にあるという特色を生かし、理念にある「地域に生きる児童の育成」を目指す活動ができた。

【課題】

- 本校を含めた町内の小学校では、公共施設・企業の見学などで、町内の他校区に校外学習に出掛けることが多い。町内の小学校で連携した合同見学やオンライン合同授業などを行う際、地理的不便さが学習機会に影響を与えないよう、各地域学校協働本部間で連携を図る必要がある。
- 講師の高齢化に伴い、実施ができない活動があった。活動が継続できるよう、講師の発掘に努めたい。



えひめ未来塾



「地域の人材を生かした学力向上」
(石城学び舎【西予市】)

- | | |
|-----------------|----|
| ①【西条市】西条西中地域未来塾 | 44 |
| ②【東温市】東温市地域未来塾 | 45 |
| ③【大洲市】ひらの未来塾 | 46 |
| ④【内子町】うちこ未来塾 | 47 |
| ⑤【西予市】石城学び舎 | 48 |
| ⑥【宇和島市】うわじま土曜塾 | 49 |

西条西中地域未来塾【西条市】

～学校と連携して中学生の学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 中学3年生に数学の学力を高める。
- 学校と連携して子どもたちに必要な学習支援を支援する。
- 落ち着いた環境の中で、仲間と共に学び合う。

活動場所	西条西中学校	対象児童・生徒	中学3年生	対象学校区名	西条西中学校	
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	18	日	毎週火曜日	15 : 30 ~ 16 : 40	
	土・日・休業日等	0	日		: ~ :	
児童・生徒の平均参加人数	23	人/日	学習支援員	4	人/日 教員経験者	
教育活動サポーターのべ人数	0	人		ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	宿題や定期・実力テスト等の学習支援		参加者募集	中学校が希望者を募る		

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習支援活動**
宿題などを確実に仕上げるができるように支援する。
分からないことや行き詰まっている内容を解決する。
- **定期・実力テストに対する学習支援**
分からない問題が解決できるよう丁寧に支援する。
テストやテスト勉強の取組方についてアドバイスをする。
- **地域や学校の連携**
学習の様子や学習内容について学校と情報交換をする。
学校だよりなどで未来塾の活動の様子を掲載する。



(難しい問題を質問)

生徒の感想

- ・集中して学習に取り組むことができ、テストに自信をもって臨むことができました。
- ・いつも分からない問題を丁寧に説明してくれたのでよく分かる。
- ・友達と一緒に学習できるのでとても楽しい。

<特色ある取組>

- **経験豊かな学習支援員による支援**
数学担当の先生や教頭先生が、毎回のように活動に参加し、テスト対策や受験勉強の効果的な取組方について伝えたり、一人一人の理解度に配慮したりするなど、経験を生かした個別指導の充実を図った。



(一緒に考えて問題解決)

事業を実施して

【成果】

- まじめに学習に取り組み、よく質問し、分からない問題を解決しようと、よくがんばる生徒を育てることができた。
- 教員経験者が積極的に参加したことで、学ぶ側、教える側が共に楽しく活動できる学習環境を作ることができた。

【課題】

- 参加生徒が多いので、十分支援できないときがある。支援者の確保が必要である。
- 学校との連携を深め、指導の徹底を図りたい。

東温市地域未来塾【東温市】

～地域ぐるみで学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 家庭での学習が困難な、又は学習習慣が十分身に付いていない中学生を対象として、教員経験者や地域住民等の協力を得て学習教室を開催することにより、学習の遅れの解消や学習習慣の定着を図る。

活動場所	川内公民館	対象児童・生徒	川内中学校在籍生徒	対象学校区名	川内中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	26	日	毎週火曜日	16 : 00 ~ 17 : 30
	土・日・休業日等	37	日	毎週土曜日	9 : 30 ~ 11 : 00
児童・生徒の平均参加人数	13	人/日	学習支援員	3	人/日 教員経験者
教育活動サポーターのべ人数	83	人	大学生	ボランティアのべ人数	25 人 地域住民、高校生
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の定着、学習相談への対応		参加者募集		中学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習支援員が自作の問題(文章問題・数学等)を作成し、各回の最初に取り組んでいる。
- 習熟度に応じた個別指導、進路相談等の受講生のニーズに合わせた対応を実施している。
- 長期休業中(夏休み・冬休み)も継続して行い、学習習慣の定着を図っている。
- 市公式ホームページや市公式SNSを活用し、積極的に情報発信している。



(友人と学びを深める)



(学習支援員作成のプリントを解く)



(分からない問題を質問する生徒)

生徒の感想

- ・学習習慣が身に付いた。
- ・いつも優しく丁寧に教えてくれる。
- ・授業中に十分理解できなかったところを分かりやすく教えてもらった。
- ・夏休みも継続して学習することができた。
- ・悩んでいた進路相談を快く引き受けてくれとても助かった。
- ・学習支援員さんの問題を解くことが楽しみになっている。
- ・未来塾のおかげで勉強が楽しくなった。



(教育活動サポーターのひとつこと黒板)

<特色ある取組>

● 地域の方々による協力

地域在住の教員経験者に学習支援員として指導をお願いしており、今までの経験に基づいた個別の指導や対応が可能となっている。また、大学生がサポーターとして参加しており、受講生と近い年代であることから受講生の進路について参考になるような経験を話すことができている。



(学習支援員による個別指導)

事業を実施して

【成果】

- 受講生に学習習慣の定着がみられ、学習意欲の向上がみられた。
- 学習支援員などと学習に取り組むことで、自分自身が何が分からないかが把握できるようになり、学習を楽しめるようになった。

【課題】

- 部活や課外活動があり、参加したいが時間的に難しい希望者への対応。
- 夏休みや冬休みなどの長期休業中の実施体制の確保。

ひらの未来塾【大洲市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 家庭での学習習慣の定着を目的とし、長期休業中(夏休み)の学習支援を行う。
- 学習の遅れを取り戻し、スムーズに2学期を迎えらるようさせる。
- 地域の方や、卒業した先輩との関わりの中で、安心して学習させる。

活動場所	平野コミュニティセンター	対象児童・生徒	小学1年生～中学3年生	対象学校区名	平野小・中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	:	～
	土・日・休業日等	11	日	9	: 00 ~ 15 : 00
児童・生徒の平均参加人数	33	人/日	学習支援員	2	人/日
			教員経験者、PTA会員、元PTA会員、民生児童委員、学生ボランティア(高校生・大学生)		
協働活動サポーターのべ人数	0	人	ボランティアのべ人数	50	人
			元PTA会員、学生ボランティア		
活動内容	夏休みの宿題、自主学習の支援		参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布	

取組の概要

<主な取組内容>

- **宿題にじっくり取り組む**
 - ・夏休みの宿題を終わらせる。
 - ・分からないところは、高校生や大学生、地域のボランティアに遠慮なく聞かせる。
- **学習時間と休憩時間のけじめをつける**
 - ・小学生は45分、中学生は50分で10分休憩をとらせる。
- **「カクトレ」「漢字コグトレ」「中学10分ドリル」活用**
 - ・宿題が終わっている子どもには、ドリルにチャレンジさせる。
- **作文・読書感想文教室・習字教室を開催**
 - ・作文・読書感想文教室は前半・後半に1日ずつ開催。
 - ・習字教室は伊予高校書道部の協力により実施。

開催日	前半	7月29日(月) ~ 8月2日(金)
	後半	8月19日(月) ~ 8月23日(金)
時間	小学生	9:00 ~ 11:00
	中学生	13:00 ~ 15:00



(地域の方や高校生・大学生ボランティア) (子ども目線での指導)

アンケート結果から

- 【集計結果】「参加させて良かったか」という内容の質問項目について肯定的な回答が100%であった。
- 【感想等】親として教えたり、アドバイスできたりすることには限界があるため、専門的に活動されている方に習うことができることは、とても大切であり、ありがたく思っている。
- ・書道で有名な伊予高の生徒さんによる習字教室は、たいへん興味深い企画だった。これからも魅力あるひらの未来塾の継続を楽しみにしている。

<特色ある取組>

- **作文・読書感想文教室や習字教室の開催**

夏休みの宿題で子どもたちを悩ませるのが作文や習字だが、教員経験者や高校生ボランティア(伊予高校)の協力で実施することができた。
- **高校生の総合的な探求の時間とのコラボレーション**

伊予高校の書道部は、高校の総合的な探求の時間を活用した参加であった。双方にとって実りの多い活動となった。



(書道部の協力による習字教室)

事業を実施して

【成果】

- 今回はボランティア依頼を市内の高校にお願いしチラシを配布した結果、応募者が大幅に増加した。
- 読書感想文教室や習字教室では、専門的なボランティアの協力により、コンクールなどで入賞する参加者もいた。

【課題】

- 保護者の送り迎えが困難な子どもの参加
- 中学生の参加が少ない。

うちこ未来塾【内子町】

～地域で子どもの新しい学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人一人が意欲的にプログラミングを体験する取組を支援する環境を提供する。
- 将来の夢や身近な生活につながるプログラミング活動を通じた学びを目指す。
- 脱炭素社会の実現など、未来の環境を考える学びを提供する。

活動場所	各学校、南予サイン		対象児童・生徒	小学1年生～中学3年生	対象学校区名	内子町内小・中学校
開催日数・曜日・時間等	夏季休業中	2	日	夏季休業中	10 : 00 ~ 11 : 30	
	土曜	1	日	土曜(3回)	11 : 00 ~ 11 : 45 12 : 30 ~ 13 : 15 14 : 00 ~ 14 : 45	
	平日放課後	3	日	平日放課後	9 : 00 ~ 11 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	10	人/日	学習支援員	2	人/日	地元企業
協働活動サポーターのべ人数	0	人		ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	プログラミング体験教室			参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

● 木育×プログラミング教育

MOCK UP 夏の体験講座「マイクラでゲーム建築」

- ・マイクラフトをプログラミングで操作する。
- ・内子町の町並みの建物をモチーフに、建物をつくる。

MOCK UP 冬のワークショップ「デジファブでクリスマスオーナメント作り」

- ・コンピューターでモノ作り「デジタルファブ리케이션」を学ぶ。
- ・手描きのオリジナルモチーフでレーザー加工を体験。



(デジファブで木工体験)

● 学校巡回放課後体験講座

第1回「プログラミングで学ぶAR(拡張現実)」

- ・AR技術に触れるプログラミング学習。
- ・Scratchプログラミング。

第2回「仮想現実VR動画を作ろう」

- ・林業の現場の雰囲気やVRを通じて体験。
- ・虫の目、魚の目になって、VR動画作成。

第3回「生成AI」

- ・生成AIでどんなことができるのか、使用するとき気を付けること。
- ・生成AIで小田の風景を描く。



(VR動画作成体験)

<特色ある取組>

● 学校巡回放課後体験講座 第3回「生成AI」

将来的に触れる機会がでてくる可能性のある生成AIについて、生成AIを使うとどんなことができるのかを学ぶとともに、生成AIを扱う際に注意することを学んだ。

また、生成AIに文章で説明して、小田の風景を描いた。



(生成AI体験)

事業を実施して

【成果】

- プログラミングや生成AIなど新技術を体験する過程で、考えたり、表現したり、様々な学びがあった。
- 新しい技術に興味を持つ機会をつくることができた。

【課題】

- 学校巡回では、少人数規模の学校に限定された。
- イベント型なので、1回の体験のみになり、継続した活動になりにくい。

石城学び舎【西予市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人ひとりが目標を持ち、意欲的に学力向上を目指す子どもの学びを支援する環境を提供する。
- 地域の方々の協力を得ながら、学力の定着を目指す。
- 一人ひとりに応じた子どもの学びを支援する。

活動場所	石城地域づくり活動センター	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	石城小学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	:	～
	土・日・休業日等	35	日	毎週土曜日	9 : 00 ~ 11 : 30
児童・生徒の平均参加人数	15	人/日	学習支援員	3	人/日 教員経験者
協働活動サポーターのべ人数	0	人	ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、プリントの活用、学習習慣の育成、学習相談への対応		参加者募集	小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

- **宿題にじっくり取り組もう。**
誰もが落ち着いて学習できる環境を整え、個々で宿題に取り組み疑問点は丁寧に指導し苦手箇所を克服する。また、学習習慣の定着を図り学ぶ力の向上を目指す。
- **ステップアップ学習に挑戦しよう。**
宿題が終わったら、指導者が用意したプリントにも挑戦し学力向上を目指す。

児童の感想

- ・宿題を計画的にするようになったり、復習のプリントなどをしたりして勉強になった。みんなで教え合い楽しく勉強できている。
- ・勉強をするのがいつも一人だから、みんなと宿題をすることができ参加してよかった。

保護者の感想

- ・じっくり勉強に向き合う時間ができ、学力の向上にもつながっていると思う。
- ・自宅では、テレビを見ながら宿題をしているので、学び舎(や)で学習させていただいて大変助かっている。
- ・家では、宿題も勉強も後回しにして、やりたがらないが、学び舎(や)は、自主的に「行きたい。」と言って参加している。



(学習の様子)

<特色ある取組>

- **地域の人材を生かした学力向上**
地域に在住の指導者を招き、児童の指導をお願いしている。元教員や学校生活支援員を経験されている方を中心に構成することで、児童への指導や対応をきめ細かに行うことができる。児童・保護者からも高評価を得ており、弟妹に引き継いで参加する家庭も見られる。



(開講式の様子)

事業を実施して

【成果】

- 土曜日の午前中は、学び舎(や)で勉強することが習慣化されつつある。
- 校長先生や教頭先生に時々のおいでをもらうことが、子どもたちのやる気につながっている。

【課題】

- 指導者の確保。
- 土曜日の午前中に習い事に行っている子どもが多く参加する児童が少ない。

うわじま土曜塾【宇和島市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 少人数指導によって、各塾生に合ったきめ細かい学習支援を行い、学力の向上や学習習慣の定着を図る。
- 体験学習やレクリエーションを通じて、相互の人間関係を深めるとともに将来について考える機会を与える。

活動場所	市内6か所の公民館		対象児童・生徒	小学4年生～6年生 中学1年生～3年生	対象学校区名	宇和島市立の小・中学校 (小学校27校、中学校9校)
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	毎週土曜日(午前の部)	9 : 00 ~ 12 : 00	
	土・日・休業日等	39	日	毎週土曜日(午後の部)	13 : 30 ~ 16 : 30	
児童・生徒の 平均参加人数	1か所 29	人/日	学習支援員	1か所 9	人/日	教員経験者、塾講師、家庭教師など
協働活動サポ- ーターのべ人数	0	人		ボランティア のべ人数	0	人
活動内容	教科書準拠の教材やスタッフ自作の教材を活用して、個に応じた「学習支援」や「体験学習」を行う。			参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

● 学習支援

- ・開講式に、前学年までの学習内容のテストを行い、各塾生の学習習熟度を把握する。
- ・事前に教材研究を行い、提示資料やプリントの作成等の準備をしっかりと行い支援に臨む。
- ・学年、教科、習熟度によって少人数のグループに分かれ、きめ細かな学習支援を行う。
- ・教室と家庭(保護者)の連携ツールとして、「ふり返りプリント」を活用している。

● 研修会

- ・各教室でミーティングを行い、塾生の学習状況や課題等の情報交換を行う。(月1回)
- ・市教委、教室リーダー、土曜塾コーディネーターが集まり、リーダー研修会を行う。(年3回)
- ・全教室のスタッフが集まる全体研修会を行い、情報交換や意見発表を行う。(年3回)



(各教室の学習の様子)



(全体研修会)

塾生の感想

- ・家庭で勉強するよりも、先生や友だちと一緒にやる方が分かりやすいし、楽しい。分からないことがあれば、すぐに先生が来て教えてくれるので、すごくうれしかった。
- ・いろいろな体験学習や授業に参加して、友だちと楽しく勉強ができたし、仲間も深まってよかった。
- ・一人一人に丁寧に向き合ってくれて質問しやすかった。受験前にはしっかりと受験対策ができた。

<特色ある取組>

● 地域の民間企業・団体等を活用した体験学習

- ・目的 活動を通じてコミュニケーションを図り、塾生が将来の夢や目標について考えるきっかけをつくる。
- ・内容 ① 外部講師による体験学習
(おもしろ実験、陶芸、塩作り、ドローン体験、自動車教室等)
- ② 防災学習、各教室で企画したレクリエーションやお楽しみ会



(ハワイの文化教室)



(塩作り教室)

事業を実施して

【成果】

- 個別支援の充実、研修会の工夫による成功事例等の情報共有によって、塾生の学習意欲、学力は向上した。
- 「ふり返りプリント」の充実や参観日の実施、マスメディアの活用等により、学校・家庭・地域との連携が深まり、塾の活動に好影響を与えている。

【課題】

- 塾の活動をさらに充実させ、入塾希望者の増加及び塾生の出席率を向上させたい。
- 中学生の学習支援員について、専門性が高いことから人員が不足している。



放課後子ども教室



「水生生物観察会」

(大瀬小学校放課後子ども教室【内子町】)

①【四国中央市】	トーキョーコーヒーラテ教室	52
②【新居浜市】	やんちゃクラブ	53
③【西条市】	楠河放課後子ども教室	54
④【今治市】	宮窪小学校放課後子ども教室	55
⑤【東温市】	北吉井放課後わくわく教室	56
⑥【伊予市】	北山っ子通学合宿	57
⑦【久万高原町】	仕七川小学校放課後子ども教室	58
⑧【大洲市】	河辺小学校放課後子ども教室	59
⑨【内子町】	大瀬小学校放課後子ども教室	60
⑩【西予市】	中川放課後子ども教室	61
⑪【宇和島市】	三間放課後子ども教室	62
⑫【鬼北町】	好藤地区放課後子ども教室	63
⑬【愛南町】	緑子ども塾	64

トーキョーコーヒーラテ教室【四国中央市】

～学校に行かない選択をした子どもたちが“イテイイ”居場所として～

◆活動の目的・理念

- 学校に行かない選択をした子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくる。
- 大人と一緒にする物作りや料理を通して、子どもたちの自主性や想像力を育み、社会性を身に付ける。

活動場所	三島公民館		対象学校区名	全小・中学校		子どもの平均参加人数	4 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	23 日	水曜日	10 : 00 ~ 14 : 00		児童クラブとの連携	児童クラブ無	
	土・日・休業日等	0 日						
活動のべ日数	23 日	学習活動	日	スポーツ	日	文化芸術	日	体験活動
協働活動リーダーのべ人数	90 人	23 日	90 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
協働活動リーダーのべ人数	23 人	元会社員 他			ボランティアのべ人数	0 人		
参加者募集	チラシの配布イベントやSNSでの広報			参加費用	1回500円	連携・協力機関・団体	三島公民館	

取組の概要

<主な取組内容>

- **お菓子作り**
クッキー・ゼリー・ケーキ等、季節に合ったものを講師に教えてもらいながら製作した。家族にプレゼントしたり、不登校相談会に来られた方に提供したりした。
- **パン作り**
生地から製作し、好きな具材を用意してそれぞれ自由にパン作りに取り組んだ。自分で作ったものを家族にプレゼントした。
- **料理**
好きな具材を持ち寄り、お昼ご飯を作った。(ぎょうざ・カレー・チャーハン・みそ汁・土鍋ご飯、ピビンパ等)
- **端切れで遊ぼう**
端切れで物作りに取り組んだ。
(人形の服、くるみボタン、タッセルキーホルダー、箱、クリスマスツリー、リース等)



(ぎょうざ作り)



(チャーハン作り)



(クッキー作り)

児童の感想

- ・自分で作ったクッキーやパンを家族のみんながおいしいと言って喜んでくれてうれしい。
- ・ぎょうざを包むのが苦手だけど、友だちの道具を貸してもらったら自分にもできたから、うれしくてたくさん作った。
- ・友だちと一緒に昼ご飯を食べたり、遊んだりできて楽しい。

<特色ある取組>

● 大人も子どもと一緒に過ごす

登校拒否を入れ替えて「トーキョーコーヒー」という大人が楽しいことをしながら教育についてアップデートしようという活動を行っている。その活動と子ども教室を一緒に行っているため、この場には、子ども教室の登録者以外に、学校に行かない選択をした子どもを応援する大人や元不登校の学生等が参加している。ボランティアという位置付けではなく、一参加者として一緒に楽しむ。その空間ではいわゆる上下関係はなく、大人が困ったら子どもが助けてくれるし、子どもが困ったら他の子どもが助けるようなことが自然に行われている。



(みんなで作った昼食を共に)

事業を実施して

【成果】

- 学校以外の居場所として、子どもたちが安心して過ごすことができています。
- それぞれの得意や好きなことを生かしたり、苦手なことは周りで補ったりしながら、みんなで活動することができています。
- 午後から、「トーキョーコーヒー放課後子ども教室」という別の教室に来る子どもたちとも楽しく遊んで過ごすことができています。

【課題】

- 不登校の数は多いが、参加者の人数はその人数と比較して少ない。より周知してもらうために、次年度は各学校に協力してもらうことにも力を入れたい。
- 校区外の児童生徒は親の就労等が理由で送迎ができない子どもも多く、その場合参加が難しい。デマンドタクシーやファミサポ等、行政の積極的な支援を望む。

やんちゃクラブ【新居浜市】

～地域全体で子どもたちの成長をサポート～

◆活動の目的・理念

- 子どもの安心・安全な居場所づくり
- 活動を通じて、子ども間・親子間・地域の方との交流を深める。
- 地域の方の協力を得て、子どもたちに様々な体験活動を提供する。

活動場所	高津小学校	対象学校区名	高津小学校	子どもの平均参加人数	26 人/日						
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	0 日		児童クラブ との連携	校内交流型 たねっこクラブ						
	土・日・休業日等	29 日	毎週土曜日			9 : 00 ~ 11 : 00					
活動のべ日数	29 日	学習活動	1 日	文化芸術	7 日	体験活動	3 日	交流活動	18 日	その他	0 日
協働活動リーダーのべ人数	23 人	スポーツ	4 人	文化芸術	15 人	体験活動	4 人	交流活動	0 人	その他	0 人
協働活動リーダーのべ人数	64 人	PTA役員		ボランティアのべ人数	78 人	PTA会員、地域住民					
参加者募集	年度始めに小学校にて案内を配布(途中入会可)	参加費用	無料	連携・協力機関・団体	高津小PTA、高津公民館、高津社会体育振興会、社会福祉協議会高津支部 他						

取組の概要

<主な取組内容>

- **スポーツ活動**
レクバレー・ドッチビー、モルック、ボッチャ
- **体験活動**
さつまいも作り、しめ縄作り、昔の遊び、親子キャンプ
- **交流活動 地域の方と一緒に！**
七夕飾り作り、ミニ太鼓台作り、クリスマス工作
- **その他活動**
子どもたちの自主性による自由遊び



(モルック体験)



(ミニ太鼓台作り)



(クリスマス工作)

児童の感想

- ・楽しかった。また来年も参加したい。(全ての活動において)
- ・初めてやってみたけど楽しかった。(モルック・ボッチャ)
- ・中学生になっても参加したい。(さつまいも作り・しめ縄作りなど)

<特色ある取組>

- **さつまいも植え～収穫**
さつまいもの苗を植えるところから始まり、自分たちで除草作業も行い、収穫する。食物を自分たちで育てることにより、食物を育てる大変さや食物に対する大切さを身に付けることができた。
- **親子キャンプ**
1泊2日の親子キャンプでの飯ごう炊さんや自由遊びなどを通して、日頃家庭ではできない体験をすることができたり、友だち同士での交流・親子間での交流・家族間での交流が深まったりした。



(さつまいも収穫)

事業を実施して

【成果】

- 活動を通して子どもたち同士で助け合い、教え合うようになり、同学年だけではなく異学年での交流が深まった。
- 伝統行事の工作などを地域の方と一緒に活動することにより、地域の方との交流や伝統行事への関心が深まった。

【課題】

- 高学年児童の参加が減少傾向にある。
- 中学生も一緒に活動できる機会を構築。
- 地域の方の継続的な支援。
- 子どもたちのニーズに合ったプログラムづくり。

楠河放課後子ども教室【西条市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 放課後の子どもたちの安全で健やかな活動拠点の設置
- スポーツや文化活動の体験、学習活動の指導
- 活動を通じて地域の大人との交流による子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性の育成

活動場所	楠河公民館		対象学区名	楠河小学校		子どもの平均参加人数	17 人/日						
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	16 日	火曜日	15:00～16:00		児童クラブ との連携	連携型 楠河児童クラブ						
	土・日・休業日等	3 日	夏季休業中の火曜日	9:00～10:00									
活動のべ日数	19 日	学習活動	4 日	スポーツ	4 日	文化芸術	15 日	体験活動	4 日	交流活動	4 日	その他	4 日
協働活動リーダーのべ人数	24 人	学習活動	4 人	スポーツ	4 人	文化芸術	20 人	体験活動	4 人	交流活動	4 人	その他	4 人
協働活動サポーターのべ人数	86 人 地域ボランティア			ボランティアのべ人数			0 人						
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布(事前登録制)			参加費用	1,000円/年		連携・協力機関・団体	公民館サークル、地域の方 楠河地区連合自治会					

取組の概要

<主な取組内容>

- **スポーツ教室**
ボウリング、輪投げ、グラウンドゴルフ、長なわとび
- **詩吟教室**
- **料理教室**
ホットケーキ、カレーライス、みたらし団子、クリスマスケーキ、お弁当
- **伝統文化教室**
お茶、お花

	時間帯	活動内容
火	15:00～16:00	スポーツ・詩吟・料理・伝統文化



(スポーツ教室の様子)



(料理教室の様子)



(詩吟教室の様子)



(伝統文化教室の様子)

<特色ある取組>

- **昔ながらの焼き芋大会**
学校や永納山で伐採した剪定木(せんでいぼく)等を燃やし、炭を作り、焼き芋を作る。住宅地、火災の危険性などの様々な観点により自宅でできない焼き芋大会は子どもたちに非常に好評である。また、昨年からは楠河地区連合自治会から支援をいただき、楠河小学校の全児童、教職員の皆さんにも焼き芋を楽しんでもらった。
- **文化祭への作品展**
伝統文化(お花)教室では、楠河地区文化祭に生け花の作品展を毎年行っている。放課後子ども教室での活動を家族や先生、地域の方に見てもらい良い機会である。花を生けるための器も、割り箸などを使って自分たちで作った。



事業を実施して

【成果】

- 学校や家庭では体験できない活動を地域の方と一緒にいたり、作法を学んだりすることができた。
- コーディネーターを中心に、小学校・児童クラブ・地域の方・職員の四者が連携して実施できた。
- 地域の方との交流を通して、協調性や社交性を身に付けることができた。

【課題】

- 指導員や運営協力員の高齢化、人材確保が必要。
- 子どもたちの活動に対する集中力が続かない。
- ルールを守らない参加生徒へ注意の仕方やどこまで叱ってよいのか線引きが難しい。

宮窪小学校放課後子ども教室【今治市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 長期休みの放課後の子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図る。
- 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

活動場所	今治市宮窪公民館		対象学校区名	今治市立宮窪小学校		子どもの平均参加人数	13 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	0 日				児童クラブ との連携	児童クラブ無	
	土・日・休業日等	30 日	夏・冬季休業中の月～金	8 : 30 ~ 12 : 30				
活動のべ日数	30 日	学習活動	30 日	スポーツ	文化芸術	体験活動	交流活動	その他
協働活動リーダーのべ人数	90 人	90 人	人	人	人	人	人	人
協働活動サポーターのべ人数	0 人			ボランティアのべ人数		0 人		
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布			参加費用	無料	連携・協力機関・団体	無	

取組の概要

<主な取組内容>

- 7月・8月・12月の宿題教室
今年、例年どおり夏休み・冬休み宿題教室を開催することができた。今年開催場所も2階会議室で実施した。新型コロナウイルス感染症の5類移行後も検温・手の消毒を徹底し、マスクは各自の判断で行った。
- 子どもたちの様子
異年齢の子どもたちの集まりではあるが、みんな顔なじみで和気あいあいと仲良く勉強することができた。子どもたちは、協働活動支援員とともに宿題に熱心に取り組んでいた。また、6年生の一人は、昨年からの絵を描き始め、宿題教室の期間が過ぎても公民館で仕上げ、文化祭で展示することができ、祖父と一緒に見に来て喜んでいました。

児童の感想

- ・宿題教室が楽しかった。
- ・友達や先生(協働活動支援員)と楽しんで効率よく宿題ができた。
- ・6年間、夏休み宿題教室にはお世話になった。中学生になっても時間があれば行きたい。
- ・分かりやすく教えてくれて、とても楽しく勉強ができた。

	時間帯	活動内容
月	8:30～12:30	宿題教室
火	8:30～12:30	宿題教室
水	8:30～12:30	宿題教室
木	8:30～12:30	宿題教室
金	8:30～12:30	宿題教室
土	～	



(仲良くがんばっています！)

<特色ある取組>

- 宿題教室
 - ・みんなが楽しく続けられるように、勉強時間・休憩時間を決めている。
 - ・みんなまじめに勉強しているが、休憩時間では、折り紙や塗り絵をして楽しんでいる。
 - ・夏休み・冬休みを楽しく過ごすことを目的に頑張っている。
 - ・参加してくれた子どもはほとんどこの期間で宿題を終えることができた。保護者からも喜んでいただいている。
 - ・子どもたちからも「楽しく毎日来ている」との声を聴くことができた。



(これはどういうこと？と支援員に聞きながらがんばっています！)

事業を実施して

【成果】

- 長期休み期間中の子どもの安心安全で健やかな活動場所を確保することができた。
- 異なる学年(異年齢)の子ども同士が仲良くなり、高学年は低学年の面倒を見られるようになった。

【課題】

- 協働活動支援員の確保が難しい。
- 協働活動支援員は3人なので、たくさんの子どもが参加すると、一人ひとりに目が届きにくい。

北吉井放課後わくわく教室【東温市】

～地域とつながり、ともに成長する～

◆活動の目的・理念

- 放課後の子どもたちの安心安全な居場所を設ける。
- 子ども同士、また地域の指導者との豊かなふれあいを通じて、社会性を身に付ける。
- 多様な体験活動を通じて、子どもたちの生きる力・柔軟な感性を育み、将来の可能性の幅を広げる。

活動場所	北吉井小学校		対象学校区名	北吉井小学校		子どもの平均参加人数	24 人/日				
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	12 日	月曜日	14 : 25 ~ 16 : 45		児童クラブ との連携	連携無				
	平日(授業日)	12 日	月曜日	15 : 20 ~ 17 : 30							
活動のべ日数	24 日	学習活動	7 日	スポーツ	4 日	体験活動	11 日	交流活動	2 日	その他	1 日
協働活動リーダーのべ人数	120 人	人	35 人	人	20 人	人	55 人	人	10 人	人	
協働活動サポーターのべ人数	6 人	PTA会員、愛護班員、民生児童委員、教員経験者			ボランティアのべ人数		5 人	大学生、婦人会員、愛護班員、老人クラブ			
参加者募集	年度初めに小学校を通じてチラシを配布し受講生を募集			参加費用	無料(※材料費として年間1000円徴収)		連携・協力機関・団体	多世代交流拠点利用者協議会 ekito			

取組の概要

<主な取組内容>

● スライムをつくろう

スタッフが実際に作る様子を見せながら説明し、一人ずつオリジナルの色や固さのスライムを作成。材料の分量を変えながら、工夫する様子が見られた。蛍光塗料やラメも使用。低学年の活動日に定番の講座となっている。

● スラックライン教室

松山で活動する「アゼリア体操クラブ」さんを講師に招いて、スラックライン教室を実施。初めて挑戦する子どもも多く、貴重な体験となった。東温市のかすみの森公園にできた日本初のスラックラインパークも宣伝し、後日行ってきたという子どもも見られた。

● 演劇ワークショップ

子ども向けの演劇ワークショップなど演劇を用いた居場所づくりなどを実施している市内団体「Feel Free」による演劇の手法を用いたワークショップ。2人組やグループに分かれてさまざまなゲームを行った。



(スライムをつくろう)



(スラックライン教室)



(演劇ワークショップ)

児童の感想

- ・活動前に宿題の時間があった、宿題を終わらせることができてうれしい。
- ・違うクラスや学年の友だちができた。
- ・工作や実験をすることが楽しかった。

<特色ある取組>

● ハロウィンかぼちゃのカービング体験

毎年、10月後半の教室でハロウィンかぼちゃのカービング体験を実施している。「どてかぼちゃカーニバル」が日本で初めて開催された東温市。地元農家さんの苦労や歴史の話をしてから活動を始めた。大人がサポートしながら、小さなかぼちゃを好きな形目や口を掘ってデザイン。教室の最後には、完成したジャック・オー・ランタンにローソクを入れて点火し、みんなでハロウィンの雰囲気味わった。今年度は、NHKのハロウィン特集にも取り上げられ、教室の翌日に放送された。



(一人一つミニかぼちゃをカービング)

事業を実施して

【成果】

- 地元で活躍している講師を積極的に招いて活動ができた。
- 学校行事などのやむを得ない場合以外の欠席は少なく、満足度の高い講座運営ができた。
- 学校側には担当の先生がおり、積極的に協力してくださったため、活動場所の確保や日程調整などスムーズにできた。

【課題】

- 年々、応募人数が増えているため、受入れ態勢を整える工夫が必要となっている。今年度は、低学年(1~2年生)2グループ、高学年(3~6年生)2グループの4グループで週ごとに順番に実施して対応したが、一人当たりの受講回数は減っている。

北山っ子通学合宿【伊予市】

～自分のことは自分でする自立心を育む～

◆活動の目的・理念

- たくましく豊かな心、自立心・社会性・思いやる心・連帯感・家庭や社会への感謝の心を育てる。
- 四日間の子離れ体験の中で、保護者自身の家庭教育を見直す機会とする。
- 地域住民がそれぞれの立場で参加することで、子どもへの理解を深め、地域で子どもを育む機運を高める。

活動場所	中村地区公民館		対象学区名	伊予市立北山崎小学校		子どもの平均参加人数	8 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	3 日	水・木・金	6:00～21:30		児童クラブ との連携	連携無	
	土・日・休業日等	1 日	土曜日	6:00～12:00				
活動のべ日数	4 日	学習活動	スポーツ	文化芸術	体験活動	4 日	交流活動	その他
協働活動リーダーのべ人数	0 人	人	人	人	人	0 人	人	人
協働活動サポーターのべ人数	0 人				ボランティアのべ人数	20 人	愛護班、PTA、食生活改善グループ、JA、更生保護女性会	
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布		参加費用	4,000円	連携・協力機関・団体	愛護班、PTA、食生活改善グループ、JA、更生保護女性会、消防		

取組の概要

<主な取組内容>

- **朝食・夕食づくり**
地域の方々の支援で朝食・夕食づくりを行った。
- **洗濯**
衣類を洗濯して干すまでを子どもたちが行った。
- **買い出し**
スーパーで朝食・夕食に必要な食材を購入した。
- **ふれあいタイム**
生活体験以外の時間でレクリエーション活動を行った。
(2日目)
手話サークルの講師により手話の基礎を学習した。
(最終日)
消防署による防災学習やハンドメイド雑貨の講師による工作体験を行った。

水	19:30～21:30	開村式、学習、レク
木	6:00～21:30	買い物、洗濯、料理、学習、レク
金	6:00～21:30	買い物、洗濯、料理、学習、家族からの手紙
土	6:00～12:00	料理、掃除、避難訓練、ハンドメイド体験、閉村式



(カレーの食材の買い出し)

児童の感想

・頑張ったことは買い物。協力することで仲も深まった。どこにどの食材があるのか探すのが大変だった。

保護者の感想

・自宅でお手伝いは時々しているが、主体的に自分で考えて行うなど、貴重な経験となったようである。

<特色ある取組>

● 家族からの手紙

3日目のふれあいタイムでは、保護者に事前に書いていただいた子どもへの手紙をサプライズで渡した。保護者の気持ちを感じ、家族の大切さを実感する良い機会となった。保護者にとっても、子離れ体験により、家庭教育を見直す機会となった。



(家族から子どもたちへの手紙)

事業を実施して

【成果】

- 親元から離れて生活体験をすることで、家庭で自ら家事を行うなど子どもに前向きな変化があった。
- 地域の団体など多くの地元の方に協力いただき、地域で子どもを育む機運を高めるきっかけとなった。

【課題】

- 大学生ボランティアを募集したが、見つからなかったため、地域内の各種団体からのボランティアのみとなった。今後は、宿泊参加ができるスタッフや参加児童に年齢に近いスタッフを確保する必要がある。

仕七川小学校放課後子ども教室【久万高原町】

～できる範囲で子育て世代をサポート～

◆活動の目的・理念

- 放課後の児童の安全・安心な居場所をつくる。
- 地域の見まもり指導員の方との交流で社会性を身に付ける。
- 子どもたちと地域の皆様との楽しい時間を共有する。

活動場所	しながわ絆の会、仕七川小学校		対象学区名	仕七川小学校		子どもの平均参加人数	4 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	187 日	月・火・水・木・金	15 : 15 ~ 17 : 15		児童クラブ との連携	児童クラブ無					
	土・日・休業日等	0 日		: ~ :								
活動のべ日数 187 日	学習 活動	169 日	スポー ツ	6 日	文化 芸術	日	体験 活動	日	交流 活動	日	その他	12 日
協働活動リーダーのべ 人数 247 人		169 人		6 人								人
協働活動サポ ーターのべ人数	0 人			ボランティア のべ人数		0 人						
参加者募集	小学校を通じて申込書等を配布		参加費用	無料		連携・協力 機関・団体	仕七川小PTA、仕七川公民館					

取組の概要

<主な取組内容>

- **先ず宿題を済ませよう**
帰宅してから家族とゆっくり過ごすために宿題を済ませよう。
- **余暇を有効に使う**
宿題が早く終わって時間ができたら他の人の邪魔にならないようスケッチブックで絵を楽しもう。
- **いろんなゲームにチャレンジしよう**
サロンの方が使っているお手玉やディスコンを覚えよう。
- **誰とでも仲良くなろう**
異年齢の友人とコミュニケーションを取れるようになろう。

	時間帯	活動内容
月	15:45 ~ 17:15	学習、自由遊び
火	15:45 ~ 17:15	学習、自由遊び
水	15:15 ~ 17:15	学習、自由遊び、スポーツ
木	15:45 ~ 17:15	学習、自由遊び
金	15:45 ~ 17:15	学習、自由遊び
土	15:45 ~ 17:15	学習、自由遊び



(宿題に取り組む児童たち)

児童の感想

- ・静かに宿題ができてとてもうれしい。
- ・見守りの人がいてくれてすごく安心する。
- ・友達との会話が弾んだり、いろいろな楽しみがあって最高!
- ・毎日見てくれて感謝している。

<特色ある取組>

- **地域の見まもり指導員6名がそれぞれの特色を發揮**
地域の見まもり指導員6名の方が指導して、児童と大人との新しい交流が生まれている。来年度に向けては、子ども教室を利用する児童の増加が予測され、それに伴い見まもり指導員も増員する予定である。地域の皆さんができる範囲で地域の子どもたちを見まもり、育てていくことに協力いただいている。



(見まもり指導員の皆様)

事業を実施して

【成果】

- 小学校のPTA以外の地域の大人との新しい関係が築けた。
- 平日放課後の安心・安全な居場所を提供できた。
- 子どもたちのために指導員として時間を割いていただけの方が思いのほか多く見つかった。今後も継続してご協力いただけるようお願いしていきたい。

【課題】

- 小規模な学校だが全員が子ども教室を利用しているわけではない。
- 子ども教室終了時間は17時15分であり、保護者の希望時間と多少のずれがある。
- 幅広い年齢層の児童の見まもりには少し不安がある。

河辺小学校放課後子ども教室【大洲市】

～ふるさと“河辺”を愛する子どもの健全育成～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちの安全・安心な居場所づくり
- 地域住民や異学年との交流
- 自主性や社会性の育成

活動場所	河辺小学校		対象学区名	河辺小学校		子どもの平均参加人数	4 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	32 日	毎週水曜日	15 : 00 ~ 17 : 00		児童クラブ との連携	連携無					
	土・日・休業日等	0 日										
活動のべ日数 74 日	学習活動	19 日	スポーツ	19 日	文化芸術	22 日	体験活動	14 日	交流活動	日	その他	日
協働活動リーダーのべ人数 56 人		14 人		14 人		13 人		15 人			人	人
協働活動サポーターのべ人数	5 人	PTA、保護者			ボランティアのべ人数		65 人	保護者会、自治会、コミュニティセンター、各種団体				
参加者募集	活動支援員により地域の全ての対象世帯に働きかけを実施			参加費用	無		連携・協力機関・団体	保護者会・自治会・コミュニティセンター・青少年健全育成推進協議会				

取組の概要

<主な取組内容>

- **読み聞かせ**
子どもたちに本を読む楽しさを知ってもらうとともに、子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう見守ることを第一に活動している。
- **友達との居場所づくり**
放課後に、子どもと地域住民の交流の場として寄与している。
- **俳句に挑戦**
季節を通じて身近にあるものから俳句を作り、古来の文化に親しむ。
- **地域人材を生かした体験活動**
干し柿づくりや野球教室などを通して、地域の方と交流を深めている。
- **団体との連携体制**
各団体と協力・連携し、施設や備品を活用している。

	時間帯	活動内容
水	15:00~17:00	読み聞かせ 企画イベント



(読み聞かせ)

児童の感想

- ・どれも楽しかった。特に楽しかったのは、ハロウィンイベントで仮装をしたこと。
- ・どれも楽しかったけど、特におもしろかったのは干し柿づくり体験だった。
- ・地域の方に野球を教えていただき野球がやりたくなった。

<特色ある取組>

- レクリエーション、季節の飾り作り
- 地域との連携(河辺の未来を考える会との交流)
- 手作りイベント(ハロウィン遊び等)
- 地域人材を生かした体験活動
- お楽しみ工作



(ハロウィンイベント)

事業を実施して

【成果】

- 過疎化により、子どもの人数が減少し、地元で友達と遊ぶ機会が減少していることから、子どもたちは放課後子ども教室を大変楽しみにしている。現在は、地域の子どもは全員加入している。
- 子どもたちの居場所づくりに大きく寄与しているとともに、保護者の 育児相談の場としても貢献している。

【課題】

- 子どもたちの人数が減少し、地元で友達と遊ぶ機会が減少している。
- 毎年同じような活動内容になりがちである。

大瀬小学校放課後子ども教室【内子町】

～地域の子どもは地域で育てる（大瀬っ子クラブ）～

◆活動の目的・理念

- 大瀬地区児童の放課後の安全・安心を確保するための保護者が迎えに来るまでの間の居場所づくり
- 地域行事の交流や学習の体験を通じた「心豊かなたくましい子ども」の育成
- 異年齢の児童と交流を通じた「やさしさ」「思いやり」「社会性」「協調性」の育成

活動場所	大瀬小学校敷地内別棟		対象学校区名	大瀬小学校		子どもの平均参加人数	4.6 人/日						
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	198 日	月・火・水・木・金	放課後 ～ 17 : 45		児童クラブ との連携	児童クラブ無						
	土・日・休業日等	38 日	夏季休業中の月～金	8 : 30 ～ 17 : 45									
活動のべ日数	236 日	学習活動	216 日	スポーツ	10 日	文化芸術	日	体験活動	10 日	交流活動	日	その他	日
協働活動リーダーのべ人数	600 人	560 人	20 人	人	20 人	人	人	人	人	人	人	人	
協働活動サポーターのべ人数	0 人			ボランティアのべ人数		0 人		大瀬自治センター、大瀬小学校					
参加者募集	小学校を通じて募集			参加費用	半日400円		連携・協力機関・団体	大瀬自治センター、大瀬小学校					

取組の概要

<主な取組内容>

- 平日放課後
絵本の読み聞かせや学習活動(宿題・予習・復習)、工作等。
天候の良いときは野外での遊び等。
- 休業期間中
散歩をかねた自然観察会、花摘み、虫取り等。また、地域の高齢者との交流、プール遊びやクリスマス会の実施等。



(自治センターを借りて映画観賞会)



(ホットプレートで焼きそばParty)

児童の感想

- ・お家にいるよりお友達がいるから楽しい。
- ・いろいろな遊び、工作が好きだ。
- ・焼きそばを野菜を切るところから始めてしたので大変だった。

<特色ある取組>

- 小学校の遊具を利用した施設外での活動(鉄棒・ブランコ・砂遊び等)
- 身近な自然と触れ合う機会の設定や、体験教室等の開催
- 大瀬自治センターと連携・協力し、センター主催の「柿まつり」や「大瀬人権まつり」での作品展示やエコセミナー等の各種事業への参加



(イベントでの教室作品展示)



(水生生物観察会)

事業を実施して

【成果】

- 放課後における子どもたちの居場所や学習の場の提供ができた。
- 異年齢の児童や指導員(地域住民)との交流や地域との連携により、地域の子どもは地域で育てる気運が高まった。また、交流を通して新しいつながりが構築できた。
- 自治センターが行う事業に参加させてもらうことで、地域の方とのふれあいが増えた。

【課題】

- 体験活動等の内容の充実
- 参加児童が固定しないよう、みんなが気軽に参加し、交流できるような活動企画の検討

中川放課後子ども教室【西予市】

～地域 みんなで心豊かな中川っ子を育てる～

◆活動の目的・理念

- 放課後、地域づくり活動センターを活動拠点に、体験活動や勉強を通じて地域住民との交流の機会を設ける。また、参加児童内での学年を越えたつながりができるように取り組む。

活動場所	中川地域づくり活動センター	対象学校区名	中川小学校	子どもの平均参加人数	18 人/日								
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	5 日	水曜日	15 : 00 ~ 16 : 00	児童クラブとの連携								
	土・日・休業日等	4 日	夏季休業中の月～金	9 : 00 ~ 11 : 30		連携無 <small>ななほし中川放課後児童クラブ</small>							
活動のべ日数	9 日	学習活動	1 日	スポーツ	1 日	文化芸術	2 日	体験活動	3 日	交流活動	2 日	その他	0 日
協働活動リーダーのべ人数	2 人	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	
協働活動サポーターのべ人数	0 人	ボランティアのべ人数			30 人	地域住民							
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集			参加費用	無料(材料費は実費負担)	連携・協力機関・団体	地域住民						

取組の概要

<主な取組内容>

- **お金のおはなし**
お金とは何かを学び、お金の大切さを学ぶ。
- **木工教室①・②**
世界でひとつの木べらとおはしを作る。
- **わびさび体験～茶道～**
茶道でおもてなしの心を学ぶ。
- **ニュースポーツ体験**
モルックを体験する。
- **花育・押し花教室**
秋の花を植える。
地域の花を使って押し花アートを作る。
- **中川クリスマス会**
地域の方と一緒にクリスマスを楽しむ。
- **巨大かるた&歴史を学ぶ**
歴史博物館の方に歴史を学ぶ。
- **ドローン教室**
ドローンを使ってゲームを楽しむ。

児童の感想

- ・教室がある日は楽しみ！
- ・いろんな体験ができて楽しい！

	時間帯	活動内容
7月3日	15:00～16:00	お金のおはなし
8月7日	9:30～11:30	木工教室①
8月21日	9:30～11:30	木工教室②
9月11日	15:00～16:00	わびさび体験～茶道～
10月9日	15:00～16:00	ニュースポーツ体験モルック
11月3日	9:00～11:00	秋の花植え・押し花教室
12月14日	13:30～16:00	クリスマス会
1月22日	15:00～16:00	巨大かるた・歴史を学ぶ
2月26日	15:00～16:00	ドローン教室



(茶道体験の様子)

<特色ある取組>

- **地域住民とのつながり**
近年、子どもたちが学校や家庭以外の大人と関わる機会が減少している中、この教室では地域の方々が講師やサポーターとして参加し、さまざまな活動や体験を通じて子どもたちに新たな学びの場を提供している。また、地域とのつながりを大切にしながら、何事にも挑戦する気持ちを育むことを目指している。



(地域の人と活動する様子)

事業を実施して

【成果】

- 幅広い価値観や考え方に触れることができ、地域とのつながりを実感する貴重な機会となっている。
- 普段触れることの少ない分野や視点に挑戦する機会を得ることで、自信を深め、成長している。

【課題】

- 協力者の確保が難しい。地域の方々の参加が活動の質を支える重要な要素であるため、さらに広く活動をPRし、地域全体で子どもたちを支える輪を広げていきたい。

三間放課後子ども教室【宇和島市】

～学び、体験し、成長する～

◆活動の目的・理念

- 三間小学校区において、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組む。

活動場所	三間公民館		対象学校区名	三間小学校		子どもの平均参加人数	19 人/日						
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	184 日	月・火・水・木・金	14 : 00 ~ 18 : 00		児童クラブとの連携	児童クラブ無						
	土・日・休業日等	0 日		: ~ :									
活動のべ日数	184 日	学習活動	156 日	スポーツ	8 日	文化芸術	10 日	体験活動	5 日	交流活動	5 日	その他	日
協働活動リーダーのべ人数	570 人		430 人		40 人		50 人		25 人		25 人		人
協働活動サポーターのべ人数	0 人			ボランティアのべ人数			25 人		JICA、もみの木運営協議会、子ども教室卒業生				
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布行事によってはその都度募集			参加費用	1回150円		連携・協力機関・団体	三間公民館、地域活動推進事業所 もみの木運営協議会、JICA					

取組の概要

<主な取組内容>



(畑で収穫作業のお手伝い)



(新しい発見はわくわく!)



(ハロウィンパーティ)



(もちろん勉強も真剣に)

	時間帯	活動内容
月	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
火	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
水	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
木	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
金	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
土	休み	

● 放課後もみんなで学ぶ

みんなと一緒に自ら学ぶ

● 遊びもみんなと全力で

放課後はみんなで楽しむ時間!

● 地域の人とも交流

季節行事や体験教室は交流のチャンス

<特色ある取組>

● ドローン体験教室

地域の学び舎(や)から講師を招き、ドローン体験教室を開催した。ふだんの生活では触れる機会のない最新技術に、子どもたちは目を輝かせて、用意されたコースに何度もドローンを飛ばしていた。2~3人のグループで譲り合いながら、時には真剣に、時には笑顔で仲良く楽しんでいった。



(ドローン体験教室)

事業を実施して

【成果】

- 児童の安全・安心な居場所を確保することができた。
- 地域住民などの協力により、子どもたちの様々な体験の機会を創造でき、知識や感性の成長につながった。

【課題】

- 新たな指導員の確保が難しくなっている。
- 学校との連携をもっと密にしていきたい。
- 実施施設の老朽化により、修繕対応等が増えている。

好藤地区放課後子ども教室【鬼北町】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 放課後における子どもたちの安心・安全な居場所をつくる。
- 地域住民の協力を得て、学習活動や交流活動等に取り組むことにより、心豊かで健やかな子どもたちを育てる。

活動場所	好藤公民館	対象学区名	好藤小学校	子どもの平均参加人数	22 人/日		
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	139 日	月・火・木・金	15 : 00 ~ 18 : 00	児童クラブ との連携		
	土・日・休業日等	0 日					
活動のべ日数 139 日	学習活動	139 日	スポーツ	文化芸術	体験活動	交流活動	その他
協働活動リーダーのべ人数 0 人	0 人	人	人	人	人	人	人
協働活動サポーターのべ人数	172 人	一般住民、教員経験者		ボランティアのべ人数	0 人		
参加者募集	保護者説明会及び小学校を通じて案内を配布		参加費用	スポーツ安全保険 800円/年	連携・協力 機関・団体	好藤小PTA、好藤公民館、好藤小学校	

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習 まず勉強(宿題)をしてから遊ぶという習慣付けをする。
- 読書 20分間集中して取り組む姿勢を身に付ける。
- 遊び むり絵、工作、折り紙、かくれんぼ、ボール遊び、なわとび等、それぞれ好きなことをして友達と仲良く遊ぶ。

児童の感想

- ・早く宿題を終わらせて友達といっぱい遊べて楽しい。
- ・サポーターさんに昔の遊びを教えてもらえてうれしい。

	時間帯	活動内容
月	15:00~18:00	宿題・自由遊び等
火	15:00~18:00	宿題・自由遊び等
水		
木	15:00~18:00	宿題・自由遊び等
金	15:00~18:00	宿題・自由遊び等
土		



(宿題をしている様子)



(室内遊びの様子)

<特色ある取組>

- 体力向上を意識した外遊び
悪天候や熱中症が心配される日以外は、まとまった時間を取って外遊びをしている。サポーターさんは、高齢の方が多く、一緒にバレーボールやバスケットボールをして遊んでいる。また、太陽光に含まれるバイオレットライトを浴びることで子どもの近視予防になると知り、意識して外遊びの時間を設けている。



(外で遊んでいる様子)

事業を実施して

【成果】

- 放課後における子どもたちの居場所の提供が定着してきた。
- 子どもはサポーターさんとの関係が深まったことで、地域の大人に対しても自然に会話ができるようになってきた。

【課題】

- 体力の低下や、夜間における車の運転を控えた等を理由に辞めたいと言われるサポーターさんが多く、高齢化の影響が顕著である。
- 定期的子どもたちの気持ちが緩み、コーディネーターやサポーターさんの負担になる。そのため、校長先生が様子を見に来てくれることがある。

緑子ども塾【愛南町】

～子どもたちが安心できる場所を～

◆活動の目的・理念

- 放課後に、児童が安心・安全に過ごせる居場所をつくる。
- みんなで宿題や自主学習に取り組むことで、学習習慣の定着を図る。
- 地域の大人や異年齢の児童との交流を推進し、児童の社会性・協調性を養う。

活動場所	緑公民館	対象学校区名	緑小学校	子どもの平均参加人数	7 人/日			
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	161 日	火・水・木・金	15 : 00 ~ 18 : 00	児童クラブ との連携			
	土・日・休業日等	0 日		: ~ :				
活動のべ日数 161 日	学習活動	160 日	スポーツ	文化芸術	体験活動	交流活動	1 日	その他
協働活動リーダーのべ人数 0 人	0 人	人	人	人	人	0 人	人	
協働活動サポーターのべ人数	0 人			ボランティアのべ人数	0 人			
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 随時入会を受付	参加費用	無料	連携・協力 機関・団体	緑公民館・緑小学校			

取組の概要

<主な取組内容>

● 学習活動・読書

自主的に宿題や学習・読書を行う習慣を身に付けるように指導する。

	時間帯	活動内容
月		
火	15:00~18:00	宿題・自習・読書
水	15:00~18:00	宿題・自習・読書
木	15:00~18:00	宿題・自習・読書
金	15:00~18:00	宿題・自習・読書
土		

児童の感想

- ・放課後も友達と過ごすことができるので楽しい。
- ・宿題忘れがなくなって、学校でほめられた。分からないところも教えてくれるのでうれしい。

保護者の感想

- ・子ども塾で宿題を済ませて帰ってくるので、家で時間を有意義に過ごせるようになった。
- ・家で一人である時間が少なくなり、安心している。



(学習の様子)

<特色ある取組>

● 公民館との交流

公民館で教室を実施していることもあり、公民館との共催カラオケ大会等、地域の方との交流を広げている。(公民館に子どもの声ができるようになり、にぎやかになったと地域でも喜んでいただいている。)



(緑子ども塾カラオケ大会)

事業を実施して

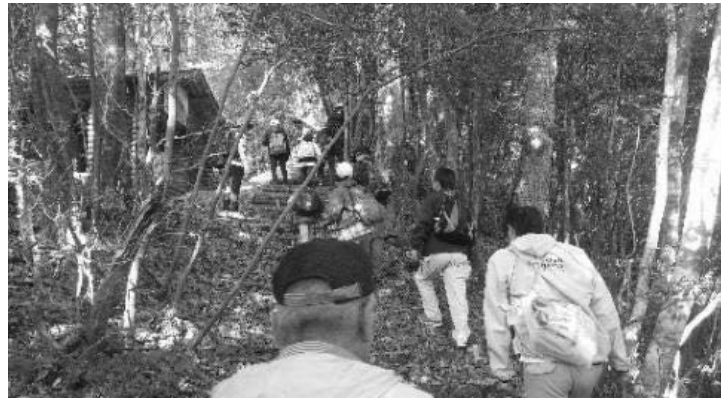
【成果】

- 放課後に、児童が安全・安心に過ごせる居場所と学習の場を提供することができた。
- 高学年が低学年の学習を見てあげる場面が見られるようになり、異年齢での交流が深まった。
- 公民館の図書室を利用するため、図書の利用が増加した。

【課題】

- 指導員の確保が課題である。活動を広く周知することにより、指導員の人材確保に努める。
- 未設置校区への新設について、保護者の需要を把握するとともに、指導員や活動場所の確保という課題がある中、どのようにすれば、その需要に応えることができるか、関係機関と共に検討していく。

土曜教育活動



「篠山の自然を楽しもう」
(ワクワク体験教室【愛南町】)

①【新居浜市】	土曜寺子屋教室	66
②【西条市】	土曜教育「めざせ！ゴッホ」	67
③【上島町】	上島子ども体験教室	68
④【東温市】	ジュニア体験塾	69
⑤【伊予市】	双海町こども教室ふるさと体験塾	70
⑥【西予市】	土曜教育活動 せいよチャレンジキッズ	71
⑦【愛南町】	ワクワク体験教室	72

土曜寺子屋教室【新居浜市】

～人間性豊かな子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 「礼を正し、場を清め、時を守る」子どもの育成
- 市内児童の校外生活の充実を図る「学びの場」づくり
- 経験豊かな教育会所属教員OBの教育愛に基づく知恵と創意を生かした指導

活動場所	新居浜市教育会館		対象学校区名	市内全小学校区		子どもの平均参加人数	45 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	38 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	39 日	協働活動リー ダーのべ人数	56 人
	日・休業日等	1 日	10 : 00 ~ 15 : 30				
協働活動サポ ーターのべ人数	28 人	教員経験者		ボランティア のべ人数	65 人	教員経験者	
参加者募集	各小学校を通じて募集要項と受講 申込書を配布		連携・協力 機関・団体	市内全小学校			

取組の概要

<主な取組内容>

- **子ども囲碁道場**
囲碁のルールの基本から対局
- **書を楽しむ**
毛筆の技術上達を目指す
- **子ども卓球教室**
卓球の基礎と楽しさを知る
- **お茶席の作法**
簡単なお点前の稽古
- **子ども俳句教室**
俳句の作り方の学習
- **子ども英語教室**
英語の発音に慣れ親しむ



(子ども卓球教室での活動)



(子ども囲碁道場での活動)

<特色ある取組>

- 「成果発表会」の開催
例年11月に、土曜寺子屋教室で学ぶ児童の学習成果を発表する「土曜寺子屋教室成果発表会」を新居浜市文化振興会館にて実施。習字、俳句、英語の自己紹介、卓球教室活動感想展示のほか、囲碁対局、お茶会などをする。ステージ発表はなかったが、ビデオや写真で日頃の様子を紹介したのが好評だった。



(「お茶席の作法」のお茶会)

事業を実施して

【成果】

- 学校の枠を越えてコミュニケーションができた。
- 学校の授業では触れる機会が少ない、お茶や囲碁、卓球などを体験できた。

【課題】

- 講師の高齢化に伴う後継者の育成が求められる。
- 講座数が減少しており、新しい講座を開設する必要がある。

土曜教育「めざせ！ゴッホ」【西条市】

～豊かな感性と表現力を育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもの豊かな感性や表現力を育てる。
- 絵を描くことの楽しさや完成させることの喜びを味わう。
- 持続力、集中力を養う。

活動場所	西条小学校		対象学校区名	西条小学校		子どもの平均参加人数	14 人/日		
開催日数	土曜日	0 日	:	~	:	活動のべ日数	9 日	協働活動リーダーのべ人数	8 人
開催曜日・時間	日・休業日等	9 日	9 : 00 ~ 11 : 00						
協働活動サポーターのべ人数	18 人	放課後子ども教室スタッフ			ボランティアのべ人数	5 人	教員		
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布		連携・協力機関・団体	教員経験者、西条小学校、西条公民館					

取組の概要

<主な取組内容>

- 夏休み課題の絵画の応募作品の中から個々に取り組むテーマを決める。
- テーマに沿って、先生のアドバイスを受けながら絵を描く。



(テーマについてタブレットで調べる)



(構図を考える)



(色を塗る)

児童の感想

- ・小学校の先生ではない先生にはじめは緊張したが、相談するといねいに教えていただき、描くのが楽しくなった。
- ・絵の具は一度でなく、いくつも色を重ねて塗るといいということが分かった。
- ・完成した絵を見ると、上手にできてうれしかった。

<特色ある取組>

- 夏休みの課題(コンクール応募作品)に取り組むことによってそれぞれ目標を持って取り組むことができる。
- 連続した日程で集中力を高める。
- タブレットを使い、テーマに沿った題材等を検索して参考にする。
- 専門家のレベルの高い指導を受けることができる。



(作品鑑賞)

事業を実施して

【成果】

- 絵を描く手順が分かった。
- 表現力が向上した。
- この教室で描いた絵が、防災ポスターコンクールに入賞した。
- この教室で学んだことをその後の絵画に生かすことができている。

【課題】

- 実施場所や講師及びサポーターの日程調整

上島子ども体験教室【上島町】

～地域ぐるみでふるさとを愛する子ども育てよう～

◆活動の目的・理念

- 地域資源を活用した体験活動を実施し、子どもの健全育成、ならびに子どもの居場所づくりを進める。
- 特色、魅力ある教育プログラムを企画、実施し、子どもたちの成長を支え、地域と学校の連携、協働による教育活動を推進する。

活動場所	町内各施設、野外等		対象学区区名	上島町内全小学校(4校)		子どもの平均参加人数	13 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	8 日	9 : 00 ~ 10 : 30	活動のべ 日数	10 日	協働活動リー ダーのべ人数	0 人	
	日・休業日等	2 日	8 : 30 ~ 12 : 30					
協働活動サポ ーターのべ人数	3 人		PTA会員、愛護班員、民生児童委員、教員経験者	ボランティア のべ人数	57 人		高専生、大学生、老人クラブ、保護者、サイクリスト	
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	上島つながるプロジェクト(以下、KCP)				

取組の概要

<主な取組内容>

● 海リンピック

グループごとにチーム戦でビーチクリーンを実施。グループリーダーに次々とミッションが伝えられ、参加した子どもたちは楽しみながらゴミを拾い集めていた。清掃活動を通じて参加者自身や周囲にゴミ問題を啓発することができた。

● しゃぼん玉と風船でアートしよう！

色付きのしゃぼん玉と風船で子ども達が思い思いに作品を制作。作業工程が多かったため、当日はボランティアスタッフとして中学生や保護者の協力も得られ交流を行った。子ども達の豊かで自由な発想に驚き、完成した作品はどれも色鮮やかで素晴らしい作品であったことから、町の文化祭に作品展示を行い子どもたちの日頃の活動を町民の方へ知っていただく良い機会となった。



(他校の子どもたちと交流しながらゴミ拾い)

児童の感想

- ・ ゴミ拾いの途中で見つけたシーグラスが宝物になった。(海リンピック)
- ・ 違う学校の子と仲良く協力できた！(海リンピック)
- ・ 中学生と久しぶりに再会できてうれしかった。(しゃぼん玉アート)
- ・ 先生の説明を聞いている途中から早く作りたくてワクワクした！(しゃぼん玉アート)



(作品づくりに集中)

<特色ある取組>

● サイクルラックづくり(自転車ラックの組立とペイントワークショップ)

事業の委託先であるKCPと島おこし協力隊の共同開催により、本町で行われたサイクリング大会において、サイクリストを迎えるウェルカムプロジェクトとして実施。当日は、子どもたちの他に町民やサイクリストもボランティアとして参加したが、ワークショップでは竹の工作実習や絵の塗り方について地元の子と楽しく学ぶことができた。



(好天に恵まれ、作業がはかどりました)

事業を実施して

【成果】

- 日頃、学校や家庭では経験できない内容を企画、実施することができた。
- 他校の児童、生徒、町民のみならず、町外の方とも交流を図ることができた。
- サイクルラックづくりでは、幅広い世代が集い制作したラックを、作品として観察する力を身に付けることができた。

【課題】

- 今後も地域の中の多様な技能を持つ人材とともに、魅力ある教室の開催や多様な活動プログラムを継続的に実施するための、さらなる地域の協力者の確保。

ジュニア体験塾【東温市】

～新しい時代を切り開く積極的な心を養う～

◆活動の目的・理念

- 休日の教育環境を豊かなものにする。
- 体験活動を通じて、仲間意識や連帯感を強める。
- 生きる力・想像力・健全な心身・リーダーシップ等を育む。

活動場所	中央公民館 川内公民館ほか	対象学校区名	重信中学校、川内中学校	子どもの平均 参加人数	18 人/日		
開催日数 曜日・時間	土曜日	6 日	9 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	10 日	協働活動リー ダーのべ人数	0 人
	日・休業日等	4 日	10 : 00 ~ 15 : 00				
協働活動サポ ーターのべ人数	5 人	地域住民、社会人、地域おこし協 力隊	ボランティア のべ人数	2 人	大学生		
参加者募集	年度当初に各中学校を通じてチラシを配布し受講生を募集		連携・協力 機関・団体	愛媛FC、国立弓削商船高等専門学校等			

取組の概要

＜主な取組内容＞

- **滑川デイキャンプ**
自然豊かな滑川地区で実施したサマーキャンプでは、異学年・地域間交流を通して自立心や協調性を育む機会となった。
- **水難救助訓練**
地元消防署と協力して実施した水難救助訓練では、迅速な判断力と緊急時に取るべき行動の重要性を体感し、防災意識を高めた。
- **キャリア教育(2月実施予定)**
愛媛FCで働くスタッフ及び選手を講師に招いたキャリア教育プログラムを予定している。プロスポーツ選手と、選手を支えるスタッフ双方の生き方を学ぶことで、中学生たちの将来への視野を広げ、自己実現へのモチベーション向上を目的としている。



(水難救助訓練)



(滑川デイキャンプ)

生徒の感想

- ・スポーツやキャンプなど幅広いメニューでいつも楽しみ。
- ・大学生と交流できて楽しかった。
- ・二十歳を祝う会での受付や来賓対応を体験し、とても緊張したけどとても勉強になった。

＜特色ある取組＞

- **地域総がかりで子どもたちを育てる体制づくり**
自然あふれる滑川地区でキャンプをする「滑川サマーキャンプ」では、愛媛大学ボランティア8名の参画があった。講師として、「NEXCO西日本」、「愛媛県中小企業家同友会」、「国立弓削商船高等専門学校」、「東温市婦人会」など様々な企業や地元団体から協力を得て、多様な体験活動を実施した。



(弓削商船でのキャリア教育)

事業を実施して

【成果】

- 地域団体や地元企業の協力を得て、子どもたちの豊かな体験活動につながっている。

【課題】

- 多くの中学生に興味を持ってもらえる講座とするため、講座の内容を毎年同じものとするのではなく、内容を変えていくことが必要。
- 講座の安心・安全な運営を行う上で、協力者の人数確保が必要。

双海町こども教室ふるさと体験塾【伊予市】

～地域のこどもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 双海地域の魅力あふれる自然・文化・産業等に触れ、体験活動を行う。
- ふるさとを愛する心を持った心身共に健全な子どもを育てる。

活動場所	双海地域		対象学校区名	下灘小学校、由並小学校、翠小学校		子どもの平均参加人数	25 人/日		
開催日数	土曜日	0 日	:	~	:	活動のべ日数	7 日	協働活動リーダーのべ人数	0 人
開催曜日・時間	日・休業日等	7 日	9 : 00	~	14 : 00	ボランティアのべ人数	70 人	PTA会長、教員経験者、大学生、婦人会員、更生保護女性会員	
協働活動サポーターのべ人数	0 人		連携・協力機関・団体		双海地区公民館、PTA、婦人会、更生保護女性会				

取組の概要

<主な取組内容>

- **野外活動の基礎・じゃが芋の収穫**
野外活動の基礎を学び、収穫と野外料理を体験した。
- **防災キャンプ**
体育館でのダンボールハウス、ドラム缶風呂を体験した。
- **漁船底引き網体験**
地域の産業である底引き網漁を体験した。
- **秋のハイキング**
地域のお寺や神社などを巡る20キロウォークに挑戦した。
- **ニジマス釣り**
学校プールを使った魚釣りやつかみ取りを体験した。
- **ジュニアリーダー企画「学校かくれんぼ」**
学校を会場に学生ボランティア運営のかくれんぼ企画を実施し、小学生参加者と中高大学生の異年齢交流の機会となった。
- **閉講式**
1年間の活動の振り返り。



(じゃがいもの収穫体験)



(底引き網体験)

児童の感想

- ・段ボールハウスを友達と作れて良かった。寝るのが楽しみ。
- ・キャンプのカレーはホクホクであったかくておいしかった。

<特色ある取組>

- **防災と体験活動**
サマーキャンプを防災キャンプと題して開催し、子どもたちの防災への関心を高めた。プログラムとして、地域の防災士による防災グッズづくりを行ったほか、能登半島地震の被災地域で活動した市職員を講師に迎え、災害の実情を学んだ。段ボールハウスの寝床作りでは、設計図作りから翌日の解体まで避難所生活を楽しみながら体験した。中高大学生のボランティアによる防災クイズも実施し、子どもたちとクイズで大変盛り上がった。



(段ボールハウスの製作)

事業を実施して

【成果】

- 地域の自然や産業を生かした体験活動により、少年期の思い出作りと郷土を愛する心の育成を行っている。
- 小規模小学校3校の児童が参加し、ふだんの生活とは異なる交流機会になっている。
- 公民館だより等で発信し活動への関心を高めている。

【課題】

- 学生ボランティア以外のスタッフの高齢化が進んでおり、継続的な人材育成を行う必要がある。
- 運営に伴う事務作業の簡素化を図る必要がある。

せいよチャレンジキッズ【西予市】

～食育&ボッチャで交流～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所づくり
- 学校・家庭・地域の連携による活動
- 土曜日等の豊かな教育活動の推進

活動場所	宇和体育館 乙亥会館	対象学校区名	市内小学校(12校)	子どもの平均 参加人数	12 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	2 日	9 : 15 ~ 11 : 30	活動のべ 日数	2 日
	日・休業日等	0 日	: ~ :		
協働活動サポ ーターのべ人数	9 人	地域住民		ボランティア のべ人数	21 人
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布 行事によってその都度募集		連携・協力 機関・団体	食育推進計画作業部会班	

取組の概要

<主な取組内容>

- おやつについて考えてみよう
時間や量、質(栄養バランス)を考えて食べることを学び、またペットボト
ルのジュースの砂糖量について知る。
- おやつと運動量の関係を知ろう
実際におやつを食べた後、縄跳びをして運動量との関係を確認する。
- ボッチャに挑戦しよう
障がいの有無に関わらず子どもから高齢者まで誰もが一緒に安全に
楽しむことができるボッチャの体験を通して、障がいやパラスポーツへ
の理解を深める。
- 交流を深めよう
指導者や参加者同士が交流を深め、社会全体で子どもたちを育む意識を高める。



(食育の様子)

児童の感想

- ・お菓子は、1日100キロカロリー一位を目安に食べ、食べた分だけ運動することが良いことがわかった。
- ・食べたらず運動しないといけないことがわかった。
- ・ボッチャは、負けて悔しかったけれど、またやってみたいです。
- ・ボッチャのやり方などが詳しくわかって楽しかった。次にボッチャをする機会があれば、経験を生かして頑張りたい。

<特色ある取組>

- 地域の人との交流
参加児童と地域の人との自然な関わりが生まれ、子どもが地域や
社会のことに関心を深め、思いやりの心を育てるとともに、豊かな
人間性を育む。



(地域の人も参加)

事業を実施して

【成果】

- 食育では、おやつについて時間や量を定めることなど
自分が注意することを学び今後生かすことができる。
- ボッチャでは、ルールを理解し参加者同士が協力しな
がら、交流することができた。

【課題】

- 土曜日は、習い事や他のイベント等と重なり児童
の参加が難しい。
- 地域の人材発掘。

ワクワク体験教室【愛南町】

～愛南町を愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちに、学校の教育課程に留まらない体験的な活動、補充・発展的な学習を提供する。
- 子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。
- 地域の豊かな自然を舞台として、専門的な知識を持つ指導者から学ぶ機会を提供することで、子どもたちの郷土愛を醸成する。

活動場所	活動によって異なる		対象学校区名	愛南町全小・中学校		子どもの平均参加人数	10 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	3 日	活動によって異なる	活動のべ 日数	5 日	協働活動リー ダーのべ人数	5 人
	日・休業日等	2 日					
協働活動サポ ーターのべ人数	10 人	教員経験者、元公務員 等		ボランティア のべ人数	2 人	教員経験者、元公務員	
参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	各小・中学校、各公民館 等			

取組の概要

<主な取組内容>

● 月の観察会



(天体望遠鏡のしくみを学び、屋外で観察を行っている様子)

感想

- ・月がすごく大きく見えた。
- ・望遠鏡の仕組みも学べて良かった。

● ドローンを飛ばそう



(ドローン操作体験の様子)

感想

- ・初めて操作したけど、上手に飛ばせて楽しかった。
- ・次はもっと大きなドローンも操作してみたい。

<特色ある取組>

● 篠山の自然を楽しもう

町内にある篠山(標高1,065m)への登山を行った。一帯は国立公園、県立自然公園に指定されており、アケボノツツジなどの自然植物の宝庫で、古くから山岳信仰の霊地として知られた山である。子どもたちは、植物などについてのクイズに答えたり、お互いが声を掛け合いながら、険しい山道を力強く登った。



(篠山の頂上を目指す子どもたち)

事業を実施して

【成果】

- 日頃、体験できない活動に子どもたちも楽しんでいける様子だった。
- 学校・学年の垣根を越えた交流の機会となった。

【課題】

- スタッフの拡充や育成を進めていく必要がある。
- 少子化につき、募集方法等の工夫が必要。

家庭教育支援



「親子で調理実習」

(伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】)

①【西条市】子育て学習講座	74
②【今治市】家庭教育学級・子育て学習講座	75
③【上島町】家庭教育支援・子育て講座	76
④【伊予市】伊予市家庭教育・子育てサポートグループ	77
⑤【砥部町】家庭教育学習会	78
⑥【久万高原町】久万高原Happyサポート	79
⑦【大洲市】大洲子育てサポート“そよ風”	80
⑧【西予市】せいよ家庭教育・子育て応援グループ	81
⑨【宇和島市】宇和島市家庭教育支援チーム	82

子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

- 小・中学生の保護者が参加する参観日や、就学前の子どもの保護者が参加する就学時健診時等において、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育支援の充実を図る。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	55 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	2 回	連携・協力 団体・機関	小学校25校、中学校10校、各小・中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座
 - ・就学前の子どもの保護者を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・小学生の保護者を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・中学生の保護者を対象とした講座
 - ・各中学校単位で実施



(講座「子どもの多様な学びの必要性」)

保護者の感想

- ・子どもの言葉かけや不安への具体的な対応方法を学ばせていただきました。関わり方を見直す良い機会となり、日々の育児の中で少しずつ実践していきたいと思います。(「子どもの多様な学びの必要性」)
- ・改めて、言葉の力に気づきハッとした。発する言葉も聞く言葉も、天使のささやきか悪魔のささやきかで全然違う。しんどいときこそ天使のささやきを思い出し、子どもが幸せになるために、まず、自分がポジティブに幸せになりたいと思った。(「子育てと自分育て」)
- ・具体的で大変分かりやすかった。ついつい子供を叱ってしまったり、マイナスな言い方をしてしまったりすることも多いが、今日のお話を聞いて、プラスの言葉かけをたくさんしていきたいと思った。(「幸せを呼ぶ魔法の言葉」)



(講座「子育てと自分育て」)

<特色ある取組>

● ウイングサポートセンター職員等による講座

当市にはウイングサポートセンターが2か所あり、市内の児童・生徒に対し積極的な取組が行われているが、今年度においては各学校からの子育て学習講座の講師依頼が多かった。また、就学時健診等を活用した小学生の保護者を対象とした講座では、発達段階に応じた保護者の心得なども学ぶことができ、子育てに不安を抱える保護者にとっても有益であった。中学生を対象とした講座では、他者に目を向け、一人一人が大切であることをテーマとした講座が多く、中には、人権コンサートを行った学校もあった。



(講座「幸せを呼ぶ魔法の言葉」)

事業を実施して

【成果】

- 就学時健診等を活用した子育て学習講座では、小学校入学に向けて保護者の不安を和らげ、今後の子育てについて学び、他の保護者と関わる良い機会となった。教職員も保護者の気持ちや姿勢を学ぶことができた。
- 学校の実情に合わせた講師、テーマを選ぶことで、保護者や子どもが抱える不安や悩みの対処方法を学ぶことができた。子どもも一緒に参加することで、家庭での会話のきっかけづくりにもなった。

【課題】

- 就学時健診や参観日、保護者会と合わせて実施することで、保護者が参加しやすいよう取り組んでいるが、保護者の参加が少ない学校もある。保護者の興味のあるテーマの選択、対象学年以外の児童の参加や預かりなど、工夫が必要がある。
- 就学前健診時の子育て学習講座は、児童や健診に携わる教職員も参加できない。

家庭教育学級・子育て学習講座【今治市】

～学校・PTA・地域と連携した講座の実施～

◆活動の目的・理念

- 児童・生徒が心身ともに健全な成長をするように、学習活動をととして家庭における成人の役割を学び、心豊かな明るい家庭環境づくりと青少年の健全育成を目指す。

活動拠点	各小・中学校	講座・学習 会開催数	76 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	- 回	連携・協力 団体・機関	家庭教育学級(小学校14校、中学校6校、各学校PTA) 子育て学習講座(小学校11校)				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て学習講座

小学校の就学時健康診断の機会を活用 ・講師は校医、保健師、発達支援センター職員など ・子どもの健康管理や身に付けさせたい生活習慣、子どもとの向き合い方などについての講座

参加者の声

- ・親子が健康で規則正しい生活を送れるように日々の生活習慣を見直していきたい。特に親がスマホに夢中になると、生活リズムが壊れるだけでなく、子どもへの悪影響も心配される。
- ・就学前だけでなく就学後の子育ての話を、小学校の元校長先生から伺うことができ、家庭・学校生活での子育ての参考になった。
- ・周りや比べたり、情報過多となり、子育てに不安は尽きないが、自分だけが不安でないことに安心した。子育ては親育てと言われるように、私自身も成長していきたいと感じた。
- ・結果のみを見るのではなく、その過程が大切なことが理解できた。失敗しても次があり、努力したことに目を向けようと思った。
- ・ついイライラして頭ごなしに注意することがあるが、子どもが家庭での居場所をなくしてしまうことが、子どもの一生に大きく関わってくるものと反省させられた。
- ・「子どもは学校での顔と家庭での顔がある」ことを改めて理解させられた。私自身、仕事先と家庭での顔が確かに違うと思い知らされた。

参加者は、子どもの成長に伴う身体のことから、睡眠、朝食、運動等の健康に関すること、子どもとの向き合い方などについて話を聞くことができた。
参加者は日々の子育てに生かすことができるよう真剣に考えていた。



(講座の様子①)



(講座の様子②)

<特色ある取組>

● 家庭教育学級

家庭教育学級では、市内小中学校PTAが地域の特性を生かし、給食の試食会や手作り雑貨教室、心肺蘇生(そせい)講習会、エクササイズ等、様々な講座を実施している。各PTAが工夫をこらし、参加者の交流の場となっている。

事業を実施して

【成果】

- 子育て学習講座では、子どもの健康管理や「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣の大切さ、留意点などについて、講師から指導・アドバイスを受けることができた。
- 家庭教育学級では、親子で料理教室等食育に関する学習からインフルエンザに関する情報など、様々な実践、学習活動が行えた。この教室を通して、家庭環境作りや参加者同士の交流がより深まり、お互いが家庭の相談をしやすい環境をつくることができた。各家庭での実践が期待される。

【課題】

- 平日の昼間に実施されることが多いことから、参加者が限定され、仕事をされている方の参加が難しいと思われる。気軽に参加できる雰囲気づくりも必要と思われる。学校施設を利用しているため、拡充が困難でもある。
- 家庭教育学級では、実技、レクリエーションと講座を組み合わせて楽しく学ぶことができたが、今後家庭教育に重点を置いた幅広い研修が望まれる。

家庭教育支援・子育て講座【上島町】

～学びあいと交流を大切にした子育て支援～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育における課題を探り、子どもの発達段階や親としての心得、子どもが抱える問題等について学習する機会を持つことで、全ての保護者が安心して家庭教育を行える環境づくりを進める。
- 家庭教育における悩みを相談し合い、情報交換できる場をつくる。

活動拠点	各保健センター 各小・中学校	講座・学習 会開催数	13 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	13 回	連携・協力 団体・機関	保健センター、消防等				
チーム	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
スタッフ	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 親子ふれあい教室

未就学児を持つ保護者に対して、家庭教育支援の教室を実施している。

- ・わくわく親子あそび
- ・親子でふれあうベビーマッサージ
- ・高校生とのコラボ企画「親子工作と読み聞かせ」

● 子育て講座

学校の参観日を活用し、親子で学べる講座を実施している。

- ・「能登半島地震支援業務から見た、南海トラフ地震に対する備え」
- ・「SNSとマナー」

保護者の感想

- ・保護者同士で参考になる話がたくさん聞けてよかった。(親子ふれあい教室)
- ・ベビーマッサージは家でも実践したい。(親子ふれあい教室)
- ・高校生の手づくりおもちゃがうれしかった。(親子ふれあい教室)
- ・防災について、家族と話し合いをしたい。(子育て講座)
- ・災害に対する心構えを見直したい。(子育て講座)



(親子ふれあい教室
～高校生とコラボ企画～)



(子育て講座「地震に対する備え」)

<特色ある取組>

● 子育て講演会

「自分らしさを大切に ～あなたにしかできない子育てをしよう～」

保育士、メンタルコーチ、発達支援コーチ等の資格を持つ講師を招き、子育て世代の保護者に対して「ありのままが良い」と思える考え方のコツを学ぶ講座を実施。

多くの方に参加していただくため、当日は託児所を開設し、保護者に安心して受講、交流していただく環境づくりを行った。講師が自身の育児経験を交えて日々の生活に生かせる考え方(手抜きではなく手間抜きをする等)について講話を行い、合間にグループワークを実施したことで、参加者同士が情報交換、共有する良い機会となった。



(子育て講演会)

事業を実施して

【成果】

- 子どもをもつ保護者が抱える日頃の悩みについて、情報交換、共有することができた。
- 新しく本町に来られた方の集まる場所となり、孤立感の解消につながっている。
- 親の学びの場を提供することができた。

【課題】

- より一層の充実を図るため、保護者の立ち寄りやすい時間や感染症が流行しない時期の開催等を配慮する。
- 学校や保健センターとの連携は図れたが、家庭教育支援を担う地域人材の確保が困難。
- 事前にアンケート調査を実施する等、ニーズに合った内容を取り入れていく必要がある。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】

～家庭・地域での家庭教育・子育て支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 地域住民に、家庭教育や子育てに関する情報や学習の機会を提供しながら相談活動の充実を図り、ともに支え合う家庭・地域づくりを応援する。

活動拠点	伊予市教育委員会事務局 社会教育課	講座・学習 会開催数	10 回	相談対応 件数	10 件	訪問活動	0 件
広報活動	2 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所、幼稚園、認定こども園・私立児童施設、小学校、中学校、公民館、子育て支援センター、保健センター、児童館、児童センター				
チーム	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	0 名	民生委員・児童委員	0 名	
スタッフ	元教職員	2 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名	
計 10 名	心理士・スクールカウンセラー	0 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	7 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て現役世代との意見交換会・学習会

- ・子育てについての悩みを話し合うことで、他の保護者と悩みを共有できる。
- ・絵本の読み聞かせや年代別の絵本の選び方解説



(学習会)

● 家庭教育支援に関する情報発信

- ・家庭教育情報誌「ほのぼの」を全戸配布(年2回)

第1回：子育てに関する情報、上半期のサポートグループ活動報告
第2回：子育てに関する情報、下半期のサポートグループ活動報告
サポートグループの紹介や事業連携についてほのぼのに掲載

- ・利用者支援事業相談窓口の周知(随時)

学習会等の実施時に、子育て支援課が実施している相談窓口の紹介講座開催時に、「ほのぼの」や周知チラシを配布



(広報活動)

● 親子体験型学習会

- ・『親子ふれあいレクリエーション』

遊びのなかに学びやふれあいを取り入れることで、参加する保護者の悩み解消や子どもの興味関心を高める。

- ・『親子で調理実習』(調理実績：じゃこ天づくり・お菓子づくりなど)

親子で一緒に協同調理をすることで、家庭でのお手伝いなどの家庭教育につなげる。また、地元で収穫された魚や農作物を使うことで、郷土愛の醸成を図る。



(食育学習)

<特色ある取組>

● 各施設にアンケート調査し、要望に対応した学習会を実施！

保育所や幼稚園などとの実施に向けた事前打合せにおいて、当該施設を利用する保護者がどのような悩みを抱えているのかを聞き取り、解決のきっかけづくりとして学習会を実施している。

施設ごとに学習シートをA3サイズで自作し、1時間程度の時間で十分意見交換ができることを想定しており、資料作成に当たっては、県が作成した「愛顔の子育てトーク&わく応援プログラム集」を活用している。



(手作りのじゃこ天クイズ)

事業を実施して

【成果】

- 小規模校ではあるが、全校生徒を対象に親子ふれあいレクリエーションを行うことができた。
- 地元じゃこ天生産グループと保育園児との食育を絡めた学習会(調理実習)を実施できた。

【課題】

- 事業実施がかなっていない公民館があるため、連携できるよう準備を進めたい。
- 担当職員が行っている打合せ・企画立案・資料作成・スタッフの派遣調整等を、スタッフとともに行うことができる体制づくりを目指したい。

家庭教育学習会【砥部町】

～学校での学習会を通じた家庭教育力の活性化を目指して～

◆活動の目的・理念

- 小中学生の保護者が参加する参観日などを活用した学習会を開催することにより、家庭教育に関心の低い保護者なども含め、より多くの保護者に働きかけ、家庭教育について考える機会を提供し、家庭教育力の活性化を図る。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	4 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	- 回	連携・協力 団体・機関	小学校3校、中学校1校、各小・中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 小学校での参観日を活用した家庭教育学習会

- ・小学校の児童と保護者を対象とした講座
- ・各小学校単位で実施

麻生小学校 演題:ゲームと脳について～ご家庭でできること～
講師:砥部町保健センター 福見 早苗 氏

宮内小学校 演題:インターネット安全教室
講師:日本ガーディアン・エンジェルス松山支部

砥部小学校 演題:LGBTQ+とは?
講師:松山市 市議会議員 渡邊 啓之 氏



(麻生小学校での様子)

● 中学校での家庭教育学習会

- ・中学校の保護者を対象とした講座

砥部中学校 演題:思春期のトリセツ
講師:おやこコーチングmamanoria 代表 川手 美香 氏

保護者の感想

- ・LGBTQ+についてよく理解できた。何があっても子どもの味方でありたいと改めて思った。(砥部小学校「LGBTQ+とは?」)
- ・思春期の子どもを持つ親同士話すことができて良かった。(砥部中学校「思春期のトリセツ」)

<特色ある取組>

● 保護者同士の会話を交えた学習会

砥部中学校で実施した学習会では、コーチングをベースに発達障がい・グレーゾーン・不登校などで悩む親子のサポート活動をされている「おやこコーチングmamanoria」代表の川手美香氏に「思春期のトリセツ」と題して講演をしていただいた。同じ思春期の子どもを持つ親同士で会話をする時間や、日頃の子育ての悩みを書き出す時間を設け、子どもとのコミュニケーションの取り方について学ぶ学習会となった。



(砥部中学校での様子)

事業を実施して

【成果】

- 各小学校での参観日に合わせて学習会を実施することで、より多くの保護者に参加してもらうことができた。
- 学校の要望に合わせた講師、テーマの選定により、保護者のニーズに合わせた学習会を実施できた。

【課題】

- 事業の実施ができていない小学校があるため、開催できるように調整をする必要がある。
- 家庭教育に関心が低い家庭や困難を抱えている家庭へ効果的な取組を行っていく必要がある。

久万高原Happyサポート【久万高原町】

～気持ちに寄り添うやさしい子育て支援～

◆活動の目的・理念

- 誰もが気軽に利用でき、ほっとひと息できる場所づくり
- リラックスできる環境のなかで、さり気なく関わっていく支援
- 日々の生活のなかで、分かりやすくやさしい支援

活動拠点	地域子育て支援センター HappyHouse	講座・学習 会開催数	16 回	相談対応 件数	41 件	訪問活動	20 件
広報活動	15 回	連携・協力 団体・機関	幼保連携型こども園1、児童館1、幼稚園9園、小学校9校、中学校2校、保健センター1、つどいの広場1、高等学校1				
チーム	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	0 名	
スタッフ	元教職員	1 名	PTA役員	0 名	保健師	1 名	
計 17 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	11 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- **子育て情報発信**
 - ・子育て通信「キラリ」発行 町内全戸に子育て情報発信
 - ・育和会だより及び育和会ホームページに子育て情報掲載
- **学習会「Happyカフェ」開催**
 - ・子育て講座、Happy子育てトーク、カルチャーレッスン等
- **子育て相談実施**
 - ・Happy HouseおよびNIKONIKO館(児童館)での相談
 - ・小中学校での出張相談
- **保健センターとの連携**
 - ・療育教室、療育相談(発達障害など気になる子への対応)
- **子育てサロンでの交流**
 - ・ふれあい広場参加 遊びの提供
 - ・つどいの広場訪問 託児支援 仲間作りの応援
- **すくすくday(身長体重測定 健康相談 誕生祝い)**
- **先輩ママ・パパの会(中高生保護者向け子育て講座)**



(先輩ママ・パパの会)



(「すくすくday」保健師による健康相談)

保護者の感想

- ・親子で出かけられ、楽しめる場所があっという嬉しい。
- ・子育て中の方と出会っておしゃべりできる良い機会となった。また、子どものことで気になることや心配なことがあると、気軽に相談できた。

<特色ある取組>

- 「子育て何でも相談日」～小・中学校での出張相談～
町内7校の小・中学校の参観日に学校の一室を借りて、出張子育て相談を行った。リラックスして気軽に話せるように、カフェや子育て本など用意した。保護者からは「子育てについてゆっくり話す場所があっという嬉しいですね。次回もやってほしい。」「久しぶりに先生たちと話せてうれしかったです。」などのうれしい声をいただいた。また、保護者同士の気軽なおしゃべりから、SNSやスマホの使い方、進路や学習、友人関係などの悩みについて話される方もあり、情報交換できる場となった。今後も町内小・中学校と連携して、学校訪問を行っていきたい。



(学校訪問の様子)

事業を実施して

【成果】

- 小・中学校への学校訪問を行い、町内7校で参観日などに子育て相談をすることができた。
- 中高生の保護者向けに年間2回、子育て講座を行った。気軽なおしゃべりの中から、スマホやSNS、進学についての悩みを話される方もあり、保護者同士の情報交換もできてよかった。

【課題】

- 社会の変化とともに、子育てに不安や孤立感を感じる方が増えている。安心して過ごせる居心地のよい場所となるように、さり気ない支援を工夫したい。
- 子育て親子のニーズに合った活動内容を企画し、子育て親子の気持ちに寄り添う支援をしていきたい。

大洲子育てサポート“そよ風”【大洲市】

～ともに子育て！ いまから ここから～

◆活動の目的・理念

- 乳幼児から思春期までの子育てに関する保護者の不安に寄り添った相談ができる場所になる。
- 相談内容に応じて保護者と支援機関をつなぐなど、協働的・包括的な支援を行う。
- 情報紙(そよ風通信)や学習会を通して、子育てを考え、共に学び合う学習の機会を提供する。

活動拠点	大洲市アフタースクールおおず	講座・学習 会開催数	20 回	相談対応 件数	80 件	訪問活動	60 件
広報活動	11 回	連携・協力 団体・機関	認定こども園8、保育所9、幼稚園3、小学校12、中学校8、地区コミセン24 児童館3、保健センター、こども家庭センター、子育て支援課				
チーム	地域コーディネーター	0 名	子育てサポーターリーダー	0 名	民生委員・児童委員	0 名	
スタッフ	元教職員	5 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名	
計 7 名	心理士・スクールカウンセラー	2 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	0 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 利用しやすい相談対応

- ・毎週月・火・木・金 9:00～16:00に電話相談・来所相談・訪問相談を行う。
- ・相談者の要望に応じて、場所や時間を設定し、柔軟な相談対応を行っている。
- ・市内の児童館での子育て広場の後、個別相談にも応じている。
- ・相談内容によっては、学校やその他の関係機関と連携して支援を行う。



(子育て広場(児童館))

● 子育てを応援する学習会の開催

- ・子育て広場(児童館3か所)において、絵本の読み聞かせや子育てに関する講話、グループトークを行っている。
- ・子育て学習会(保育所・小学校)や外部機関・団体の研修会に講師として参加し、参加体験型の活動を取り入れ、楽しみながらも、保護者自身の気付きを促すような学習の場を設定している。



(子育てに関するトーク&ワーク)

保護者の感想 (子育て広場・子育て学習会について)

- ・悩んでいるのは自分だけではなかった。これからもっと子どもの顔をきちんと見たいと思った。
- ・子育てだけでなく、職場での悩みも聞いてもらい、話すことでリフレッシュできた。

● 子育てに役立つ情報提供

- ・情報誌「そよ風通信」の発行。毎月1回約4,500部発行。市内の保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・その他関係機関に配布している。
- ・今年度6月よりホームページを開設し、活動の報告、「そよ風通信」を掲載している。また、相談フォームを開設し、常時受付をしている。
- ・孤立しがちな保護者、要支援の保護者にも定期的に届く支援の一つとなっている。

<特色ある取組>

● 学校・支援機関との連携

- ・保護者や学校等と児童生徒の多様な問題を話し合い、内容に応じた支援機関へつないでいる。

● 就学時健診の場を利用した子育て学習会を実施

- ・就学時健診時に、「小学校入学に向けて準備しておくこと」のテーマで子育て学習会を行った。グループトークを取り入れることにより、不安や悩みの軽減につながった。

● 市教委・こども家庭センターとの定期的な連絡会

- ・当サポートの状況(講座・通信・相談)及び活動の方針、事例検討等の会議を定期的に行っている。運営上の課題の解消、情報の共有に役立っている。

● 企業訪問の実施

- ・アウトリーチ型の家庭教育支援の一つとして、定期的な訪問相談を行った。

● 読んでもらえる「そよ風通信」の作成

- ・読みやすい紙面レイアウトや内容をスタッフ全員が考え、手作り感のある通信を作成・印刷・配布している。

事業を実施して

【成果】

- 保護者に寄り添う、届ける、つなげる支援を行うことで、保護者自身が安心感をもつことができた。
- ホームページを開設することによって、そよ風の活動を広く知らせることができた。

【課題】

- 子育てを行う保護者を元気にすること、現状を否定しないで励ますことを第一に考え、保護者支援を行いたい。
- 子どもの成長に伴い、悩みや不安も増えてくることから、継続的な支援体制を整えていきたい。

せいよ家庭教育・子育て応援グループ【西予市】

～親子共育を支える地域力として～

◆活動の目的・理念

- 家庭における教育力の重要性の啓発・底上げ及び保護者の抱える問題に寄り添い対応する。
- 学校や行政関係各課との連携を密にし、社会・家庭・学校のニーズに対応したグループづくりに努める。
- 無理なく息の長い活動を目指す。

活動拠点	西予市保健センター	講座・学習 会開催数	2 回	相談対応 件数	0 件	訪問活動	1 件
広報活動	4 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所(認定こども園)15、幼稚園4、小学校12、中学校5、図書館、地域づくり活動センター、児童館、地域子育て支援センター、学校教育課、福祉課、健康づくり推進課、子育て支援課				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	0 名	民生委員・児童委員	1 名	
	元教職員	1 名	PTA役員	0 名	保健師	1 名	
計 11 名	心理士・スクールカウンセラー	0 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	7 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- **必要な支援へとつなぐ子育て相談の実施**
平日の9:00～17:00に受付対応。
- **親子参加型イベントの開催**
クッキングやトランポリンなど様々な体験活動を通して、親子・参加者が一緒に学び合いながら交流を図り、子育てのちょっとした疑問や不安を気軽に話し合える場を提供する。
- **就学前ワークショップの実施**
保護者が集まる就学時健診の機会を活用し、保護者同士の交流やつながりづくりを目的に実施。就学に向けての期待や不安を共有し、前向きな気持ちで入学を迎えられるようサポートする。
- **子育て応援情報紙「わくわくステーション」の発行**
子育て等に関する情報、「親子共育」をテーマにした子育て中の保護者の声、活動内容などを記事にし、市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校を通して保護者へ配布。その他関係機関にも配布し、来場者にも読んでもらっている。



(親子で巨大トランポリンを体験♪)

保護者の感想

- ・お互いの子育てについて話すことができてよかった。
- ・ふだんなかなか親子で活動することがないので、大変貴重な経験をさせていただいた。同世代のみなさんと、お話しできてリフレッシュもできた。
- ・保護者だけではできないことに、挑戦させていただけてよかった。
- ・子どもの成長を感じることができた。こんなこともできるようになったのかとビックリした。

<特色ある取組>

- **親子参加型イベントを通したつながりづくり**
親子間だけでなく保護者間の交流やつながりづくりを目的として、クッキングやトランポリンなど親子で楽しめるイベントを実施。子どもと一緒に活動する内容のため自然に会話が生まれ、保護者同士が知り合う良い機会になっている。イベントを通して、スタッフや参加者が顔見知りになることで相談につながったり、子育ての喜びや悩みを分かち合える仲間づくりにつながったりした。今後も、保護者同士が交流できるイベントを計画していきたい。



(おやこでクッキング♪)

事業を実施して

【成果】

- イベントを通して保護者同士が交流し、共感や安心感、気付きが得られる機会とすることができた。
- 参加率が高い就学時健診を活用してワークショップを行い、入学前に保護者同士が顔見知りになる良い機会とすることができた。

【課題】

- 家庭教育について関心を高められるイベント内容の工夫
- 家庭教育に関心が低い家庭や困難を抱えている家庭をイベント参加につなげられるような工夫
- ボランティアの確保と支援員の確保

宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】

～大きくなあれ うわじまっ子～

◆活動の目的・理念

- 地域の実態を把握し、子育て中の保護者と地域のつながりづくりのサポートを行う。
- 身近な環境や人材を活かし、保護者への学びの提供や悩みの解決を支援する。

活動拠点	宇和島市教育委員会	講座・学習 会開催数	18 回	相談対応 件数	0 件	訪問活動	0 件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	市内保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、公民館、子育てサークル				
チーム	地域コーディネーター	0 名	子育てサポーター・リーダー	1 名	民生委員・児童委員	0 名	
スタッフ	元教職員	2 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名	
計 6 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	2 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 保護者の子育てを応援する「子育て学習会」の開催
市内の保育園、幼稚園、小学校の参観日など保護者が集まる機会に学びや体験を提供。



(子育てについての講演)



(かまぼこ板工作)



(ミュージック・ケア)

- 月に一度の定例会を開催
子育て学習会で気になったことや、保護者からの意見を共有。
- 相談活動
相談窓口を設け、関係機関につなぐことで包括的な支援を行っている。(令和6年度は実績なし)

保護者の感想

- ・とても楽しかった。作った絵合わせカードを家でも使いたい。
- ・日々の暮らしの忙しさにとらわれず、自尊感情を育てていけるよう、心にゆとりをもって子育てすることを大切にしようと思った。

<特色ある取組>

- 家庭教育支援員による市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校への広報活動
広報紙配布については、情報交換や信頼関係を築くために手渡しにこだわっている。
情報交換で出た意見は、家庭教育支援事業の充実に効果を上げている。

事業を実施して

【成果】

- 子育て学習会について
保護者が子どもと過ごす時間を確保し、スキップの取り方や、子育て方法について学びの場を提供することができた。保護者からも家庭で実践してみたいとの声を多くいただいた。

【課題】

- 保護者との関係づくりについて
子育て学習会で学びの場を提供することができているが、悩みを抱える保護者への情報提供や相談対応が十分にできているとは言えない状況である。家庭教育支援員が地域にいて安心してもらえるよう、子育てに関して気軽に話せることができるような場を提供する必要がある。

参考

令和6年度 愛媛県 放課後児童クラブ一覧

(令和6年5月1日現在)

市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
松山市		松山市 こどもえがお課			松山市	34	福音児童クラブ運営委員会	福音小学校	福音
	1	新玉児童クラブ運営委員会	新玉小学校	新玉		35	高浜児童クラブ運営委員会	高浜小学校	高浜
	2	石井東児童クラブ運営委員会	石井東小学校	石井東		36	伊台児童クラブ運営委員会	伊台小学校	伊台
	3	雄郡児童クラブ運営委員会	雄郡小学校	雄郡		37	荏原児童クラブ運営委員会	荏原小学校	荏原
	4	小野児童クラブ運営委員会	小野小学校	小野		38	桑原児童クラブ運営委員会	桑原小学校	桑原
	5	東雲児童クラブ運営委員会	東雲小学校	東雲		39	じどう児童クラブ運営委員会	慈童保育園	正岡・難波
	6	たちばな児童クラブ運営委員会	たちばな小学校	たちばな		40	北条児童クラブ運営委員会	北条小学校	北条
	7	みどり児童クラブ運営委員会	久枝児童館	みどり		41	河野児童クラブ運営委員会	河野小学校	河野
	8	北久米児童クラブ運営委員会	北久米小学校	北久米		42	粟井児童クラブ運営委員会	粟井小学校	粟井
	9	素鷲児童クラブ運営委員会	素鷲小学校	素鷲		43	八坂児童クラブ運営委員会	八坂小学校	八坂
	10	久枝児童クラブ運営委員会	久枝小学校	久枝		44	三津浜児童クラブ運営委員会	地域交流センター	三津浜
	11	道後児童クラブ運営委員会	道後小学校	道後		45	番町児童クラブ運営委員会	番町小学校	番町
	12	久米児童クラブ運営委員会	久米小学校	久米		46	遊友学舎キッズ☆ティサポート	遊友ホール	桑原
	13	石井児童クラブ運営委員会	石井小学校	石井		47	放課後児童クラブ ひまわり	松山協定こども園里岡	福音
	14	双葉児童クラブ運営委員会	双葉小学校	双葉		48	多機能学童保育すくっと	民家	八坂
	15	味酒児童クラブ運営委員会	味酒小学校	味酒		49	東松山学童保育	東松山こども園	窪田
	16	清水児童クラブ運営委員会	清水小学校	清水		50	三葉幼稚園学童保育	民家	宮前
	17	生石児童クラブ運営委員会	生石小学校	生石		51	白百合保育園学童保育 こひつじ組	白百合保育園	河野
	18	余土児童クラブ運営委員会	余土子ども・子育て施設	余土		52	民間学童保育ベース g-kids	民家	北久米
	19	石井北児童クラブ運営委員会	石井北小学校	石井北		53	こどものおうち プティパ	こどものおうち プティパ	石井
	20	宮前児童クラブ運営委員会	宮前小学校	宮前		54	きしっ子児童クラブ	きしっ子児童クラブ	久米
	21	湯築児童クラブ運営委員会	湯築小学校	湯築		55	教育付き放課後児童クラブJackキッズ枝松	協定こども園ジャックと豆の木園	福音
	22	窪田児童クラブ運営委員会	窪田小学校	窪田		56	教育付き放課後児童クラブJackキッズ余土	協定こども園ジャックと豆の木園	余土
	23	堀江児童クラブ運営委員会	堀江小学校	堀江		57	松山東雲学園児童クラブ	松山東雲女子大学	桑原
	24	潮見児童クラブ運営委員会	潮見小学校	潮見			今治市 こども未来課		
	25	和気児童クラブ運営委員会	和気小学校	和気		1	吹揚児童クラブ	吹揚小学校	吹揚
	26	姫山児童クラブ運営委員会	姫山小学校	姫山		2	仲よし児童クラブ	別宮小学校	別宮
	27	味生児童クラブ運営委員会	味生子ども・子育て施設	味生		3	常盤児童クラブ	常盤小学校	常盤
	28	垣生児童クラブ運営委員会	垣生小学校	垣生		4	近見児童クラブ	近見小学校	近見
	29	湯山児童クラブ運営委員会	湯山小学校	湯山		5	立花児童クラブ	立花小学校	立花
	30	味生第二児童クラブ運営委員会	味生第二小学校	味生		6	青空児童クラブ	鳥生小学校	鳥生
	31	椿児童クラブ運営委員会	南部児童センター	椿		7	桜井児童クラブ	桜井小学校	桜井
	32	浮穴児童クラブ運営委員会	浮穴小学校	浮穴		8	国分児童クラブ	国分小学校	国分
33	さくら児童クラブ運営委員会	さくら小学校	さくら	9	富田児童クラブ	富田小学校	富田		

市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
今治市	10	しみず児童クラブ	清水小学校	清水	八幡浜市	7	川之石児童クラブ	川之石小学校	川之石
	11	日高児童クラブ	日高小学校	日高		8	喜須来児童クラブ	喜須来小学校	喜須来
	12	乃万児童クラブ	乃万小学校	乃万			新居浜市 学校教育課		
	13	うずしお児童クラブ	波止浜小学校	波止浜	1	たねっこクラブ1・2・3	高津小学校	高津	
	14	上朝児童クラブ	上朝児童育成施設	朝倉	2	ひかりクラブ1・2	中萩小学校	中萩	
	15	朝倉児童クラブ	朝倉老人憩の家	朝倉	3	ひかりクラブ3	中萩小学校	中萩	
	16	鴨部はあと児童クラブ	鴨部小学校	鴨部	4	なかよしクラブ	新居浜小学校	新居浜	
	17	九和児童クラブ	九和小学校	九和	5	たんぼぼクラブ1・2	金栄小学校	金栄	
	18	波方児童クラブ	樋口児童館	波方	6	こぼとクラブ1・2・3	角野小学校	角野	
	19	大西児童クラブ	大西小学校	大西	7	うずいクラブ	大生院小学校	大生院	
	20	菊間児童クラブ	菊間小学校	菊間	8	かぶとクラブ1・2	船木小学校	船木	
	21	吉海児童クラブ	吉海小学校	吉海	9	あひるクラブ1・2・3	神郷小学校	神郷	
	22	伯方児童クラブ	伯方小学校	伯方	10	すみれクラブ	宮西小学校	宮西	
	23	上浦児童クラブ	上浦開発総合センター	上浦	11	のぞみクラブ1・2	惣開小学校	惣開	
	24	大三島児童クラブ	大三島小学校	大三島	12	ひまわりクラブ	垣生小学校	垣生	
	25	児童クラブ未来	児童クラブ未来	乃万	13	あじさいクラブ	多喜浜小学校	多喜浜	
	26	しまなみ学童クラブ	しまなみ学童クラブ	乃万	14	ばんだクラブ1・2・3	泉川小学校	泉川	
	27	かなん学童クラブ	マリエール今治	立花	15	きりんクラブ	上部児童センター	中萩	
宇和島市		宇和島市 生涯学習課			16	ぴかっこクラブ	川東児童センター	浮島	
	1	石丸ルーム	石丸保育園	番城	17	かがやきクラブ1・2	金子小学校	金子	
	2	尾串ルーム	尾串保育園	明倫	18	かがやきクラブ3	金子小学校	金子	
	3	済美ルーム	宇和島済美保育園	天神			西条市 学校政策課		
	4	たちばな学童ルーム	立正保育園	宇和津	1	橘児童クラブ	橘小学校	橘	
	5	元気の泉学童ルーム	元気の泉保育園	和霊	2	禎瑞児童クラブ	禎瑞小学校	禎瑞	
	6	明倫放課後児童クラブ	明倫小学校	明倫	3	徳田児童クラブ	徳田公民館	徳田	
	7	番城放課後児童クラブ1	番城美術認定こども園	番城	4	庄内児童クラブ	旧庄内幼稚園	庄内	
	8	鶴島放課後児童クラブ	鶴島小学校	鶴島	5	石根児童クラブ	石根公民館	石根	
	9	吉田町放課後児童クラブ	吉田小学校	吉田	6	三芳児童クラブ	東予北地域交流センター	三芳	
10	津島町放課後児童クラブ	岩松幼稚園	岩松	7	田野児童クラブ	田野公民館	田野		
八幡浜市		八幡浜市 子育て支援課			8	吉井児童クラブ	吉井小学校	吉井	
	1	松蔭児童クラブ	松蔭小学校	松蔭	9	吉岡児童クラブ	東予西児童館	吉岡	
	2	神山児童クラブ	神山小学校	神山	10	楠河児童クラブ	楠河小学校	楠河	
	3	千丈児童クラブ	千丈小学校	千丈	11	国安児童クラブ	国安小学校	国安	
	4	白浜児童クラブ	白浜小学校	白浜	12	周布児童クラブ	周布小学校	周布	
	5	江戸岡児童クラブ	江戸岡小学校	江戸岡	13	氷見児童クラブ	氷見小学校	氷見	
	6	宮内児童クラブ	宮内小学校	宮内	14	中川児童クラブ	中川小学校	中川	

市町	番号	児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
西条市	15	多賀児童クラブ	多賀小学校	多賀	伊予市	12	されだに学童クラブ	佐礼谷小学校	佐礼谷
	16	神戸児童クラブ	神戸小学校	神戸		13	児童クラブそらうみ	空き店舗	郡中
	17	西条児童クラブ	西条小学校	西条		14	天使幼稚園放課後児童クラブ(天使組)	天使幼稚園	郡中
	18	神拝児童クラブ	神拝小学校	神拝			四国中央市 こども家庭課		
	19	飯岡児童クラブ	飯岡小学校	飯岡	1	新宮児童クラブ	新宮小中学校	新宮	
	20	壬生川児童クラブ	壬生川小学校	壬生川	2	川の江小学校児童クラブ	川の江小学校放課後児童クラブ	川の江	
	21	丹原児童クラブ	丹原小学校	丹原	3	金生第一小学校児童クラブ	金生第一小学校	金生第一	
	22	大町児童クラブ	大町小学校	大町	4	金生第二小学校児童クラブ	金生第二小学校	金生第二	
	23	小松児童クラブ	小松小学校	小松	5	上分小学校児童クラブ	上分小学校	上分	
	24	玉津A児童クラブ	玉津小学校	玉津	6	妻鳥小学校児童クラブ	妻鳥小学校	妻鳥	
	25	玉津B児童クラブ	玉津小学校	玉津	7	南・川滝小学校児童クラブ	南小学校	南	
26	田滝児童クラブ	田滝小学校	田滝	8	みしま児童センター児童クラブ	みしま児童センター	三島		
大洲市		大洲市 生涯学習課			四国中央市	9	松柏小学校児童クラブ(1)	松柏小学校	松柏
	1	喜多児童クラブ	喜多小学校	喜多		10	松柏小学校児童クラブ(2)	松柏小学校放課後児童クラブ	松柏
	2	大洲児童クラブ	大洲市アフタースクールおおす	大洲		11	中曽根小学校児童クラブ	中曽根小学校児童クラブ	中曽根
	3	平児童クラブ	平小学校屋内運動場	平		12	中之庄小学校第1児童クラブ	中之庄小学校	中之庄
	4	粟津児童クラブ	粟津小学校	粟津		13	寒川小放課後児童クラブ	寒川小学校	寒川
	5	長浜児童クラブ	長浜小学校	長浜		14	豊岡小学校児童クラブ	豊岡小学校	豊岡
	6	肱川児童クラブ	大洲市アフタースクールひらかわ	肱川		15	土居小学校児童クラブ	土居小学校児童クラブ	土居
	7	新谷児童クラブ	新谷小学校	新谷		16	長津小学校児童クラブ	長津小学校	長津
	8	菅田児童クラブ	菅田小学校	菅田		17	北小学校児童クラブ	北小学校	北
	9	久米児童クラブ	JA東徳いしほ大洲支所久米取原所	久米		18	小富士小学校児童クラブ	小富士小学校	小富士
	10	平野児童クラブ	平野小学校	平野		19	関川小学校児童クラブ	関川公民館	関川
11	三善児童クラブ	三善小学校	三善	20		放課後児童クラブポルト	認定こども園金生幼稚園	金生	
伊予市		伊予市 子育て支援課				21	ジュリアード学院放課後児童クラブ	ジュリアード学院放課後児童クラブ	関川
	1	南山崎児童クラブ	南山崎児童クラブ	南山崎			西予市 子育て支援課		
	2	北山崎児童クラブ	北山崎小学校	北山崎		1	トトロクラブ	宇和児童館	宇和町
	3	郡中放課後児童クラブ	郡中放課後児童クラブ	郡中		2	明下田クラブ	明下田クラブ	皆田
	4	南伊予児童クラブ	南伊予児童クラブ	伊予		3	のむらキッズ	野村地域教育福祉総合施設	野村
	5	なかやま学童広場	中山地域事務所	中山		4	すこやか児童クラブ	コスモス館	三瓶
	6	上灘学童クラブ	双海地域事務所	由並		5	ななほし中川	ななほし中川	中川
	7	下灘学童クラブ	下灘コミュニティセンター	下灘		6	おれんじクラブ	明浜中学校内	明浜
	8	えりむ児童クラブさくらんぼ	えりむCAN	郡中		7	しろかわキッズ	元教職員宿舎	城川
	9	スポキッズ児童クラブ郡中校	空き店舗	郡中	8	なかよしクラブ	うわまち未来こども園	宇和町	
	10	伊予くじら児童クラブ	伊予くじら認定こども園	郡中	9	てっぺん広場	介護施設ねぶの花	宇和町	
11	みかんキッズクラブ	みかんキッズクラブ	伊予						

市町	番号	児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
東温市		東温市 保育幼稚園課			伊方町		伊方町 保健福祉課		
	1	拝志ひまわりクラブ	拝志小学校	拝志		1	いかた学童クラブ	伊方小学校	伊方
	2	北吉井あおい組	いわがらこども館	北吉井		2	おおく学童クラブ	大久小学校	大久
	3	南吉井すみれ組	南吉井小学校	南吉井		3	みさき学童クラブ	三崎小学校	三崎
	4	南吉井たんぼぼ組	南吉井たんぼぼ組	南吉井		4	みつくえ学童クラブ	三机教職員住宅	三机
	5	川上くすのき児童クラブ	川上小学校	川上	5	くちょう学童クラブ	九町教職員住宅	九町	
	6	上林ささゆりクラブ	上林集会所	上林	松野町		松野町 町民課		
	7	東谷さくら児童クラブ	東谷小学校	東谷		1	なないろキッズ	森の国ふれあいセンター	松野
	8	西谷みどり児童クラブ	西谷幼稚園	西谷	鬼北町		鬼北町 町民生活課		
9	北吉井はなみずき組	北吉井はなみずき組	北吉井	1		鬼北町放課後児童クラブ	鬼北町放課後児童クラブ	近永	
上島町		上島町 住民課			愛南町		愛南町 保健福祉課		
	1	岩城校区児童クラブ	旧岩城保育所	岩城		1	平城小放課後児童クラブ	平城小学校	平城
	2	弓削校区児童クラブ	弓削高齢者生活福祉センター	弓削		2	城辺小放課後児童クラブ	城辺小学校	城辺
	3	生名なかよし児童クラブ	生名体育館	生名		3	一本松小放課後児童クラブ	一本松小学校	一本松
久万高原町		久万高原町 保健福祉課							
1	NIKO NIKOクラブ	NIKONIKO館	久万						
松前町		松前町 子育て支援課							
	1	松前小学校放課後児童クラブ	松前小学校放課後児童クラブ	松前					
	2	北伊予小学校放課後児童クラブ	北伊予小学校放課後児童クラブ	北伊予					
	3	岡田小学校放課後児童クラブ	岡田小学校放課後児童クラブ	岡田					
砥部町		砥部町 子育て支援課							
	1	砥部小学校第1放課後児童クラブ	砥部小学校	砥部					
	2	宮内小学校第1放課後児童クラブ	宮内小学校	宮内					
	3	麻生小学校第1放課後児童クラブ	麻生小学校	麻生					
	4	広田小学校放課後児童クラブ	広田老人憩いの家	広田					
内子町		内子町 こども支援課							
	1	五十崎児童クラブ	五十崎児童館	五十崎					
	2	天神児童クラブ	天神小学校	天神					
	3	内子第1児童クラブ	内子児童館	内子					
	4	内子第2児童クラブ	内子小学校	内子					

えひめ学校・地域教育サポーター 登録企業・団体一覧

令和7年2月1日現在

★がついている企業・団体は、学校教育だけでなく、放課後子ども教室や公民館活動等の地域における教育活動についても御支援いただける企業・団体です。

No	企業・団体等名	No	企業・団体等名	No	企業・団体等名
1	有限会社 あさひ(ディスプレイセンターあさひ)★	87	株式会社 誠寒村★	174	株式会社 渡辺建設★
2	朝日共販㈱	88	公益財団法人 生命保険文化センター★	175	株式会社 松山機工工業
3	株式会社 伊予銀行★	89	全日本空輸株式会社/ANAあきんど株式会社★	176	浅川造船株式会社
4	株式会社 伊予鉄高島屋	90	DCM株式会社★	177	BFCMAC株式会社
5	うま農業協同組合★	91	竹中金網株式会社 テクノなみかた工場	178	愛媛フレック(株)
6	株式会社 SSP	92	株式会社ダスキンプロダクト中四国 愛媛工場	179	有限会社 ゆうぼく★
7	SMBCコンシューマーマーフィナンス株式会社★	93	NPO法人『Do』	180	株式会社小関電工
9	株式会社 愛媛銀行★	95	(株)日本交通社★	181	南レク株式会社 日本庭園 南楽園★
10	愛媛県 県民環境部 防災危機管理課★	96	日本赤十字社愛媛県支部★	182	太陽石油株式会社 四国事業所
11	愛媛県 県民環境部 消防防災安全課★	97	伯方塩業株式会社★	183	月原自動車 株式会社
12	愛媛県 今治保健所★	98	株式会社 ブルーム・クラシック 愛媛テクノ工場	184	キョクヨーフーズ株式会社
13	公益財団法人 愛媛県学校給食会	99	弁護士法人伊予★	185	ヤマセイ株式会社
15	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課(生涯学習センター駐在)★	100	マエダ商事 株式会社	186	有限会社 アボトライ★
16	愛媛県教育委員会 文化財保護課★	101	松山税務署	187	松山空港ビル 株式会社
17	社会福祉法人 愛媛県共同募金会	103	リノベーションデザイン株式会社★	188	日本航空 株式会社 松山支店★
18	愛媛県警察本部 交通部 交通企画課★	104	愛媛県南予地方局 総務県民課★	189	石田クリーニング 株式会社★
19	愛媛県警察本部 生活安全部 少年課★	105	宇和島保健所 健康増進課★	190	松山観光港ターミナル 株式会社
20	愛媛県警察本部 総務課 広報県民課★	106	宇和島保健所 生活衛生課★	191	石崎汽船株式会社 松山・小倉フェリー株式会社★
21	愛媛県県民環境部 環境政策課★	107	宇和島保健所 環境保全課	192	日本ボイスカウト愛媛県連盟★
22	愛媛県県民環境部 自然保護課★	108	宇和島保健所 企画課★	193	四国開発フェリー株式会社★
23	愛媛県公営企業管理局 松山管工水管理事務所★	110	八幡浜保健所	194	有限会社 安藤蒲鉾店★
24	愛媛県 西条保健所★	111	愛媛県美術館★	195	宇和島自動車株式会社★
25	愛媛県在宅介護研修センター★	112	愛媛県障保館連絡協議会★	196	株式会社 あわしま堂
26	愛媛県 栽培資源研究所★	113	富士電機株式会社 松山営業所	197	双葉産業株式会社 四国工場
27	愛媛県 産業技術研究所 紙産業技術センター★	114	愛媛県職業能力開発促進支援センター	198	瀬戸内運輸株式会社(せとうちバス)
28	愛媛県 産業技術研究所 技術開発部	115	河原電子ビジネス専門学校★	199	P.H.C株式会社
29	愛媛県 産業技術研究所 食品産業技術センター	116	河原医療福祉専門学校★	200	一般社団法人 愛媛ゆめ教育協会★
30	愛媛県 産業技術研究所 繊維産業技術センター★	117	河原デザイン・アート専門学校	201	特定非営利活動法人 まもる★
31	愛媛県 産業技術研究所 窯業技術センター★	118	河原アイバットワールド専門学校	202	まつやまNPOサポートセンター★
32	愛媛県 資源循環優良事業者 連絡協議会★	119	学校法人河原学園 河原医療大学校 新居浜校★	203	一広株式会社
33	愛媛県 四国中央保健所★	120	学校法人河原学園 河原外語観光・製菓専門学校★	204	シノワ株式会社
34	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会★	121	河原ビューティモード専門学校★	205	株式会社ジョージ★
36	愛媛県視覚福祉センター★	122	学校法人河原学園 河原医療大学校★	206	愛媛県企画振興部 総合政策課
37	愛媛県身体障がい者福祉センター★	123	アビリティセンター株式会社	207	江南ラミネート株式会社★
38	道後 ゆう★	124	今治造船株式会社	208	愛媛管公学生服株式会社★
39	えひめ障がい者就業・生活支援センター	125	株式会社 内子フレッシュパークからり	209	愛媛県産業技術研究所 企画管理部
40	しげのぶ清愛園★	126	J.Rホテルクレメント宇和島	210	愛媛県選挙管理委員会事務局★
41	しげのぶ清愛園★	128	NTT西日本愛媛支店	211	ミサワホーム四国株式会社
42	どうご清友寮	129	公益財団法人 愛媛県看護協会★	212	株式会社日本エイジェント【お部屋がし物語】★
43	福祉工無いだいの酒風園	130	愛媛県金融広報委員会★	213	佐川印刷株式会社
44	ほほえみ工房ぱれっと道後★	132	川之江機械株式会社★	214	トヨチ&F西四国株式会社★
45	愛媛県消費生活センター★	133	橋本紋織株式会社	215	コスモ松山石油株式会社★
46	愛媛県職業能力開発協会★	134	クリノメカニカル株式会社	216	株式会社ANAエアサービス松山
47	愛媛県人権啓発センター★	135	四国乳業株式会社	217	株式会社日昇
48	愛媛県水産研究センター★	136	西南開発(株)	218	公益財団法人 日本選挙能力検定協会★
49	愛媛県総合科学博物館★	137	セキ株式会社	219	大進建設株式会社
50	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課★	138	一般財団法人種善会 十全総合病院	220	スリーライズ株式会社
52	愛媛県 中予地方局 総務企画部 総務県民課★	139	株式会社 曾我部鋳工所	221	株式会社 住工房だかせ★
53	愛媛県 中予保健所 企画課	140	株式会社ダイキアクシス★	222	株式会社マルウ水産★
54	愛媛県 中予保健所 生活衛生課	141	株式会社 千葉工務店	223	株式会社エヒメスポーツエンターテイメント★
55	愛媛県動物愛護センター★	142	子育て安心住宅・設計室 西川建設株式会社★	224	医療法人みかわクリニック★
56	愛媛県 東予地方局 地域政策課	143	N.P.O法人 N.E.X.T. CONEXION★	225	一般社団法人WONDER EDUCATION★
57	愛媛県 東予地方局 農村整備課	144	波止浜興産株式会社★	226	野村證券株式会社 松山支店
58	愛媛県 土木部 河川課★	145	八水蒲鉾株式会社	227	株式会社愛媛FC★
59	愛媛県 土木部 港湾海岸課	146	花音・花活プロジェクトえひめ★	228	三木特種製紙株式会社
60	愛媛県 土木部 砂防課★	147	尾藤建設株式会社★	229	株式会社かどや★
61	愛媛県土木部 道路建設課	148	丸福運送(株)	230	ジャスティン株式会社★
62	愛媛県土木部 道路維持課	149	ヤマキ株式会社	231	株式会社S.T.M★
63	愛媛県 保健福祉部 業務衛生課★	150	株式会社 ユタカ★	232	金龍リテラシー向上コンソーシアム★
65	愛媛県立医療技術大学	151	株式会社 レディ薬局	233	一般社団法人坊っちゃん劇場
66	愛媛県立新居浜病院★	152	株式会社ハラブックス★	234	四国竹林塗装工業株式会社★
67	愛媛県立南宇和病院	153	愛媛県生涯学習センター★	235	正起ガス株式会社
68	愛媛県歴史文化博物館★	154	風とつばさ社労士事務所	236	西染工株式会社★
69	株式会社愛媛CATV★	155	株式会社 マツダ★	237	株式会社大石工作所★
70	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構	157	愛媛トヨタ自動車株式会社★	238	損害保険ジャパン株式会社 愛媛支店★
71	愛媛信用金庫★	158	株式会社スイッチカンパニー★	239	独立行政法人 住宅金融支援機構 四国支店★
72	愛媛労働局	159	有限会社バイクハウス阿部★		
73	株式会社 大島製作所★	160	株式会社 PENTA FARM★		
74	株式会社 オズメツ	161	愛媛県農林水産研究所		
75	協和道路株式会社★	162	愛媛県養鶏研究所		
76	NPO法人 禁煙推進の会えひめ★	163	大原簿記公務員専門学校 愛媛校★		
77	株式会社 クリエイト伊方	164	城北運送株式会社★		
79	株式会社 コスにじゅういち★	165	公益財団法人 松山観光コンベンション協会		
80	特定非営利活動法人 さなえ★	166	学校法人愛媛学園 愛媛調理製菓専門学校★		
81	四国ガス株式会社★	167	華彩フラワー・カレッジ・ロイヤルフローリスト華彩★		
82	四国通運株式会社	168	リコージャパン株式会社 愛媛支社		
83	四国電力株式会社 愛媛支店	169	公益財団法人 愛媛県診療放射線技師会		
84	シブラルタ生命保険(株)★	170	松山デザイナー専門学校		
85	新日本建設 株式会社★	172	松山歯科衛生士専門学校		
86	株式会社新風会フィットネスクラブRyuuo★	173	井関農機株式会社		

※愛媛県教育委員会のホームページには226の企業・団体等をデータベース化して掲載中！(欠番8、14、35、51、64、78、94、102、109、127、131、156、171)ぜひ、ご活用いただき、企業・団体等の専門性を子どもたちの学びに結びつけてください。

【問合せ先】

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県教育委員会事務局 社会教育課 社会教育グループ 電話：089-912-2933 E-mail：shakaiyo@pref.ehime.lg.jp

企業力を生かして 愛媛の子どもたちを健やかに育てましょう！ えひめ家庭教育サポート企業連携事業

◆◆◆◆ 協定締結企業一覧 ◆◆◆◆

令和7年2月1日現在

No.	企業名	No.	企業名
1	株式会社アテックス	51	ヤマキ株式会社
2	アビリティセンター株式会社	52	株式会社洋武建設
3	株式会社伊予銀行	53	株式会社レディ薬局
4	株式会社伊予鉄高島屋	54	SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
5	伊予鉄道株式会社	55	株式会社ヴァンサンカン
6	伊予木材株式会社	56	株式会社マツダ
7	イワキテック株式会社	57	おおぞら高等学院 松山キャンパス
8	BEMAC株式会社	58	株式会社井関松山製造所
9	株式会社内子フレッシュパークからり	59	生活協同組合コープえひめ
10	宇和島自動車株式会社	60	愛麺株式会社
11	株式会社JR四国ホテルズJRホテルクレメント宇和島	61	石田クリーニング株式会社
12	株式会社NTT西日本愛媛支店	62	リコージャパン株式会社愛媛支社
13	株式会社えひめ飲料	63	扇屋食品株式会社
14	株式会社愛媛銀行	64	株式会社SSP
15	愛媛信用金庫	65	愛媛トヨペット株式会社
16	有限会社小川工務店	66	株式会社愛媛CATV
17	株式会社オズメッセ	67	三浦工業株式会社
18	おべ工業株式会社	68	株式会社フジ
19	楠橋紋織株式会社	69	有限会社安岡蒲鉾店
20	クリーンメカニカル株式会社	70	株式会社あわしま堂
21	株式会社コスにじゅういち	71	愛媛トヨタ自動車株式会社
22	四国瓦斯株式会社	72	PHC株式会社
23	四国通建株式会社	73	株式会社母患夢
24	四国電力株式会社愛媛支店	74	シンワ株式会社
25	四国乳業株式会社	75	株式会社ジョージ
26	株式会社新来島どっく	76	一広株式会社
27	株式会社シンテック	77	江南ラミネート株式会社
28	西南開発株式会社	78	ハイスピードコーポレーション株式会社
29	セキ株式会社	79	ミサワホーム四国株式会社
30	一般財団法人積善会十全総合病院	80	ジブラルタ生命保険株式会社
31	DCM株式会社	81	株式会社日本エイジェント
32	株式会社高田商店	82	佐川印刷株式会社
33	株式会社ダスキンプロダクト中四国 愛媛工場	83	トヨタL&F西四国株式会社
34	帝人株式会社松山事業所	84	コスモ松山石油株式会社
35	西川建設株式会社	85	株式会社ANAエアサービス松山
36	株式会社日本交通社	86	大進建設株式会社
37	日本食研ホールディングス株式会社	87	スリーラインズ株式会社
38	伯方塩業株式会社	88	株式会社エヒメスポーツエンターテイメント
39	波止浜興産株式会社	89	株式会社 住工房たかせ
40	八水蒲鉾株式会社	90	株式会社マルウ水産
41	檜垣造船株式会社	91	株式会社 小関電工
42	尾藤建設株式会社	92	株式会社S.T.M
43	坊っちゃん劇場 株式会社ジョイ・アート	93	三木特種製紙株式会社
44	有限会社ほづみ	94	株式会社愛媛FC
45	株式会社松山三越	95	株式会社かどや
46	マルトモ株式会社	96	ジャスティン株式会社
47	丸福運送株式会社	97	四国竹林塗装工業株式会社
48	宮田鉄工株式会社	98	正起ガス株式会社
49	森永乳業株式会社四国支社松山営業所	99	株式会社大石工作所
50	株式会社ヤツツカ		

参観日等に参加し
やすい休暇制度等
を導入します！

子育て・家庭教育
に関する企業内研
修をします！

家族参加のイベ
ントを企画・実
施します！



【連絡先】 愛媛県教育委員会事務局社会教育課 社会教育グループ (TEL) 089-912-2933

愛媛県教育委員会のホームページに本事業の詳細を掲載していますので、御覧ください。



社会総がかりで取り組む教育の推進 Vol. 14

～令和6年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実践事例集～

《文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業費」補助事業》

発行 令和7年3月

愛媛県教育委員会

〒790-8570

愛媛県松山市一番町四丁目4番地2

TEL:089-912-2933

FAX:089-912-2929

